

久保・長江中学校区の学校再編に係る第4回土堂小学校区地域説明会議事録

1 日 時 令和5年8月10日（木） 18:00～23:50

2 場 所 土堂小学校体育館

3 出席者 地域住民94名  
教育委員会事務局 12名

宮本教育長、川鱈教育総務部長、小柳学校教育部長、末國庶務課長  
三浦学校経営企画課長、石本教育指導課長、安保学校経営企画課長補佐  
石川庶務課管理係長、宮崎学校経営企画課企画振興係長  
岡田庶務課管理係主任、玉里庶務課管理係主任、梶原庶務課管理係主任

4 進 行

担 当	内 容
宮本教育長	<p>18:00～</p> <p>1 開会 2 教育長挨拶</p> <p>こんばんは。教育長の宮本でございます。大変お忙しい中、また暑い中、この説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。地域の皆様には、3月、6月、そして7月に説明会を開催させていただきまして、たくさんのご意見やご質問を頂戴したところでございます。また、先日、7月24日から8月2日まで、関係する6つの小中学校の保護者の皆様を対象に説明会を開催させていただき、保護者の皆様からもご意見やご質問を頂戴いたしました。この度の地域説明会は、本日、8月7日から8月10日にかけて、小学校区ごとに開催させていただいております。本日は、初めに教育委員会から改めてご説明をさせていただき、その後、質疑応答の時間を設けさせていただいて、皆様からのご意見やご質問を頂戴したいと、そのように思っております。以上、簡単ではございますが、はじめの挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
教育委員会事務局（司会）	<p>本日の資料の確認をさせていただきます。1枚目が本日のレジメになります。2枚目が教育委員会からの説明スライド資料になります。3枚目が新たな学校のパンフレットになります。ご確認ください。</p> <p>本日は、教育委員会事務局からの説明を30分予定しておりましたが、皆様のご了解をいただければ、質疑応答の時間を確保する観点から、説明はスライド資料を見ていただくこととさせていただき、要点のみ、10分程度で説明させていただきたいと思っておりますが、いかがいたしましょうか。</p> <p>（参加者拍手）</p> <p>よろしいでしょうか。ではそのようにさせていただこうと思っております。では説明をさせていただきます。</p> <p>3 説明</p>

三浦学校経営企  
画課長

それでは皆様のご了解をいただきましたので、質疑応答の時間を確保する観点から、本日ご説明させていただく予定だった内容を特にお伝えすべき点のみ概要を説明申し上げ、その他につきましては、スライド資料をご覧くださいということで代えさせていただければと思います。座って失礼します。

本日のご説明は、先程も司会からありましたように、3月の第1回説明会、6月の第2回説明会でご説明申し上げた内容を振り返り、学校再編案について、小中一貫教育校の教育内容について、新しい学校の施設について、そして、今後について、というように説明をさせていただく予定としておりました。まず、これまでご提案しております学校再編案、そして新しい学校の場所、開校時期、新校舎の使用開始時期について、これまでご説明してきた内容を確認申し上げる予定としておりました。また、学校再編案に至った経緯につきましても、これまでご説明を申し上げてまいりました。検討にあたっては、次の3点。まず安全性の確保について、それから校舎の耐久性について、そして適正な学校規模の確保について検討をさせていただいたということ。それから、教育委員会が提案をしております小中一貫教育校とはどのようなものか。そして、小中一貫教育校における教育内容についても、これまでご説明申し上げてまいりました。小中一貫教育校における目指す子供像について、15歳を意識し9年間の学びを育てる力。育てたい資質・能力について、教育委員会の目指すところを説明申し上げました。そうした力を身に付けさせるために、どのような教育を創造していくか、ここにはグローバルな学びの例として、英語教育やキャリア教育の充実について。そして、ローカルな学びの創造としてのおのみち学の充実について。学びの基礎・基本としてのモジュール授業の展開について。そして、9年間の学びの集大成としての一例としての、まちづくり政策提案発表会の開催について。以上、小中一貫教育校での教育内容についてご説明を申し上げてまいりました。スライド18とスライド19は、施設の整備スケジュールについてご説明してきた内容の確認です。中学校、そして小学校について。スライド20からは、新しい学びを実現するための施設面における工夫についてです。スライド21からスライド23は、グループワークのためのワーキングスペースの設置について。そして、専門科目教室とホームベースの設置について。その他、新しい学びに対応する工夫についてご説明を申し上げました。

最後に今後についてですが、7月24日から8月2日にかけて、関係する6つの学校の保護者の皆様を対象として、学校ごとに説明会を開催し、現在、8月7日から8月10日にかけて、小学校区ごとに地域説明会、本日が最終となりますが、開催しているところです。目指す学校像や教育内容、通学対策につきましては、今後も保護者の皆様等のご意見を伺いながら、引き続きより良いものとなるよう検討を行ってまいります。そして、実際に学校を動かすのは教職員ですので、関係する6つの学校の教職員と、小中一貫教育校の教育課程や教育内容について、子供たちにとってよりよいものとなるよう議論してまいります。また、これまで、多くの方からご質問をいただきましたが、通学路について、新しい小学校への主な通学路として考えられる長江通りにつきまして

は、今後も教育委員会と学校、保護者、地域の皆様や、関係課や道路管理者などと、安全・安心のために何ができるかを継続して検討を行っていくとともに、路線バスを利用した通学支援について、小学校3km以上としております学校統合の本市の通学支援の基準を踏まえ、通学距離や対象学年など、どのようなあり方が考えられるか検討を行ってまいります。また、長江小学校の保護者説明会では、長江通りの裏道を通学路として活用することのご意見をいただきました。そうしたご意見を踏まえ、通学路の安全・安心の確保について検討を行ってまいります。子供たちの安全性の確保の観点、そして子供たちのより良い教育環境の確保の観点から、保護者、地域、学校、教育委員会で力を合わせ、未来を担う子供たちのために新しい学校を作ってまいりたいと考えております。

なお、7月13日の土堂小学校区の地域説明会において、小規模校のメリットについて検討をしたのか、説明を求めるご意見をいただきました。この場をお借りして回答いたします。小規模校のメリットについては、文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」にも記載がありますが、一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細やかな指導を行いやすい、といったメリットがあるとされています。ただし、久保・長江中学校区の学校再編案は、平成23年に策定した「尾道市立小・中学校再編計画」にある、適正な学校規模の確保として、複式学級の早期解消と、1学年複式学級化の推進の2点を根拠として検討を行い、地域の皆様にもお示しさせていただきました。また、この「学校再編計画」は、平成14年に尾道市立学校通学区域審議会が、「尾道市立小中学校の適正配置および通学区域について」という答申書において、「学年の適正な学級数は複数学級である。」と答申したことに基づいており、そこでは、複数学級化の理由として次のように記載されています。「本来1つの学年は、集団としての様々な体験が望ましく、クラス替えや違うクラスとの合同授業等、幅広い活動ができることが理想と考えた。」このことから、昨年11月22日にこの度の再編案をお示しするにあたって、複数学級化のメリットについての検討は行っておりますが、小規模校のメリットの改めての検討は行っておりません。以上回答とさせていただきます。

#### 4 質疑応答 18:13～

教育委員会事務局  
(司会)

教育委員会に対しまして、質疑を受けたいと思います。質問のある方は挙手をお願いいたします。

住民1

いい加減な返事ばかりいただいて、的外れな答えばかりされて頭にきていますが、まず、1点、最初に安心・安全を言われて、危険度としては危険度5しかない土堂小学校、危険度から言えば市内中位の危険度です。もっと危険な学校をなぜ対処しないで、もう無茶苦茶な、閉鎖された、千光寺の上に持って行ったんでしょうか。それから、その時には、耐震化をするからという話でしたが、降ってわいたように、小中一貫校、それも全寮制の前歴がまだ実績もない叡智学園。これは中高

	<p>一貫校です。これを参考にして、バカロレアの学校を行うと言ってきましたが、これを教育できる教職員が何人いるんでしょうか。あなた方も教育できるんでしょうか。まだ、いくつも質問点はありますが、長くなるので、1回目はこれぐらいにします。変な答えが出ると声を上げます。</p>
末國庶務課長	<p>それではまず、土砂災害のことについてお答えいたします。5段階評価の5だから安心だというお話をいただいたところですが、土砂災害防止法の特別警戒区域は、分類としては、5つの段階に分かれていますけれども、危険度は同一でございます。続いて、耐震についてでございますが、平成29年に耐震診断の設計を行いまして、その設計をもとに検討した結果、最終的には現地では居ながらでの耐震施工は難しいと判断いたしました。</p>
住民1	<p>その時には移転させとるじゃないか。</p>
末國庶務課長	<p>いえ、移転したのは令和3年度の8月でございますが、その時は、耐震性のない校舎にずっと居ていただくわけにはいかないもので、まずは仮校舎とはいえ、耐震性のある校舎へ移転していただきたい、そういうことで、移転をしていただいたわけでございます。そして、令和元年11月に統合案をお示しさせていただきました。その統合案というのは、最終的には久保小学校の敷地に建てた新しい校舎に移っていただく、そしてそれまでの間は、栗原小と山波小へそれぞれ引っ越していただく、栗原小や山波小の児童として過ごしていただく。そして、新しい校舎ができたなら久保小学校の所へ集まっていただくということを提案しておりました。それについては、そんなことは認められないということで、様々なご意見をいただきまして、仮校舎を用意してほしいという意見がありまして、仮校舎を用意して、仮校舎への移転を教育委員会として判断させていただいたわけでございます。統合についてはいったん白紙ということにさせていただいて、その後、まずは安全を確保してから、仮校舎の利用期限が過ぎる前に我々の新しい提案をさせていただくというご提案をさせていただいたところでございます。以上です。</p>
住民1	<p>答えになってない。</p>
三浦学校経営企画課長	<p>よろしいですか。</p>
住民1	<p>答えになってない。</p>
三浦学校経営企画課長	<p>私から、先程の叡智学園の件についてお答えをさせていただきます。これまでも叡智学園については、説明会の中でも触れておりますが、これは現在の尾道市の学校でもそうなんですけれども、学びの変革と言いまして、従来の皆様のイメージでは、先生が前に立って、一方的に黒</p>

板を使って授業する、それでは子供の学びが深まらないということで、協働的な学習というのが、今画面にも出てきましたが、子供たちが課題を見つけ、その課題を子供たち自身が探していくというような授業展開を行うということ、現在も目指しております。学びの変革という、この授業スタイルについて、これまで研究を重ね取り組んでいるということで、叡智学園を参考に見に行きました。また、そうした授業を行うのに相応しい施設ということで、叡智学園を参考にしたということがございます。ただ、ご指摘のように、国際バカロレアを尾道市に導入しようということは、これまで一度も申し上げておりませんし、そのようなつもりはありません。あくまでも、日本の文部科学省が進めております、学習指導要領に則った授業を展開していくということで、そこは大変申し訳ないんですけども否定をさせていただきます。

住民 1

前回、小中学校の視察に何校か行ったという話がありましたが。自民党の女性会と一緒に、視察に行きました、実はファーストクラスに乗って、一流ホテルに泊まって、子供まで連れて視察に行きました、これと同じ答えです。何を目的に視察に行ったのか。何を得て帰ってきたのか。それを答えにしないと意味がないでしょう。

宮本教育長

はい。私が新しい学校の新しい授業についてですね、そのイメージということで叡智学園の例を出してお話をさせていただいたんですけども、私の説明が不十分であったためにですね、学校再編によって、教育委員会が新しく創ろうとしている学校は、特別な学校じゃないかといったようなご不安な思いとか、ご心配をおかけしているということについては大変申し訳なく思っております。少しお時間をいただいて、改めて説明をさせていただきたいと思っております。学校再編によって新しく作ろうとしている学校は特別な学校ではありません。叡智学園のような学校ではありません。あくまでも、尾道の歴史や文化、芸術等を生かした尾道ならではの教育、これをしていく。そうして地域を大切にしていって、そういう教育をしていきたいと思っております。ただですね、これまでの日本の教育っていうのは、ともすれば、教師主導の一斉授業が中心でございました。そのため児童生徒は、授業の中で受身になりがちでありました。ただし、児童生徒が知識を理解し、技能を習得する場面においては、教師主導の一斉授業のメリットもございます。全てを否定しているわけではありません。しかし、教師主導の一斉授業が中心の教育では、現代の急激に変化する社会の中で、これから活躍していく児童生徒は、未知なる状況に対応していくための思考力や判断力や表現力を身につけていく必要がある。しかし教師主導の一斉授業ではそれを育成することがなかなか難しいということで、現在の学習指導要領で、主体的、対話的で深い学び、というキーワードのもと、教育の大きな転換が示されているんです。それは、子供が疑問に思うことや学びたいことを出発点として、子供たちがクラスの友達と互いの考えや思いを出し合って、子供たちが主体となって進めていく授業、これを学びの変革と言っているわけです。その学びの変革を先導しているのが叡智学園であります。この学びの変革は尾道だけではなくて、県内全ての公立学

	<p>校で目指しているものです。その一例として、昨年度から叡智学園見学会というのが開かれております。叡智学園の見学会は、県内の各市町の小中学校の先生方や、市町教育委員会の職員を対象に開催されております。昨年度は年間19回、県内から約270人の方が参加されております。尾道市内の小中学校の先生方も9人参加しています。この見学会は、今年度、令和5年度も開催されておまして、7月6日現在で、県内から56人の先生方、市町教育委員会の職員が参加をしています。この見学会の目的は、学びの変革に取り組む叡智学園の生徒や先生の姿を直接見て、県内の先生方に授業の新しい授業のイメージを持っていただく、そしてそのイメージをもとに各市町の小中学校の実態に合わせてアレンジしながら学びの変革に取り組んでいくと、そういう目的で実施されています。ですので、こうした状況を踏まえて、我々も見に行ったということでございます。何も叡智学園のような特別な学校を作ろうという目的で行ったわけではありません。以上です。</p>
<p>住民1</p>	<p>前回も言ったと思いますが、あなた方が一番にAIを勉強すべきです。それを子供に落とし込めるような先生を教育すべきです。先程教育長は言ったのは、小中一貫校とまるで話が違うじゃないですか。小学校、中学校別々にあっても問題ないじゃないですか。小学校を廃校させて発展した街はありません。小学校を廃校させて寂れた街はいっぱいあります。それと、先程、小中一貫校見に行った、何を見に行ったかを教えて欲しいと、持って帰ったものを教えてほしいと言いました。また失敗した例の方が多いです、小中一貫校を作って。これも、勉強してください。見に行った先の話を回答ください。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>はい。小中一貫教育校ということで、県内では先駆けてやられている呉市、それから府中市を見に行かせていただきました。やはり小中一貫教育校の一番のメリットというのは、9年間を通して、教職員が小学校の教員も中学校の教員も同じ目線で子供たちに9年間関わることができるという部分は大変魅力だというふうに思いました。ただデメリットというところで言いますと、やはり小中一貫教育校のメリットというのが、教職員や子供たちは割と実感できるんですけども、地域の地域の方からするとメリットがなかなか分かりにくい。ですから、地域や保護者へどういうふうに発信していくのかっていうことを、常に学校の方は考えられていたというふうに思いますし、後は、私たちが見に行ったのは同じ敷地の中にある一貫校ではなくて、いわゆる分離型、中学校と小学校が別の敷地にあるところを見させていただきました。これはよく言われていますけれども、やはり分離型になりますと、子供たちの交流であるとか、先生方の交流についてはやはり回数的にも限られてくるというのはいらうかというふうに思います。でも分離型であっても、各学校に、校長、教頭他、全ての教職員が揃っていますので、そういった小中一貫の枠組みというのは、私たちが今、小中連携教育っていうのを、すごく力を入れて市内全体的にやっていますけれども、その1つの延長線上にある学校をつくることのできるんだという認識で、今いろんなことを構想させていただいております。</p>

<p>住民 1</p> <p>三浦学校経営企画課長</p>	<p>なぜ 6 3 3 4 制ができたかというのは検討されましたか。</p> <p>6 3 3 4 制というのは、昭和 2 0 年代ですね、新しく教育基本法や学校教育法が定められてからということだと思いますけれども、これは当時検討された経緯というのは私は細かくは分かりませんが、いわゆるその当時の子供たちの発達段階を考えた上で、6 歳を就学年齢として、1 2 歳まで、それから 1 3 歳から 1 5 歳までは中学校、1 6 歳からは高校生というふうに、子供たちの発達段階に応じた教育内容をカリキュラムを仕組んでいく中で 6 3 3 制というのが、日本の子供たちや日本国民全体の風土等に適しているのではないかとということで検討され、学習内容に合わせて検討されてきたという経緯があるのではないかと思います。</p>
<p>住民 1</p> <p>三浦学校経営企画課長</p>	<p>だから、小中一貫教育とどう整合性があるかということを知りたい。</p> <p>はい。ちょっと説明が不足しているようで申し訳なかったと思っています。今 6 3 3 4 制のことでしたけども、我々が今から導入しようとしている小中一貫教育校はこの 6 3 制を崩すものではありません。小学校は小学校として存続しますし、中学校は中学校として存続します。小学校は 6 年間、中学校は 3 年間ですから、まさに 6 3 制です。ただ、今の 6 3 3 制は、戦後間もなく誕生したという経緯がございまして、それから時代が変わりますと、やはり子供たちの抱える問題であるとか、社会が抱える問題がかなり変わってまいりました。多分聞かれたこともあると思いますが、中 1 ギャップということも生じてきております。そういったことをなくすために 6 3 制の枠は維持しながらも、小学校の教員と中学校の教員が、こんな子供を育てていきたいんだという目標を共有をして、日常的に連携をとりながら、小学校と中学校変わっても同じ子供が行くわけですから、もう小学校を出たら関係ないよとか、中学校の先生が小学校の子供は関係ないよとかいうんではなくて、しっかり見ていこう、それを枠組みとして保障しようというのがこの度の小中。</p>
<p>住民 1</p>	<p>そんなものは偏見よ。</p>
<p>三浦学校経営企画課長</p>	<p>偏見ではございません。それを枠組みとして整備しようというものでございます。</p>
<p>住民 1</p>	<p>否定しても偏見じゃゆうてようるんじゃ。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>はい。私たちはこれまでも申しました通り、今回の学校再編については、子供たちのより良い教育環境の充実に向けて、教育内容、それらについても検討してきたわけでありますから、何か偏見なのかよく分かりませんが、私はそういった信念に基づいて、こういうふうに提案をさせていただいております。</p>

住民 1	<p>長くなるのでまた質問させてもらいます。一番前の左の方に発言させてあげてください。</p>
住民 2	<p>お世話になります。先月移住してきたばかりなので、すでにご説明いただいたこともあるのかもしれませんが、小中一貫教育等、目指されている教育内容につきましてはとても興味深く伺わせていただきました。私も、以前の居住地では高校教員をしていたこともあり、教員の一斉授業による行き詰まり等も理解しております。その上で、引っ越してきた先がこの近隣であることもあり、通学路に大変不安を感じております。近年の猛暑による熱中症のリスクや、犯罪に巻き込まれる不安、後は交通事故など、もちろんこの地域が土砂災害警戒区域であるということも懸念点ではあるのですが、日常的に晒される危険の方が個人的には不安というふうに感じております。気持ちとしてはこの小学校を、引き続きこの建物を使っていただきたいというのが個人的な意見であるのを前提に、少し意見を提案させていただきますと、前に住んでいた土地は静岡県浜松市でございます。鴨江アートセンターという建物がございます、築昭和2年なので、土堂小学校よりも10年以上古い建物でございます。こちら平成の終わり頃ですね、取り壊しが決まっていたところを、地域の方々の猛反対により耐震工事が行われ、今も使われており、10年が経とうとしております。こちらの小学校よりも古い建物で、耐震工事ができたという事例をちょっと紹介したいなと思いました。そのような、実際に使われている例という所へ視察等はしていただけましたでしょうか。またここにある耐震化しても今後継続して使用できる年数が多く見込めないことについて、実際に耐震化をした場合に見込める年数は多くないとありますが、何年ほどなら見込めるのかなどに関しても教えていただけましたらと思います。よろしく願いいたします。</p>
末國庶務課長	<p>耐震補強が土堂小学校より古い建物でも、耐震化している例があるのではないかとのご指摘だったと思います。静岡県の例については、状況は詳細には把握しておりませんので、その点については、申し上げることができないんですけど、土堂小学校については、耐震化できないかということであれば、耐震化は可能でございますし、耐震化するにあたってどのくらいかかるかということについても、前回の説明会で説明をさせていただいたところでございます。ただ、そういった中で、</p> <p>(「見積りの話も一緒にせえや」との声あり。)</p> <p>見積りということではございませんが、これまでの施工実績や、耐震化の部分については設計もしておりますので、その部分について設計に基づいて試算をさせていただいたところでございます。その中で、</p> <p>(「市が計算したのも一緒に言えや。」との声あり。)</p>

総額的には22億円という金額をお示ししているところですけど、耐震補強工事が約7.6億円、長寿命化や大規模改修に係る部分が13.3億円とご説明はさせていただいたところでございます。コンクリートの部分に弱いところがありますので、

(「そりゃ、あんたらが計算しただけじゃろうが。」との声あり。)

これは委託業者にきちんと調べてもらった結果でお話をさせて、

(「1社だけで相見積もりをとってなかろうが。」との声あり。)

通常、市役所がお願いする時は入札等で1社だけをお願いすることになっておりまして、競争入札ということになりますので、入札で落とした1社が見積をするということでございます。

(「それじゃあ見積りになってなかろうが。」との声あり。)

申し訳ございませんが、その点はそのようにご理解していただきたいと思います。

(「勝手な見積りしてから数字を出すなや。」との声あり。)

この22億という数字については、これまでもご説明をしたと思うんですけど、耐震工事や補強工事の全ての部分を設計業者に依頼して積算していただいた結果ではありません。

(「そりゃあ言いなりになる設計業者に委託しただけじゃろうが。」「ちゃんと相見積もりを取れや。」との声あり。)

そういったことは基本的には競争入札という形で、

(「それは入札の時じゃろうが、見積りの時も取れや。」「いい加減な1社からしか見積りをとってなかろうが。」との声あり。)

契約を行った業者が行った調査でございますので、おかしいということにはならないと思います。

(「じゃあ市の見積りとこれだけ格差があるのは何でな。」という声あり。)

耐震化については、先程申し上げたように設計はしている、できないということについては判断をしているところでございます。

(「どういう判断をしたんな。」との声あり。)

	<p>耐震化をして長寿命化を行った場合は、概ね20年程度は大丈夫ではないかということでございます。</p>
住民2	<p>長距離の通学になった場合、スクールバス等もってというふうに先程お話いただいたんですけども、路線バスを利用する際に、市から通学にかかる補助はいただけるのでしょうか。</p>
三浦学校経営企画課長	<p>はい。ご質問の中で、通学路に対する、本当に多くの方々からいただいておりますので、これについては我々も検討していかないといけないというふうに強く思っているところです。路線バスについてなんですけども、これも路線バスを使った通学支援について検討をしていくということは、これはこれまでも表明をしております、当然、支援ですから、そういった通学の補助でありますとか、そういったものについては当然検討をしていくことになると思います。</p>
住民2	<p>ありがとうございます。この建物をぜひ継続して使いたいという個人的な感情になってしまうんですけども、できれば鴨江アートセンターに、一度どのような経緯で再び建物を使うに至ったか、どのような耐震設計であったか、私よく通っていた所なんですけれども、見た感じ、似たような建物でございます。視察等していただけたらありがたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。以上でございます。</p>
住民3	<p>こんばんは。先程の方が言われた続きにはなるんですけど、前回の耐震工事の費用と工期を言われてましたけど、工期はどのぐらいかかると言われてましたっけ。ちょっとメモを忘れてきたんで、申し訳ありません。費用が22億、全体で22億。工期がどのぐらいかかるのでしょうか。</p>
末國庶務課長	<p>はい。概ね3年程度ということですよ。</p>
住民3	<p>概ね3年ですね。先日、ちょっと気になって、他の方も言われてましたけど、どのぐらい本当に費用がかかるのかなっていうのをちょっと調べてみたらですね、ネットでググったらすぐ出てくるんですけど、校舎で言いますと、千葉県白井市立白井第二小学校というところが、費用が、平成なんでちょっと物価が安くはあるんですけど、4億5465万円、工期が8ヶ月。静岡県の静岡市立賤機（しずはた）中学校、1億5024万8000円。工期が6ヶ月。体育館に関しましては東京都大田区立新宿小学校、費用が1357万7000円、工期が6ヶ月ですね。あと、同じく体育館、高知県高知市立城東中学校が3612万円。約そのぐらいですね。工期が3ヶ月となっています。言われていた工期と全く違うスピーディーなんですけど、その辺はどういった経緯で、前の説明会では議会を通したりとか何とか言われていましたけど、こんなに早くできるもんだなっていうのはちょっとびっくりしました。その辺をお答えください。</p>

<p>末國庶務課長</p>	<p>はい。いろいろな学校についてお示しいただいたところでございますが、基本的には、学校の状況によってそれぞれ直さないといけない場所や程度は大きく異なっています。尾道市内の学校でも、1億円とか4000万円とか、市内でもございます。設計を行い、どこをどれだけ直さないといけないか、そういったことをきちんと精査して、金額は算定させていただいておりますので、今の土堂小学校の校舎の状況に応じた金額であると私どもは考えております。</p>
<p>住民3</p>	<p>ありがとうございます。簡単に調べて全国で、ぱっとこの4件が出てきたので、そんなに土堂小学校と大差ない状態だと思うんですね。築年数は違うとは思いますが、費用ももっと抑えられると思いますし、工期も早くできると思いますので、ぜひ、提案じゃないですけど、耐震は可能だということも前回言われていたんで、そちらの方も案として残して、これからご検討をいただけたらと思います。何か頻繁に最近になって説明会を開かれていますけど、やはり私たち、住民市民の声が検討されているようには全く思えません。毎回同じことをガス抜きのように、ただ私たちの意見を言って、そのままお答えいただいて、僕たちが言っている意見を反映されたのなら、すぐ最初の説明で、示されるはずなんですね。それがほとんど今のところ何もないですよ。意見を反映されたものが。ただただ答えてるだけと、将来の統合する学校の未来像を常に語られているだけで、ほとんどの人が賛成していないんじゃないですかね。中には賛成されている方もおられるでしょうけど、その続きなんですけど、やはり、前回も言われていますけど、説明会の告知方法に問題がありまして、知らないという方が周りにもものすごくおられます。SNSを投げたら、やっとなら知っている、それで分かったから初めて来てみたとか、これから行くよっていう方ばかりで、やはり防災無線ですとか、市が使われているLINEなんかで告知された方が今後よいと思われま。全く知らないまま、市民が知らないこんな問題が、一方的に行政で進められてしまっは大問題ですので、ぜひ告知方法を改めてください。で、他の久保とか長江の説明会にも出させていただきましたけど、人数が少ないのはやはり告知方法だと思うんですね。僕が長江の保護者時代には、参観日の後に説明会を設けて、たしか保護者が、こういった体育館に集まって話を聞いたと思うんですね。そういったことはされてないですかね。それをすれば、今よりは多くの保護者、地域の人に伝わっていくと思うんですけど。なんかここで行なわれるっていうことも、もうほぼ内緒のような形で、町内会の回覧板に書かれているだけでは、やっぱり民意とは言えないというか、集まっている人も一部でしょうし、来られてない方の意見もやはり知りたいので、やはり、市が、尾道全体の地域住民と保護者の意見を一人一人聞くような、何か会を作っていただきたいと思います。そうですね。それについてどうですかね。やはり、久保・長江は、参加者が少ないから、もう統合に向けて賛成の方ばかりなんだというふう認識されているように聞こえるんですね。そうではないと思うんですよ。集まって開催されることすら知らない人がたくさんおられるんで、それは本当に地域住</p>

小柳学校教育部長	<p>民の意思ではないと思うので、一人一人にちゃんとアンケートをとって、アンケートに答えられない方もおられるかもしれませんが、ぜひそのアンケートをお願いしたいと思います。土堂の保護者のアンケートとかは聞いたことがあるんですが、他は最近、近年聞いてないので。その辺についてどうお考えですか。教育長お願いします。</p>
	<p>はい。説明会への周知方法につきましては、様々なご意見が当然おありだと思います。ですけれども、私たちは、前回も言わせていただきましたけれども、地域の窓口になっている方と意見を交わしながらこのやり方がいいんじゃないかということと、場所等、時期ですね、そういったものも相談させていただきながら進めてまいりました。ですから、これについては、やはり来ていただいた人の中で、そういう意見をいただきながら、私たちは参考にさせていただいたり、質疑に答えていたりということをするということが一番ではないかなというふうに思っております。それから、防災無線等もですね、前回、同じ方から意見をいただいて、なかなかやっぱり市全体のことですから、私たちだけでも決めることもできませんし、1つの地域エリアだけのことを市全体で取り上げるということは非常に難しいと思っておりますので、意見としてお聞きしておきます。アンケートについては、これは今のところ取る予定はございません。</p>
住民3	<p>尾道市全体の問題だと思いますけど。一部の地域だけの問題ではないと思いますけど、学校問題は。どう思われますか。</p>
小柳学校教育部長	<p>それについては同様の認識でありますけれども、私たちはこれまでの学校統合を振り返ってみますと、それぞれの地域で、地域の皆様、市民の皆様、議会も含めてですねご理解をいただいて進めてきた経緯がありますので、やはりこれも市内全体の問題であるという認識は当然持っております。</p>
住民3	<p>理解は得られてないまま進められていますけど。その辺についてはどうお考えですか。</p>
小柳学校教育部長	<p>理解を得るようにというのはですね、今このように、こういうふうに来させていただいて、皆様方のご意見を聞くとともに、私たちの新しい学校、これについては理解していただくように、これまでも説明を尽くさせていただいているというところでございます。</p>
住民3	<p>学校がもう統合されることが決まった状態ってことですかね。決定しているということですか。</p>
小柳学校教育部長	<p>まだ私たちにはそのような決定すると、どう言ったらいいでしょうか、判断はできますけれども、決定をするのは教育委員会ではないというふうに思っております。</p>

住民 3	<p>最初、僕がたまたまその保護者の集まりがあるって、参観日の後にこういった話があるって聞いたのは7年前ですよ。7年前から説明会を繰り返しているのに、全く市民の声が反映されてないというのはどういことなんですか。回を重ねても意味がないじゃないですか。もうちょっと、ちゃんと誠意をもって対応していただきたいです。形だけの説明会では意味がありません。よろしくお願いします。その辺についてお答えください。</p>
小柳学校教育部長	<p>はい。私たちは、今回の学校再編につきましては、久保、長江、土堂、山波、4つの小学校区がかかっているということですから、当然4つの小学校区の方の保護者や地域の方のご意見もお聞きしながら、総合的に判断をしていくことが必要なのではないかとというふうに思っています。</p>
住民 3	<p>だからその回にいろんな都合、仕事の関連ですとか、都合で参加できない方がいるんですね。僕も防地ですけど、久保に1回しか参加できてないですし、いろんな事情があって参加できない方はたくさんおられるでしょう。それで市民の意見だと言って、総合的に判断。総合的じゃないですよ。アンケートをやろうと思ったら多分簡単にできると思うんですね。今の時代ですよ。何でそれをやらないんですかね。ちゃんと意見を聞いてからまとめあげた方がより良いものができるんじゃないですか。小学生たちにもそう教えているんじゃないですかね。後、一部の声も聞かれていると言われてましたけど、ここに集まられた方の意見、ほとんど反対じゃないですか。聞いてないですよ。ただ聞くだけですか。お願いします。</p>
小柳学校教育部長	<p>はい。説明会の日程等を調整させていただいた中で、やはり仕事の都合やご家庭のご都合によって来られない方っていうのは多いと思っておりますけれども、その方々について、私たちも十分説明はし尽くしたとは言えないと思っておりますけれども、やはり地域の声を聞いたりとか、保護者の声を聞く中で、そういった皆様方の意見というのは聞いておりますし、できるだけ吸い上げてきているつもりでございます。また、アンケートにつきましては、先程も申しましたように、今のところ実施する予定はございません。</p>
住民 3	<p>それはなぜですか。</p>
小柳学校教育部長	<p>はい。アンケート調査というのは、やはりアンケート項目等を精査するのに非常に時間もかかりますし、いろんな見方がありますから、いろんな方のお声もいただかないといけないというふうに思います。保護者の説明会でも申し上げたんですけれども、保護者に対してのアンケートをしようと、教育委員会も試みましたがけれども、アンケートの案を保護者の方に見ていただいた時に、やはりこのアンケート項目で全てのことが図れるのかとか、様々なご意見をいただきました。そういった中で、私たちはアンケートについては、やはり今の段階では断念せざる</p>

<p>住民 3</p>	<p>を得ないという結論を得て、保護者の方へのアンケートは断念した経緯がございます。</p> <p>それはちょっと分からないです。何を言われてるのか。この説明会も同じじゃないですか。説明会もアンケートも同じものだと思いますけど。意見を聞くっていうものでは。アンケートは全てではないと思っています、私たちも。ひとまず、一人一人の意見を聞かないと、やはり、ふさぎ込んで、声を上げられない人たちもたくさんおられますので、ここに来てマイクを持って喋れって、もう敷居が高すぎますよ。全然喋れない方もおられると思います。多様な意見を聞くっていうことで、市民のアンケートを実施していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>住民 4</p>	<p>こんばんは。4人続けて同じような話になると思うんですけど。皆さん、前段階が違うと思うんです。千光寺の仮校舎ですか。こちらの方に動かされたのも納得して動かれているわけではないでしょうし、統合するという前提に動かれているわけではないと思うんです。そうすると、その話をするのであれば、それより以前の土堂小の校舎に戻した状態で話をするのが筋ですよ。統合の話をするのであれば。そうすると、教育委員会さんの方で、この校舎は危険だと、耐震やらないかんと、コンクリートも綺麗にせなあかんと。いうふうなことであれば、戻さないかんわけですから、やらんといかんですよ。子供のためですから。その状態の段階にして話をするなら分かると思うんですけども、皆さん、異口同音に、静岡の方からこちらの方に引っ越しされた方も、この校舎で学ばせたいと、安全なこともあるしっていうふうなことも言われています。百数十年続いた学校を、そんなに簡単に無くしてもいいもんなんですか。私はここのOBなんですけども。それと先程からスライド等々でやられてる教育のビジョンのことですよ。そのことに関しては、このこととは関係ないですから。以前、スライドを使いながら女性の委員の方がビジョンのご説明をしていただいた時に、私の方から、それは今の学校ではできないんですか、やってないんですかって言ったら、できます、やってますっておっしゃったんですから。そしたら最初の状態に戻さんといけんのじゃないですか。先程の男性も、その当時、千光寺に上がるのは反対やったっていうような意見も言われていました。どれだけの方が納得されて、なおかつ、統合を前提の状態です千光寺上がられた方が何人いらっしゃるんですか。いらっしゃるんでしょう。そしたらその段階に戻さんといかんでしょう。この話はやってもやっても平行線をたどるだけです。あなた方はもう教育ビジョン言っているだけです。どうですか。前の状態に戻しましょう。ちゃんとお答えください。</p>
<p>川鯨教育総務部長</p>	<p>はい。仮設校舎にお願いをした。やはりそれぞれ3校が耐震化をしていないっていう状況の中で、子供たちをそのような校舎で、長い間、学校生活を送らせるっていうことにはならないということで、納得されない方もおられるかと思いましたが、我々は仮設校舎の移転をお願い</p>

	<p>をしたという状況でございます。そのような中で、我々はその途中で土砂法に基づく指定を受けました。これは、平成29年度ですから、こういった議論をしている最中にそういった新しい危険要素が判明をした。そういう状況もございます。さらに子供の少子化。子供の数が非常に減るスピード感がすごく速いという状況もございます。ですから、そういった状況の中で、やはり、どこで学ばせる、そして、どのような教育環境を子供たちの、いわゆる切磋琢磨できる環境で学ばせるのか、そういったことをきちっと教育委員会として様々検討した上で、こういう提案に至ったということでございます。従いまして、確かにここに戻すべきだというご意見も当然あるかとは、我々もそのところも当然に理解をしてその上で、</p>
住民4	<p>それがフェアでしょう。</p>
川鰭教育総務部長	<p>その上でこういう提案に至ったと。</p>
住民4	<p>戻っていないじゃないですか。戻さないと。</p>
川鰭教育総務部長	<p>戻すのがいいのか、それとも新たな選択をするのがいいのか、統合していくのがいいのか、こういった様々な手法について我々はしっかりと教育委員会として、子供たちの将来、子供たちの未来、安全という観点から、考えさせていただいたということでございます。</p>
住民4	<p>動いた前提が、そういう条件の中で変動が起こったのであれば、動く前に戻さないといけないでしょ。なおかつ耐震もできるし、土砂の問題もごく一部で、何ら問題がないってようなことなわけですから、戻せばいいじゃないですか。児童推計の問題ですけど、児童推計は、報告の学校だけじゃなくて、全体的に広がっていくわけですから。集めたところで児童が減っていくんでしょ。減って行くのにまたお金をかけてそんなでかいものをつくるんですか。それよりは耐震構造をやった方が、先程の方じゃないですけど、4ヶ所5ヶ所ぐらいですかね、4億だの1億だの、安い値段で、工期も最短で3ヶ月ぐらいから4ヶ月ぐらいだったですかね。できるような状態ですよ。先程自信を持って答えられた方、答えたことに責任持てますか。大丈夫ですか。</p>
川鰭教育総務部長	<p>はい。今のお話の中で、土砂災害については問題がないという判断は我々はしておりません。やはり、土砂法に基づく警戒区域の指定を受けた中で、新たな危険性、これを改めて認識したという状況でございます。したがって、そういったことも全て含めた上で、今の選択をしたと。今のご提案を差し上げているということでございます。</p>
住民4	<p>提案が気に入らないんですよ。その前に戻しましょうよ。最初に戻しましょうよ。</p>

川鯨教育総務部長	<p>その場合に、久保小学校へ新たな学校をつくるという再編案も出しております。ですから、全て仮設を作った後に、それぞれの3校が元の場所に戻りますよという説明はしていません。</p>
住民4	<p>してないんでしょうけど、皆さんはそのように思われとるんですよ。もちろん。だから、そこへ戻して話を始めるのがフェアなんじゃないですかって言うことですよ。費用の問題も、先程22億ですかね、そういうお話されましたけど、全然ネットで調べた数字と全くかけ離れた数字じゃないですか。工期の問題もそうじゃないですか。あなた、自信もって言われたけど、責任持てますか。あなたじゃないですよ。</p>
川鯨教育総務部長	<p>我々もこういった提案を皆様方にしていく上ではですね、しっかり教育委員会として、できる限りのいろいろな様々な議論を尽くしました。その上でこのように提案をさせていただいております。時間がかかったというところは、我々の反省材料と思いますが、やはり時間がかかった分、しっかりと考えた。しっかりと考えることに時間がかかったということも合わせてご理解をいただいた上でですね、ぜひぜひ我々の提案が皆様方に通ってですね、土堂の学校を残したいという気持ちは非常によく、私もひしひしと感じますが、しかし、やはり教育委員会としてはですね、子供たちの安全、望むべき教育環境これをやっぱりしっかりと考えていく。これが我々の使命であるというふうに認識しております。</p>
住民4	<p>だったら、時間かかったんだったら、もっと時間かけて元の位置へ戻してからでいいんじゃないですか。元の位置に戻すのは、耐震補強等、何とか工事を最短でやって、子供らに戻してあげる。そこから、例えば人数の区割りであったり、抜本的なこととか相談し合いながらやっていけばいいんじゃないですか。そう思いますけど。他にもあるでしょうから代わります。</p>
住民5	<p>ありがとうございます。先程教育長がおっしゃった、これからの学びはこうあるべきだっていうのは、私も非常に同意しているんですよ。小中一貫校は別にしてですよ。これからの学びを、子供がね、個人の興味や関心に従って、子供が主体的に自分で学んでいくと、そういう方向に変えたいと。それは全く賛成です。それは今、情報技術の革新であるとか、チャットGPTに代表されるようなAIがね、すごい後押しをしてくれていると思います。ただ明治維新以来、知的レベルの向上、標準化、そういう水準アップですね、切磋琢磨という名のもとにテストで競わせてやってきたのも工業化時代には通用したんですけども、今の情報化時代は全く通用しないですよ。皆さんよくお分かりになっていると思います。それで、その話と、今、前回小規模校のメリットをもう検討していただいたんですかっていう話をさせていただいたんですけども、というのは、どうも今おっしゃっている内容とその教育の未来像の内容と、複数学級が必要だと、それから1クラス30人35人必要だっていうのがどうもしっくりこないんですよ。これって必要条件</p>

なんですか。教育長がおっしゃっている新しい学びに、複数学級で35人いないとできないんでしょうか。僕はこれ、必要条件じゃないというふうに感じられるんですけどね。しかも現実的じゃないですよ。今、例えば35人クラスで複数学級だったら学年70人はいるわけですよ。今、1学年に70人いるのが小学校で何校あるかご存知ですよ。栗原小学校と高須小学校だけ。6学年で平均したら日比崎小学校もまだかろうじて入りますけど、この3校だけ。ですよ。久保小と長江小と土堂小学校を合併したとしてですよ。今の1年生を合計すると52名、2年生を合計すると48名3年生を合計すると57名。こういう状況ですよ。少子化って先程も挙げましたけれども、今内閣府が出している0歳から14歳の年齢の人口の推移をご存知だと思うんですけども、10年後には8割になります。20年後には7割になります。ということは、この3校、合同してですよ、52人いるのが、もう35人とか30人になっちゃうんですよ。その時どうするんですか。それと、それよりももっと、今、尾道には23校の小学校がありますけれども、2校3校以外は全て、もう70人いないんですよ。これどうやって複数学級35人クラスでやっていくんですか。10校に統合していくんでしょうか。そうじゃなくて、もっと重要な問題っていうか、あるんじゃないですか。複数学級で35人クラスじゃないといけないとかじゃなくて、だって現にその10人とか20人とかっていう小学校がいっぱいあるじゃないですか。もう統合していくっていうのは非現実的じゃないんでしょうか。これからの社会に大切なのは、サステナブルということです。どんどん新しい建物をお金をかけて建てて、またそれどうするんですか。そうしてスクラップアンドビルドするんですか。経済成長しているような時だったらいいですけども。この全体をどう考えるのかっていうことを示さないですよ、この目先だけでこの3校を統合しようって言ったって、なんか、多分市民は納得しないと思うんですよ。何かただ単に新しい建物を建てただけじゃないのって思っちゃうんですよ。そうじゃないんだということですよ。ぜひお示しいただきたいなと思います。

小柳学校教育部長

はい。様々な角度からご意見をいただきました。私たちはですね、建物ありきでこういった小中の学校再編を提案してきたというのは、これまでもございませんし、今回もそういったことはございません。子供たちの安全確保、それからよりよい教育環境ということで学校規模の確保という観点から、学校再編の方を繰り返しになりますが、進めさせていただいて、地域や市民の皆様から理解をいただきながら進めてきたということでございます。今後の市内の児童生徒数につきましては、人口が減少していくという見込みがありますから、当然子供たちの数も減ってくるということになるかと思えます。そういった中で、今後、市内全体の学校のあり方については、私たちも課題認識を持っておりますし、今後新たな再編計画をやはり作っていかねばならないというふうに思っています。それについても、地域の皆様、市民の皆様の御意見をお聞きしながら、再編案を作っていかなければいけないというふうに思っています。それはなぜかという、今、学校施設、市内全

	<p>体の老朽化、築40年以上の建物もたくさんありますし、またプールの老朽化、そういった学校施設全体がなかなか難しい時期が今後差し迫ってまいります。そういったことも考えまして、まずは学校再編、久保、長江、土堂の再編を行わせていただいて、私たちはここにまず新たな学校施設と教育内容、そういったものを創造していく中で、ぜひ市内の今後の学校整備のモデルとなるような物を作っていきたいということで、このようにご提案をさせていただいております。</p>
<p>住民5</p>	<p>モデルにならないから言っているんですよ。いや、だから、ずっと統合していくんだっていうのだったらいいですよ。全て統合して、小学校は10校でも5校でも減らし続けて、統合して、バス通学にしてやっていきますっていうのだったら、統合すればいいと思うんですけども。だから順番が逆じゃないですか。この3校の統合をなんかどうしてもやんなきゃいけない理由があるんですか。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>はい。地域の学校再編につきましては、やはり令和3年4月、9月に仮校舎に移転をさせていただいておりますから、できるだけ早期に仮校舎の教育環境を整備していくということで、説明もさせていただいておりますし、今後、学校のあり方については2中学校4小学校を含めて検討していくということを、私たちは繰り返し話をさせていただいております。</p>
<p>住民5</p>	<p>高齢化、人口減少というのは、今に始まったことじゃないんですよ。ビジネス界では、当然その30年前からですね、どうビジネスモデルを変えていくかっていうことを考えているわけですよ。じゃ、何で学校だけ考えないんですか。いや。このままで行くと思っていたんですか。だから早く、いっても人増えないんですから。子供も増えないんですから。上位の目的から考えて、どういう教育が一番子供たちのためになって、サステイナブルなのかを考えた方が絶対いいんですよ。このことはその後でもいいじゃないですか。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>先程御意見をいただいた中で、私がお話した新しい学びといいますか、学びの変革については同感だということをおっしゃっていただいて、その後に、それと人数ですよ、1クラスの人数、あるいは1学年の複数学級、これがあまり関係ないんじゃないかっていうご意見について、</p>
<p>住民5</p>	<p>関係ないとは言っていないんですけど。それが必要条件なのかということですね。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>そうですね。必要条件なのかっていうそういうご意見をいただいたんですけども、私はこう思うんですね。35人っていうのは、必要かどうかって言われると、ちょっとどうかと思いますけど、一定程度の人数はやっぱり必要なんだと思うんです。</p>

<p>住民5</p> <p>宮本教育長</p>	<p>一定程度って何人。</p> <p>だいたいそうですね。理想はやっぱり市民の皆さんのアンケートからしてもやっぱり20人25ぐらいじゃないでしょうか。ですから、1クラスが3人とか4人とか、そういうのはいくら少人数といっても、やはり支持されてないってことです。多くの市民の方がやはり21人から25人っていう辺りをですね、小学校の場合は適正なんじゃないか、望ましいんじゃないかっていうふうにアンケートに答えられているので、これは私どういう背景があるのかなっていうふうに考えた時に、その学習のスタイルとか中身っていうことも、もちろん関係がないことはないと思うんですけど、それ以上にですね、やっぱりこの言葉が適切かどうか分かりませんが、ある程度的人数の中でもまれて、たくましく育てて欲しいとかですね、あるいは、主体的に判断できるような子供になってほしいとか、これはやっぱり3、4人のクラスだと、どうしても人間関係も固定されますし、多様性が失われるので、なかなか、そういったもまれるっていう状態にはならないと思いますし、先生をどうしても頼ってしまうような、そういう雰囲気にもなりやすいと思うんですね。ですから、保護者の皆さんはある程度のクラスの人数がやっぱり必要なんじゃないかって答えられている。私はそう思っているんです。1学年の複数学級化についてもアンケートをされていますけど、小学校の場合はやはり3クラスっていうのが一番多いんですね、保護者の皆さんの回答では、その次が2クラスなんです。やはり1クラスっていうのは、3.6%の人しか支持されてないんですね。ただ、さっきおっしゃったように、少子化が我々の予想以上に早いスピードで進んでいますので、1学級の学校というのは実際今、市内にもたくさんあるわけです。では、なぜその複数学級がいいのかっていうことについては、私は教師をしていましたので、教師の立場からするとですね、やっぱりいろんな人間関係があって、そういう人間関係の中で、やっぱりいろんな人と交流してほしい。残念ながら、同じクラスになって、なかなか人間関係がうまくいかないお子さんもいらっしゃるわけですよ。でも複数クラスがあればいったん分けさせていただいて、また、リセットしていけるっていうようなメリットもあるわけですね。いろんなですね、複数あれば、そういったクラスごとに競うっていうそういう切磋琢磨できる環境にもなりますし、そういった、例えば先生がですね、一緒になってですね、今若い先生が増えていますけれども、1学年に1つしかなかったら、若い先生がモデルになる先生を見つけるのがなかなか難しいです。でも、もう1つのクラスがベテランの先生とか、あるいは中堅の先生で、そのモデルになって、一緒になって学びながら、学年経営をしていけるといって、そういうメリットもあるわけですね。だから、そういったことも考えると、1学年に複数のクラスがあるっていうのはメリットがあるのかなというふうに思います。後ですね、今はこの3地域の学校再編について話をしているわけなんですけども、尾道の子供たちの人数というのは、すごいスピードで少なくなっていますので、ここの地域だけではなくてですね、もう近い将来、市内全体の学校再編を考えていかなきゃいけない、そう思っています。で</p>
-------------------------	---

	<p>すから、そういった意味ではですね、やっぱり新しい、市内のどこにどの学校を残すのか、どこに統合していくのかっていうのは考えていく時期が近づいているのかなと、そのように思いますし、教育委員会としてもそれは意識してこれから取り組んでいかなきゃいけないというふうに思っています。</p>
<p>住民 5</p>	<p>ありがとうございます。2つだけちょっと意見を言わせてください。触れ合いとか、コミュニケーションとか、リアルにその場に一緒にいないとできないっていうふうに思われているのはもう古いと思います。それともう1つは、アンケート結果っておっしゃるんだったら、この問題もアンケートをとってほしいなと思います。以上です。</p>
<p>住民 6</p>	<p>はい。お世話になります。大変素晴らしい学校を創られるということで、感銘を受けているわけなんですけど、先程人口の問題も出たんですけど、やはりどういふんですかね、子供たちは非常に敏感なんですよね。昨年土堂小学校を卒業した55人のうち長江中以外へ行った人が21人。約半数近くいるんですよね。そういった状況の中で、折角いい学校創られても、10年もたないんじゃないかなと思うんですよ。そういった中で、先程言われた複数学級のメリットとか言われてるんですけど、そういった場合また新しい学校を創られるんですか。そこら辺の状況を聞きたいと思います。また以前にも話が出ておりましたが、隠岐島の海士町ですね、人口2000人の町なんですけど、小学校が2つあります。そして100mしか離れていない小学校なんですけど、お互いどういふんですかね、競い合ってから非常に活性化している。また人口が増えているというふうな話があるので、ぜひともそこらを勉強していただきたいなと思います。時間がないので早く決断し、次の議会に上げたいというのはそちらの方の都合なんです。平谷市長がよく言われている市民主役のまちづくりを進めるということに対して、やはり私たちの意見も聞いて、そういったものを反映するというふうな学校づくり、まちづくりですね、そういったものをやっていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>住民 7</p>	<p>まずは教育長さんにお尋ねします。この集会ですよね。皆さん方が説明会と称した。この集会は説明会なのか、説得会なのか。その趣旨をねお伺いしたいと。市民の声を行政施策に反映するために開いているのか、市民を説得するために開催しているのか、ちょっとお答えください。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>この会の趣旨でございますけれども、地域の皆様に説明をする会ということでございます。今、皆さんの土堂小学校を残したいという熱い想いっていうのは、私がこの会議に参加し始めて今日で3回目だと思うんですけども、毎回強く感じておりますし、私もここで平成30年度から3年間校長をさせていただいて、ここにいらっしゃる多くの方に大変お世話になりましたし、学校運営を支えていただいた方もたくさんいらっしゃいます。本当に感謝の気持ちでいっぱいでございます。</p>

<p>住民 7</p>	<p>そうした方々にのお気持ちを受け止めながらもですね、そういう、意に反するといいますか、そういったことお話しなきゃいけないっていうのは大変辛いものがあります。説明会っていうことですので、あくまでも、尾道市教育委員会として、こういった案はいかがですかというふうに案をご提示して、皆様からご意見やご質問を伺っていると、そういう会だと思います。</p> <p>ということは、意見は聞くが聞き流すと、そういうことになりますよ、今のお話はね。はい。いや、そういうことになるじゃないですか。この場で。ちょっと待って。私はそう理解している。いろいろあるからね。また後でいろいろお聞きします。それと、7月31日に、保護者を対象とした集会でね、土砂災害特別警戒区域でいつ何が起こるか分からないリスクがあると、こう発言されているように、新聞に出ていましたが、間違いありませんか。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>受け流しているということはありません。しっかり皆さんのご意見を聞かせていただいている。そういうふうに私は思っています。それで、ただですね、今なかなか合掌立ちみたいな形になっているっていうのが今の状況だと思うんですけども、教育委員会としてはですね、あくまでもさっきの土砂災害のリスクがある、それから、将来複式学級というふうに子供さんの数も減るとい、そういう状況の中で、この土堂小学校を残したいという皆さんの思いは本当によく分かるんですけども、本当にそれでいいのかなど。やはり、安全な場所で、より安全な場所で、一定の規模の人数がいる。そういう教育環境が望ましいんじゃないかということで、ご提案を申し上げているとそのように思っております。</p>
<p>住民 7</p>	<p>今ね、複式学級は心配しているとおっしゃいました。それが本当に心配ならね、複式学級になるように仕向けたのはあなた方じゃないですか。かつてここはね。他の地区のどこからでも来られる政策をとった。土堂地区を潰したいがため、それを廃止しました。そして、この前もお話しましたが、日比崎小学校は仮設校舎でほぼ9年じゃないですか。またこれが増える要素があるんでしょ。元の栗中の跡がまた住宅が建つんでしょ。これ日比崎小学校区でしょう。学区の変更をすればいいだけのことでしょ。首長か教育長が変わればすぐにできることです。なんの問題もなく。だって、認めたのも首長であった。亀田市長時代にね。ここが隆盛。全国の名声を馳せました。止めたのは今の市長でしょう。土堂小学校を潰したいから、急遽子供たちが来れないようにして、そして複式学級になるなるといいながら、脅しながら持っていくけど、そういう欺瞞は通りません。いやいや、もうこのことだけで論争。まだいろいろあるから。それから、ここは危険地域ということですが、私が調べた限りね、ここの場所、この周辺ですよ、有史以来、大規模土砂災害を起こした記録は見つかりません。あなた方、持っていますか。持ってる。ちょっと持たれていたら説明してください。いつ大規模土砂災害があったか。このエリアですよ。</p>

<p>宮本教育長</p>	<p>これは土堂小学校区ではないかもしれないんですけど、この近く、千光寺の西側が、今から47年ぐらい前ですかね、崩れてですね、何人の方が尊い命をなくされたという、そういう新聞記事、今ちょっと持ってないんですけど、教育委員会はそのコピーを持っています。</p>
<p>住民7</p>	<p>それは私も知っています。西側はね。確か4, 5人亡くなりました。こちらはないんです。こちらないんです。ないところ、市長は空き家対策事業として、古い木造家屋をどんどん補助金まで出して直しているじゃないですか。それはあなた方は知った上でここが危険だ危険だと言っているのか。そして、先程総務部長ですか。危険だ何だと言うけれども、そういう事実を知っているのかどうかということと、あなたがそこまで言うんなら、尾道市役所はなんですか、南海トラフ大地震の、想定された規模の地震が来た時は、あの周辺は間違いなく液状化するんです。道路はずたずた、インフラは全部駄目になってきます。そんなところへ建てちゃ駄目だというのを尻理屈をつけて建てているじゃないですか。大災害の時に市役所に逃げて行く人いますか。海側へ。土堂小学校へ逃げて来ますよ。安全と言うなら、あなた方の職場が一番不安全ですよ。承知で建てているじゃないですか。そこへ市民がワンストップ行政だから、ここへ来い来いと。そうおっしゃっているんですよ。そんな矛盾したこと言っちゃ駄目ですよ。1つだけを取り上げて、あなた方はそういう話をしている。それからもう1つ、この前も言いましたような、あなた方は今、風評加害者になっているんですよ。この先も見てきましたが、ここへ入る前に、かなりの家がありますが、あなた方の家と土地は価値がありませんと、非常に危険だということを言っているんですよ。風評加害、刑法233条ですよ。大変失礼でしょ。そこまで市が言うなら、なぜあなた方は、ちょっと立ち退きなさいという催告状を出さないんですか。それには目を瞑るんですか。出した上で動くか動かないのは本人の自由ですけども。そういうことは一切してないでしょ。斜面の方々に。一番丈夫に造ってあるこの小学校が危険という、他のやつは全部駄目でしょう。それと、部長。危険危険と言いつつ何が起こるか分からないというのは、部長認めましたが、なんでこんな危険なところでこんな集会開くんですか。毎回。いつ何か起こるか分からないでしょう。私たちは死ねと言うことですか。ということ、あなた方は本当は、危険とはなんとも思っていないということなんです。違いますか。危険な所で、なんとこれだけでも100人近く居るじゃないですか。なんで。校舎よりこっちの方がはるかに危険じゃないですか。空洞が多い。だからそんな、矛盾をね、言っちゃ駄目ですよ。いや。それからですね。今の部分は、その風評加害者になったということをもう一度勉強してみてください。近隣の方々には大変なご迷惑をかけているということ。いいですね。私は要するにあなた方の論法は、頭隠して尻隠さずというのを平気で言っているというようにしか受け止められません。それから今度は学校教育部長さんですかね、はい。あなたにお聞きしたいんですが、我々は、地域と学校は切り離して教育環境の整備を進めてきた、と発言されているようですが間違いありませんか。</p>

小柳学校教育部長	<p>はい。今、様々な角度からご意見をいただいておりますけれども、今、ご指摘をいただいたことについては、これまで私たちは、子供たちの教育環境を整えるという観点から、市内全域の学校再編に取り組んでまいりました。ですから、地域の活性化でありますとか、やはり地域に学校を残してもらいたいという、様々な意見をいただいておりますけれども、私たちからすれば、子供たちの教育環境の充実を目指していくという観点から進めさせていただいているということです。</p>
住民 7	<p>教育環境の、子供たちの、というのはそれはあなた方のサイド。ある意味教育がね。父兄の方は一番子供に対しても責任を持つわけですから、その方たちが圧倒的多数が反対しているわけですから。そのところをもう一度お考えいただきたいと思います。それからですね、学校の統廃合では、街づくりと教育環境は切り離し、学校を配置しているという、そうした考えは市長の了承を得て進めていると、こういうふうに話されたと書いてありますが、間違いないでしょうか。</p>
小柳学校教育部長	<p>はい。学校再編をするときには、先程も申しましたように、子供たちの教育環境を第一に考えて進めていくということについては、当然市長も理解した上で議会に議案を提案してきたということだと思います。</p>
住民 7	<p>昨日かな。長江でも聞かれたと思うんですが。教育基本法第 13 条、復唱してみてください。昨日聞かれたから頭入ってるでしょ。</p>
小柳学校教育部長	<p>今申し上げることはできません。</p>
住民 7	<p>そこに委員会のメンバーがたくさんいますが、誰も頭入ってませんか。昨日聞かれたんだから、普通ならね、聞かれたら調べて、今日ぐらいメモして持ってくるはずですよ。他の方、誰か分かりますか。メモした人はいないんですか。昨日聞かれたら、今日聞かれるかもしれないくらい分かるでしょ。</p>
小柳学校教育部長	<p>はい。中身については、伝統や文化を大切にするというようなことであつたかとは思いますが、私が答えさせていただいたのは、それが法令違反に当たるのではないかというご指摘をいただきましたので、私たちは、教育基本法に基づいて、その下位法である学校教育法や地教行法に基づいて、適正に行政執行を行っているというふうにお答えさせていただいております。</p>
住民 7	<p>その適正という言葉はね、行政が使う時いつも使うんです。何をやっても適正という。不適正でも適正という。13条をちょっと言いますよ。学校、家庭および地域住民の住民、その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携および協力</p>

に努めるものとする。家庭教育は全ての教育の出発点であり、人格形成の原点である。本条は子供の教育発達を総合的に保障するため、学校、家庭、地域社会は、相互に密接な連携協力関係を持ち、子供の教育に当たるべきという自覚を促すことを目的とした規定と、こういうことですよね。あなた方が判断すれば全てOKというのはどこにも書いてありませんよ。地域と連携することを求めているじゃないですか。それを地域関係なしに進めていくというのは法令違反かどうか、これは法廷で争うことですけれども、少なくともその精神は踏みにじっていますよね。あなた方が何を言おうとも我々がベストと決めたんだからこれに従えよと。この13条、しかも市長は教育一筋30年やってこられた方でしょ。私は市長がこれに同意するとは到底思えない。あなたが本当に同意を得ているのか。ここでおっしゃっているだけなのか。それは分かりませんがね。求めておるじゃないですか。法令違反かどうかよりも、この精神はどうなんですか。地域としっかり連携をとると。そういうことじゃないですか。今教育委員会はちょっと錯乱してるんじゃないですか。どうでしょう。それからこれだけね、何度も集まって、地域市民が意を尽くして訴えていますよ。切実に訴えていますよね。いろんな角度から。にもかかわらず、先程言いました教育基本法の精神を踏みにじり、全く耳を貸そうとしない。特に両部長は顕著に表れていますよ。そんなあなた方に教育行政を進める資格はない。そう思いたい。子供のためと言うけれども、子供も地域も不幸になります。そんな精神で進められたんでは。そしてね、一連の説明会通じて、教育長を初めとする皆さんの説明は、皆さん感じていると思うんですがね、本当に場当たりの、根拠のない無茶振りの論法を振り回している。もうそういうことはみんな、こちらサイドの人たちは感じているんですよ。今回の経緯をね、尾道のみかんを取れば、皆さんはみかんの生産者ですよ、これはおいしゅうできとるけえ買えや、こう言っているけども、消費者であるこちらサイドの方々は、見た目も悪いし欲しくないと、そう言っているのに、あなた方が強引にそれを売りつけようとしている。今そんな図式が私に目に見えてきます。分かりますか。もう一度あなた方が、白紙になって、この地域の方々が、エゴで言っているのか、あなた方がエゴなのか、よく考えていただきたい。そして、誤解のないように言いますと、ここにいらっしゃる皆さんは統合そのものを反対してるんじゃないんですよ。そうじゃないですか。土堂小学校を巻き込んでくれるなどということなんですよ。長江、久保、そして山波ですか、皆さんがぜひ一緒になりたいというのであるならば、お先にどうぞ。それでいいじゃないですか。なぜ地域がね、教育基本法にあるように地域と連携をとりなさいと、その地域が圧倒的多数が反対しているものを強引に進める権利があなた方にあるんでしょうか。子供を人質に取ってですね、強引に押し進めることが、これが教育行政なんですか、尾道市の。尾道市の政治なんですか。そこをもう一度よく考えてください。全てご破算にしろと言っているんじゃないんです。そしてここを残すということを決めたら、あなた方は知恵がいくらでも出てくるじゃないですか。残すための知恵が。初めに結論ありきでくるから駄目な理由ばかり述べてますが、どうしたらこの学校を残せるか、街中から学校なくすことを防ぐの

はどうしたらいいかということを考えれば、通学路の問題も出ましたが、私は西御所町から土堂、長江と通ったんですけども、西御所の場合だって、言ったでしょ、日比崎小学校とわずか650mです。3倍も長い距離歩いていかないかん。何で学区制を見直すことがおかしいんですか。そういった点をもう一度、あなた方はね、しっかり考え直して、どういう場合に、それから学校が減ってくるかも分からない。再配置を考えるかも分からない、あり得るでしょう。しかし、その時は街づくりとセットにしないと、その町は必ず滅びるんです。小学校だけを街づくりと切り離して、成功した、1700いくつの市町がありますが、日本には、一例でも持ってきてください。何で尾道市がそこへ突き進むんですか。駄目な方へ。だから教育委員会も、独立した機関ではあるでしょうけれども、街づくりとセットにしながら、本当にどこへ配置したらいいのか、これは個々の中心市街地だけではないですよ。それぞれの地域で、それには街づくりとリンクしなきゃいけない。その周辺に人が来てもらわないといけない。だから根本的に間違ってるんです。あなた方のおっしゃっていることは。分かりますか。それが。先程から教育基本法あるいは法令違反じゃないなっていきがっていましたが、法令に違反しているかどうかよりも、その精神を踏みにじるのかどうかということを考えてください。これだけは、何回説明会を開いても、同意が得られないわけですから、土堂小学校の合流はいったん白紙に戻すと、それが民主主義でしょう。あなた方の計画は市民感覚から大きくずれているという、少なくともこの地域の方々と、それをもっと気づくべきですよ。これは、まだ他の方もいらっしゃるでしょうから、いったん収めますが、とにかくこれだけのものがあって、何回開いても前へ進まない。だから、あなた方、見切り発車をするというのは、これは禍根を残します。将来。教育もいろいろ過去やってきましたが、大変失礼ながら、この十数年間、全て失敗して来るでしょう。また、それを押し付けて、その費用、64億ですから、今見積もりの段階で、造った段階で過剰施設ということは、分かりきっているじゃないですか。それを半分になっていく人口に、負担をみな押し付けることですよ。あなた方の何かを満足させるために、後の尾道市民にそのツケだけ残っていくんです。人口推計からしても分かっているじゃないですか。いなくなってくるの。この耐震工事もう一度しっかりと設計してみてください。4分の1、5分の1で、間違いなくできますよ。そういうことだけ申し上げてね。終わります。

住民8

いろんな意見が出たんで、まとめさせていただこうと思っております。私は土堂小学校の顧問をしております。宮本教育長とは数年前は同志でした。教育委員会の理不尽な様々なことに対していろんな思いを語り合いました。ただ、いろんな話を聞きまして、まず1点クリアしておきたいのは、お答えになりませんでしたけど、耐震補強が22億かかる。そして工期が3年かかるという話です。ここをクリアしておかないといけないのは、教育委員会の皆様は、市議会が決めることとしか言いません。市議会へのレクチャーとして、こんなにかかるんだったら新築がいいよね、3年半もかかったらどうにもならんよね、という話を

	<p>されています。だったら22億の内訳を見せて下さいと或る議員が言った時、見せてくれませんでした。積算詳細を出して下さいと言っても見せなかったということは、見せていただいたら、当然我々もカウンターとして、その計算が正しいかどうかというのは分かります。単純に計算したら、平米当たり80万です。耐震補強工事が。今度の統合小学校の超豪華、絢爛たる設備は66万です。平米辺り。どう整合性が採れるんですか。この資料は出してもらえるかっていうのを、まず第1の質問としたいです。</p>
末國庶務課長	<p>お答えいたします。まず耐震補強工事の22億円の内訳についてですが、</p>
住民8	<p>その内訳、結構です。17億の積算根拠を示して下さい。それを開示して下さい。後でいいですよ、開示は。するかしないか言って下さい。17億と言っている以上はちゃんと計算されているはずですから、それを出して下さい。そしてそれを22億もかかったと言って議員さん辺りにレクチャーしないで下さい。それが1点です。ですから、出せるんだったら出して下さい。出せないんだったら、数字は間違えていましたって言ってください。どうですか。</p>
末國庶務課長	<p>はい。こちらの数字については64億のお話と同じでございます。まず、64億円が高いというお話を皆様しておられますが、</p>
住民8	<p>いや、私、今、耐震補強の話ですから64億は関係ありません。</p>
末國庶務課長	<p>ですから、それと同じで、当然こちらの方も設計を行い、それから見積りをとったというような形ではなくて、今までの実績、それから、</p>
住民8	<p>ペーパーで出してくれたら結構ですから。こちらの方で計算しますから。どうですか。出してくれるのか、しないのか言ってください。</p>
末國庶務課長	<p>概算でございますので、大雑把な数字でしかお示しすることができません。</p>
住民8	<p>では22億っていうのは、あやふやな数字と言ってくださいよ。</p>
末國庶務課長	<p>22億のうち、7億6000万の耐震補強部分につきましては、もともと設計をもとにして積算しておりますが、</p>
住民8	<p>じゃ、17億は何ですか。</p>
末國庶務課長	<p>ですから、その部分については、長寿命化改修と、大規模改修、</p>
住民8	<p>いや、だからその内訳を見せて下さいと言っている。だから、開示していただけないと、その数字が正しいかどうか分からないじゃないで</p>

	<p>すか。やばいんですか。開示したら。それをまずお聞きしたいです。当然開示したら、3年半もかかるかどうかも全部分かります。どうですか。それを議員さんに説明しているんですから、それに責任持ってやってもらおうかです。まず第1点です。これは。</p>
末國庶務課長	<p>基本的には先程ご説明した通り、過去の事例を、</p>
住民8	<p>いや、事例があるんだったら開示して下さいよ。いや、だから、新聞報道までやっているんだから、22億って。どう言うのかな。確かなものがあるんでしょから、あなた方、虚偽をお話ししたことになりますよ、開示できないというのは。今開示しろと言っているんじゃない。開示するかどうかを言って下さいと言っているんです。まず。</p>
末國庶務課長	<p>先程ご説明した通りなんですけど、64億の積算を当然私どもも、</p>
住民8	<p>いや、私は、64億のことを言っているんじゃなくて、17億の長寿命化の中身を示せと言っているんです。開示できない理由があるんですか。数字を出した時はちゃんと積算根拠はあるでしょう。それを見させていただきましたら、我々もちゃんと積算しますよ。それが妥当かどうか全部分かります。数字を大きくする。議員さんには22億もかかるから新しく作った方がいいですよと言って触れ回っているじゃないですか。</p>
末國庶務課長	<p>それでは、まずこちらでご説明を、</p>
住民8	<p>いや、あの、詳しいの要りませんから、出してください、ペーパーで。後で市役所へ受け取りに行きますから。細かい中身を見せて下さい。そしたら我々もそれをもとに積算します。開示してくれるんですね。まずここでするかしないか言ってくださいよ。ここで言ったところでしょうがないでしょ。難しい積算をずらずらずらずら、当然、ものすごい計算式になるわけだから。ここで聞いても分かりやあせんですよ。だからするかしないかの話ですよ、今。</p>
末國庶務課長	<p>それでは、情報公開請求をしていただければ、</p>
住民8	<p>情報公開請求しろって言うんですか。じゃあ、議員さんがすれば出すんですか、全部。いや、何でそんなに隠さなきゃいけないんですか。</p>
末國庶務課長	<p>開示請求をしていただけたら、出せますよと、</p>
住民8	<p>開示請求しなきゃ出ないようなものですか。新聞までいって、公に言ってる数字でしょ。堂々と出しゃいいじゃないですか。何がまずいんですか。どこがいけないんですか。だから、まあいいです。開示請求することで。あまり長くなっても、私が言ったことは、どんどん、飛ばします。じゃあですね、なぜここまで拗れに拗れて今日まで至っているかと</p>

いったら、我々は、保護者と地域の皆さんと、教育委員会と市は、全く不信感の塊になっているからです。言っていることがコロコロコロコロ変わってしまっています。耐震ができません。重機が入った写真見せると、ああできますね。今度は居ながら耐震はできません。いやあ。仮校舎入って静かな所でできますよ。土砂災害です。もうとにかく、出ろ出ろの一点張りを出してきました。そして、市と教育委員会が一貫していることは、新しく64億円の巨費をかけて統合小中学校を造ろうとすることだけが一貫しております。本当に児童のことを考えたら、造るということよりも、どういう環境でやっていくかっていうことが先に来なきゃいけないんで。建物が先に来ているじゃないですか。あの時に土砂だ耐震だとか言って上に押し上げた時には白紙だ白紙だと言ってやっていました。2年半何やっていたんですか。白紙のままずっとだんまりを決め込んで、選挙が終わったら統廃合だと。いうことじゃないですか。ね、これは本当におかしな話なんですよ。本来ならば、統廃合というものは、地域の意見を集約して、将来の人口動態や街の在り方を非常に考えて、この街はこうあるべきだということを考えながら進めていくものなんです。しかし、市教委は、まずスケジュールありきなんです。だから、この間の保護者説明会でも、地域は関係ないと言いだしたんです。ところが、この間のパンフレットをつらつら見ていくと、新しい小学校は地域の皆さんと一緒に頑張って頑張りますと言っているわけですね。茶番じゃないですか。もう本当にね、言っていることとやっていることが滅茶苦茶過ぎます。そして22億に絡むことです。私がいろんな所を、地区を回っていくと、また議員さんとも話をすると、土堂のエゴだと。22億もかかるから、こんなものは、そんなことには使えんという話を聞いております。要するに、土堂のエゴだということに事柄を矮小化して、本当は尾道市民が等しく負担を背負うことに対して、事柄矮小化していることに他なりません。このたびの64億円の巨費を投じて行う財政の中身を聞いてきました。10億円は補助金だそうです。11億円は一般財源から拠出するんですね。後のお金は借金だそうです。起債をするそうです。これだけの借金を背負わして統合小学校小中学校を作ろうということです。しかし、ここから何度も話が出ましたように、統合小学校は、市教委のパンフレットにありましたように、開校して間もなくすれば、1クラスになります。人口動態調査で明らかになって、市教委の方もそれは認めております。ここに、私は古い新聞を持ってきました。今年の1月21日の日経新聞です。この新聞には、消えゆく母校、住民も諦め、と書いてあるんですけど、統廃合してもいずれ手詰まり、と書いてあります。すなわち、統廃合をしても更に縮小していく。統廃合しても更に縮小していくから、でっかい箱物を作る時代は終わりましたと書いてあるんです。尾道市は周回遅れをやるようとしているんです。要するに、人口が増えている江東区ですら、何年か先に減るから、鉄筋コンクリートのフル規格ではなくて、鉄骨でいいって言っているんです。それをもう、明らかに1クラス編成になるのに、豪華絢爛たる、まあバカロレアがモデルだとか、オープン教室を造るだとか、もうとにかく贅の限りを尽くした小学校を64億円、43億の借金を使って作ろうとしているんです。それは土堂のエゴだ

とかか、あれだけどうだとか言っていますけど、最終的に43億円借金背負うと、尾道の市民は等しく苦しみます。例えば43億円があれば、しまなみの運賃の軽減もできるでしょう。免許を返納した方々の、お年寄りのチケットもできるでしょう。子育て支援が、この度、海外メディアも注目したように、全くそういうことに対して配慮がない市だということに対しての汚名返上で、手厚くの予算もつけられるでしょう。箱物に使ったらそんな金ないですよ。そういうこと理解していただかないといけないんです。市教委の方々は、私はこうやって喋っていますが、私は実はこちらのマスコミと市民に対して話をしてます。ここはガス抜き場だと思って、どうせ、市議会議員の説明会が主戦場だと思っておられます。ですから、この22億というのは私は譲れないんです。だから後でもう一回聞きますね。で、私は、市教委の説明をずっと聞いていますと。この9月に、設計予算の上程をしようと言っています。じゃあ、なぜ、設計を上程するかといたらそんな緊急性はないんですよ。前は、私、住民監査請求をしましたが、危険性があるとか土砂だとか言って、行政の裁量権とか言われましたけど、この度は何の緊急性もありません。あるのは市教育委員会の、もしくは市長の都合だけです。そんな中で、ね、この統廃合とかっていうのを簡単にやるもんですか。今、前の方が言われましたように、本来ならば簡易耐震化でも十分なんです。1クラス編成して、北側が危ないとなったら、東側だけ耐震化して、そして本来の学び舎に児童たちを戻すんです。市教育委員会は、かわいそうだから早く何とかしなきゃいけない。かわいそうに思わせてるのはあなた方じゃないですか。そうしたことを踏まえれば1クラス編成でもいいから耐震化して、戻して、そして今度は腰を据えて、尾道の町はどういう町まちにしたらいいのか、どういう形があるべき姿なのかということを検討したっておかしくないじゃないですか。43億円ですよ。皆さんの借金です、これは。そういうことを議員の皆さんには説明せず、とにかく22億と64億でどうだといった話ばかりされている。事を矮小化しているだけです。地域エゴだとか言っている。地域エゴではありません。これは尾道市民等しく損害を被る話なんです。ですから、もう一度最後に聞きます。22億は開示されますでしょうか。積算根拠の詳細を。どうでしょう。

川齋教育総務部長

はい。今、22億円だからとか、64億円だからという話をされていますが、我々としては、まずは子供たちの安全、こういった趣旨から、お話をさせてもらっています。22億円という話は、これは、議員さんの説明会の中で、耐震化に幾らかかるんですか、っていう質問が出ました。それに対して、我々は、

(「根拠もない話をするなや。変われえや。」という声あり。)

根拠のない話ではございません。

住民8

じゃ開示してください。

川鯨教育総務部長	<p>そうした経緯の中で、</p> <p>(「そんなら開示せえや。」との声あり。)</p> <p>今までの、</p> <p>(「開示するかどうか。)」との声あり。)</p> <p>今までの、</p> <p>(「開示するかどうか。)」との声あり。)</p> <p>話をさせてください。</p>
住民8	<p>いや、シンプルじゃないですか。開示するかしないかを聞いているんですよ。</p>
川鯨教育総務部長	<p>それだけでは、我々としては今までの話に対して何の反論もできません。</p>
住民8	<p>何を言っているんですかそれは。やはり反論なのか。それはそうかもしれないかもしれませんが、きちっと、いやあ、だからきちっとやりましょう。</p>
川鯨教育総務部長	<p>22億円という数字は幾らなんですかと、当然我々としては、耐震化をするとか、そうではない案を出しております。ですから、そこに対して詳細な設計があるとかいうことはございません。当然、今までの、</p> <p>(「いい加減。」との声あり。)</p> <p>いい加減ではございません。今までのやった実績、これをきちっと単価として弾き出して、その上で計算をしている。それが、はい。だからそういう開示になりますよということをし言わせていただきました。先程、きちっとどこまで精査したのかとか、そういう議論があったから、だからこういう計算をしていますよということをご紹介を、</p>
住民8	<p>じゃあ、アバウトなものを出したってということですよ。</p>
川鯨教育総務部長	<p>アバウトではありません。今できる手法の中で、一番それを、</p> <p>(「じゃそれを開示すればいいでしょう。」という声あり。)</p>
住民8	<p>そうです。ですからそれになりますよという話をしながら、</p> <p>ですから詳細を開示してもらったら、こちらにも計算のしようがある</p>

	<p>んで、それを見せてほしいと言っているのです。それが妥当かどうか分かったら、それでカウンターが描けるというだけのことで、堂々と出せばいいじゃないですか。自信があるならば。</p>
川 鯨教育総務部長	<p>だからそういう形では出すという形になると思います。</p>
住民 8	<p>じゃどうぞ。</p>
川 鯨教育総務部長	<p>その上で我々の思いもお話をさせてほしいという、</p>
住民 8	<p>思いは関係ないでしょう。数字を出すか出さないかじゃないですか。</p>
川 鯨教育総務部長	<p>いや、そちらの思いを話した上でこちらの思いは聞きませんよっていうのは、それを我々としては、10億円、20億円が高いとか安いとか、そういう議論を、我々は議論の中心に持っていないということです。</p>
住民 8	<p>いやでも。</p>
川 鯨教育総務部長	<p>64億円にしても、高いじゃないかという皆様のご意見は真摯に受けとめる中で、やはりこれからきちっと基本実施設計というのを進めていきます。その中で、華美なものじゃないですよということもきちっと精査した上で、できるだけその額を減らしていくということもあわせて考えてまいります。</p>
住民 8	<p>私は今64億円を話しておりません。あなた方が22億円で言ったことに対して言っていると言っております。</p>
川 鯨教育総務部長	<p>ですから、その点についてはやはり我々の思いというのも話をさせてほしい。それだけでございます。</p>
住民 8	<p>何を言っているのか訳分からん。思いを言われるのは結構ですけど、我々、その数字が1人歩きして、議員さんに対していろんなことを言っておられるという事実も掴んでいるんで、それは責任を持って出した数字でないといけませんよ。数字というのはとっても大事ですよ。さっきの人口動態調査にしてもそうですけど、嘘をつきませんから。住民基本台帳で、学区のところを引っ張れば、数年先には1クラスが確定しています。そんな中で43億円を使うというのは、市民のコンセンサスを得なきゃいけないんですよ本当は。そうするとですね、あなた方の勝手な都合で進めているんですよ。それが思いなんですか。ですから、開示をして、私どもに計算させてくださいよ。それが妥当かどうか、私も開示しますよ。そしたら議員さんに対しても説明がつくじゃないですか。どっちが正しいのか。今、前の方がずっと遥かに安い値段で</p>

<p>川鯨教育総務部長</p>	<p>出来ている例がたくさんあるで言っているじゃないですか。あなた方にとって都合のいい案を出したんじゃないかって言われても今のところ仕方ないですよ。どうでしょう。</p> <p>都合のいいとか都合の悪いとかいうことは考えておりません。先程言われたケースについても、我々も先程答えましたように、学校の条件、耐震性の現在の状況、I S値の状況、それで耐震性がやりやすい場所、非常に難しい場所、様々な場所があります。それによって工期も金額も工法も、様々な方法がありますので、額も大きく変わってきます。時期も大きく変わってきます。この学校がこれでできたから、我々もこれでできるだろうということは決してないということ・・・。</p>
<p>住民8</p>	<p>だから、それを見せてくださいと言っているんですよ。その根拠を見せて下さいと言っているんです、私は。ここの体育館は耐震補強をされました。当初、耐震化ができないと市教委が言っていました。ところが、この耐震補強をした時に、重機が入っている写真を見せたら、耐震できるんですね、と言われました。そういうレベルですよ。そうするとですね、今のままの説明では、全くここの説明会に対して真摯な答えもせず、議員説明会を超えればいいんだと言われても仕方ないんじゃないですかね。議員さんに対しても今のようなあやふやな数値ということで、これは公になりましたから、はっきりしたものを示さないで議員さんも納得しないんじゃないですかね。3年半もかかるというのだったら、どんな工程で3年半かかるというのを詳細に出せるはずなんですよ。そんなあやふやなもので出せるわけないんです。やはり我々もやっぱりそういう計算してくれるところがありますけど、結構な計算が要ります。綿密な計算が要ります。そうした中で数字は作っていくんだけど、22億という、長寿命化17億というびっくりするのは数字だったら、例えば、トレーラーが来るのがなんぼ、重機が入るになんぼ、人足はなんぼとか、全部細かい数字が出て、積み上がって17億という数字が出ているはずなんです。それを出してもらったら話は早いんです。当然、今までの数字だということから、今までの数字のデータをこれでやりましたっていうのを詳らかにしてもらったら、当然我々も、議員さんなんか、22億なんだ、なるほど、と言って説明して回りますと。数字は1つですから。2つもないんです。ですから、当然、過大な見積もりかもしれないし、もっと安くできる工法かもしれない。今まで市教委はそういうことをしてきて、音がうるさいとか、粉塵だとか言っても、全部違う工法があるって言ったら、それぞれそれって、全部逃げの1点だったじゃないですか。今度もまた、あやふやな、曖昧な数字を見せるんですか。ぜひ開示すると、ここで明言していただかないことには、この場は収まらないんじゃないかと私は思いますけどいかがでしょうか。</p>
<p>川鯨教育総務部長</p>	<p>開示請求をしていただければと思います。</p>

住民 8	開示請求をしなければいけないレベルの極秘情報なんですか、これ。22億円と公に言っている以上は・・・、
川 鯨教育総務部長	詳細な資料をとおっしゃったと思います。
住民 8	詳細な資料と言いますと、全部詳らかにに出してくれるんですか。22億の積算根拠。
川 鯨教育総務部長	先程も申しました通り、これまでの・・・、
住民 8	いや、勿論そうなんだけど、22億という数字が出ている以上は、これとこれとこれを合わせた22億になっているわけですから、これとこれがあったから22億になりましたと見せればいいじゃないですか。そうしたら、これとこれを合わせたら本当に22億なのか、5億なのかそれが全部分かるじゃないですか。これとこれでどういう工事をしたから、これは20何億で、積みあがったら22億になったから、22億と言ったはずなんですよ。だからそれを見せてくださいって言っている。開示請求するようなものなんですか。あんなにペーパーにも書いているし、新聞社にもどンドン書かれているんだから、堂々と言えればいいじゃないですか。何の秘密があるんです。不都合な数字が出てきますから。それはもう大嘘っぱちだから。それはもう困るんです。みんな分からないんだから。ペーパーで出してください。ペーパーで。22億と言ったらものすごい小さい数字がずらっと並ぶんですよ。覚えられないんです。だから、今ここで何ぼ何ぼと言われたって、みんな、どう言うのかな。私ら計算できませんよ。だから紙で出してもらったら結構ですから、ペーパーで。そしてそれを基に計算しますから。ここで何ぼやられたって何千何百をずらっとずらっと言われたって、みんな計算できはせんですよ。ですから、きっちり22億になったという中身を見せてくれと言っているんだから。ですから、私の質問はそんなに難しい話じゃないんですよ。22億と言ったなら、22億の中身を見せてくれと言っているだけのことなんです。簡単ですよ。なぜそんなに躊躇してうろろしなきゃいけないんですか。43億円も借金する事業ですよ。きっちり数字を綺麗に出しましょうよ。
末 國庶務課長	それでは後日提示させていただきますので・・・、
住民 8	じゃあいつ頃提示していただけますか。日にちをおっしゃっていただけたら取りに伺います。いつ頃出していただけますか。
末 國庶務課長	では、月曜日で。
住民 8	14日。分かりました。では教育委員会に伺って、元データのいわゆる詳細なやつを受け取りに行きます。その詳細なデータを基に私たち

	<p>も計算させていただいて、そしてまた、開示させていただこうと思っております。やはり22億という数字に自信を持っておられる以上は、それだけの責任をもって言うておられるわけですから、我々もそれに対して検証させていただけるということは当然市民の権利じゃないかと思っております。よろしいですか。よろしいですね。オーケーですね。分かりました。じゃあ14日に取りに伺いますので、よろしく申し上げます。私も最後に言いたいことは、こういった巨額の費用を使うことは、地域の問題でもなく、地域のエゴでもありません。こういうことってというのは、ちゃんとした、前の方が言われましたように、いったん戻して、静かな環境の中で、勉強そのものを本来の学び舎で勉強させて、そして、地域の人、専門家委員会、教育委員会をもって、これからの街をどうしてやっていくのか、人口動態を調査しながら、街はどうやってやるべきものなのかっていうことを検討しなければならないのに、64億円の巨費を投じるのを、なぜこの9月にやらなきゃいけないのかという、設計図を出さなきゃいけないのかということについて、最後に質問させていただいて、私の質問を終わりたいと思います。</p>
宮本教育長	<p>64億っていうのはすごいお金なので、いろんな説明会でですねちょっと過大過ぎるんじゃないかと、市民の大切なお金をそんな使うのはどうなのかっていう、そういうご意見をたくさんいただきました。ですので、私が64億から費用圧縮するように、担当の者に指示をして、今見直しの検討を行っております。以上です。</p>
住民8	<p>いや。すいません。ちょっと答えになってないんで。かつての同志に対して厳しい御質問させていただきますけど。なぜこのタイミングで造らなきゃいけないのかと聞いているんです。このしっかりした議論が、ちゃんと街のあり方とか、一度も議論されていません。とにかく上がれ。そして上がったら白紙だと、そして今度は統廃合だと。いつどこで統廃合の議論がちゃんと議会でもこの地域説明会でもされましたか。決まったことだからといって全部話を進めております。ですから、なぜそんなに急ぐのかっていうことを明らかにしていただきたい。当然9月に出すには出さなきゃいけない理由があるでしょうからそれを教えていただきたいと思います。</p>
宮本教育長	<p>まずですね、今質問をしてくださった方と私は本当によくコミュニケーションをかつてとっておりましてですね、当時の教育委員会のやり方についてもですね、今、私、教育委員会のここに座っていますので、身内を悪く言うのもどうかとは思いますが、ただ言われたように不信感を招くような、そういうものであったと、私も当時思っていました。ですから皆さんが教育委員会に不信感を抱かれるのは、すごくよく分かるんです。かつて説明会で、そのことについてはですね、今、私が教育長ですから、大変申し訳なかったとお詫びを申し上げたいというふうにお話をさせていただいたところです。その上でですね、なぜ新築していくのかっていう話なんですけど、やっぱりこれ、一言で言うと、今、仮設校舎で過ごしているのか、これ3年に及んでいるんですね。</p>

<p>住民 8</p>	<p>私はですね、この仮設校舎、何回も行きましたけど。早く、やはり望ましいきちんとした校舎で勉強させてやりたいとそう思っているんです。これ以上ですね、仮設校舎での生活を長引かせるのは本当に忍びない。それで、やはり新築のきちんとした校舎で学ばせてやりたい。それが私の思いです。</p> <p>分かりました。ではお聞きしますけど。仮設校舎で野ざらしに、棚ざらしにして、そういう目に合わせているのはどこのどなたでしょうか。市教育委員会じゃないですか。あなた方が、上に上げてしまって、この2年間何もしなかった不作為の果てに、今度は何とかしてあげなきゃいけないって言うのは、あなた方の勝手であって、土堂小学校は長江のプレハブに移るわけですから、仮設校舎から仮設校舎に移るんですよ。何の説明にもなっていないと私は思うんですけどいかがでしょうか。お答えにならないっていうのは、すごく都合が悪いのかどうか知りませんが、私もかつて一緒に市教委の横暴さに立ち向かった方に大変失礼かなとは思いますが、立場が変われば仕方ないのかなとは思っております。しかしながら、私は、土堂小学校の顧問であり、この学校のOBであり、そしてこの地域に住んで、またずっと住み続けたいと思っております。そのためには、そうしたこと一つ一つを、ああそうですかって言われてスルーするわけにいかないんです。ですから、なぜこの9月に予算を出さなきゃいけないのかっていう理由をお聞かせいただけたら。今はかわいそうだからとか何とかしなきゃいけないと。何とかしなきゃいけない状態にさせたのは、市教育委員会です。だから、言っていることが何かめっちゃくちゃなんですよね。さらにそれが、ちゃんとした所だったら、長江のプレハブに移るわけですから。もっとまともな理由をつけていただかないと、この説明会は終わらないですよ。どうでしょう。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>仮設校舎から仮設校舎っていうお話なんですけれども、これはやはり新しい校舎をですね、令和9年度から使いたいというプランご提示しているわけなんですけれども、そのプランを実現するためには、一旦やはり仮設校舎の方にですね、今、長江中学校の校舎のところにありますけれども、あそこに一旦動いていただかないととかないと。そういうプロセスを経ないと、令和9年度に新校舎を運用できないというそういうことだと思いますよ。</p>
<p>住民 8</p>	<p>ではお聞きしますけど、令和9年というスケジュールありきでやってるっていうことですか。令和9年にしなきゃいけない理由は何かあるんですか。私どもは議論がされていないということが問題だって言ってるのに、スケジュールが問題になってこれぼっちも言ったことないですよ。なぜ令和9年にしなきゃいけないかということは、我々の求めているものではなくて、ちゃんと議論を経て、どういうグランドデザインをするか、おまけに今度は令和9年に新しく学校を創ると言ってるって、もうすでに1クラス編成になるじゃないですか。それに、フル規格の建物を造る、そしてこのように日経新聞が全国紙で、もうそういう</p>

	<p>時代じゃありません、と書いている中で、周回遅れのプランニングで市民の方々に負担を持たせるんですか。瀬戸田とか因島は、土堂の子じゃ言うて関係ないわと思っっている方もいますけど、皆さん等しく負担をしなきゃいけないという事実がそこにあるんですよ。でもそういったことを議員さんに説明されたことあるんですか。ですから、なぜスケジュールが令和9年になっているかっていう、それも我々は謎ですから、ご開示できるものは言っていたきたいと思います。</p>
<p>川鯨教育総務部長</p>	<p>今我々のご提案している案というのは、我々の中でやはり子供たちの安全を確保するための最短の計画、スケジュールというふうにご理解いただきたいと思っいます。したがっまして、令和7年度の統合、令和9年度の新校舎建築に伴う供用開始というこの計画が最短であろうと。そのために、逆算すれば、いわゆる基本実施設計に入らないといっけないよということの提案でございます。</p>
<p>住民8</p>	<p>それは市教委の都合であっって、子供たちの都合じゃないですよ。市教委が建物を造るための都合であっって、建物を造ることが我々の望んでいるものじゃないんですよ。建物を造ったらいい教育ができるかって言ったらできませんよね。仏作っって魂入れずじゃなくて、どんなボロ校舎だっってちゃんとした教育と教育環境ができるんですよ。だから建物ありきでやっっているということがおかしいじゃないですか、ということが我々一般の人たちのコンセンサスですよ。そんな43億円の起債をしてやるような事業ですね、そんなに簡単にスケジュールがこうだからとっってやるんですか。議員さんが賛成したら関係ねわと思っっているかもしれませんですけど、その辺のところをなぜ令和9年なのか言っっていたきたいです。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>今、教育総務部長が説明をしたように、私たちがお示ししているプランで最短で令和9年に新校舎を活用できるということです。それに尽きると思っうんですけども、この土堂小学校の校舎というのは、とっても素敵な校舎で、皆さんが残したいっっていうお気持ちを持ってらっしゃるのは私もよくわかります。私も校長時代にですね、京都の大学の先生がこられてですね、見せてほしいと。文化的にすごく価値があるということですね、そういう話をさせていだいたと思っうんですけども、そういったことからですね、すごく文化財的価値があるんですけども、ただですね、やっぱり子供たちの生命、教育を預かる責任者としてはですね、やはり土砂災害のリスクがある・・・</p> <p>(「ないでしょう。」との声あり。)</p> <p>あるんです。あるんですよ。</p> <p>(「根拠を出せ。根拠を。」との声あり。)</p> <p>土砂災害の警戒区域になっているじゃないですか。ですから、そうい</p>

	<p>うところ、いいところなんですけども、やっぱりそういうリスクがどうしてもある。ですから、より安全な場所に動いていただくと。それは、合理的な考え方ではあるんですけど、皆さんにとっては、それは辛いお話だし、ここを残したいと思っている皆さんにはですね、なかなか受け入れないということは承知してるんですけども、やはりそういうご提案をさせていただかざるを得ないということでございます。</p>
住民 8	<p>我々今、耐震化してくださいっていう事業をしておりますけど、この校舎、東校舎と北校舎がありますけど、フル規格で耐震化してくれなくてこれぼっちも言うておりません。東校舎だけ耐震化したらですね、北校舎が確かにレッドゾーンに少しかかっていますから、東校舎耐震すればレッドにならないですね。そうするとですね。危ないからという論理が消えます。そういうことは我々もちゃんと調べてこういう話をさせていただいております。ですから、なぜ、令和 9 年に向けて進めなきゃいけないのかっていう。令和 9 年の根拠なんですよ。安心安全だとかっていうのは後からついてきているはずなわけで、令和 9 年にしなきゃいけない理由が、何か国から言われとるんだから、いや、市長から言われとるんだから、何か理由があるはずだから、令和 9 年という数字が出てきているはずなんで、ぜひそれを言うていただければいいと思います。</p>
宮本教育長	<p>それはやはり繰り返しになりますけれども、早く仮設校舎から新築の校舎に移れるように、そのプロセスを早く踏んでいくその最短が令和 9 年度と、このように思っております。</p>
住民 8	<p>今までの 2 年間は耐震工事しようと思ったらできたのを、ずっとやってこなかったの不作为の行為ですよ。今からでも耐震工事っていうのは、多分この開示されたもので工期を考えれば、3 年半も絶対かかるわけないんです。あの時、居ながら耐震でも 1 年ぐらいで済んだんですよ。二校舎ですよ。でも今度は人がいない中でやるんだしたら、おそろくびっくりするぐらい速いスピードできるはずですよ。そうすると、3 年半もかかるといったことが、どこでそういう計算になったかっていうのがつまびらかになった時に、我々も、マスコミやマスメディアなんか公表させてもらって、これはどうなんだろうかっていう公開質問でもさせていただこうと思っております。そういうことです。</p>
住民 9	<p>すいません、座ったままで。ありがとうございます。ちょっと本筋と、ちょっとだけずれるんですが、私、向島で子供食堂とかやってる〇〇の〇〇と言います。私のところには、向島の子はもちろんなんですが、土堂の子も長江の子も久保の子も山波の子も来ます。いろんなお母さんたちと接点があって、いろんな情報が入ってくる中で、ちょっと筋違いなんですけど、お話しします。長江小のお母さんから聞いた話で、娘さんがひどいじめにあって、つい 5 月ぐらいには給食を無理やり口に押し込ませられるっていう事件があったのは教育長ご存じですか。長江小学校ご存知ですか。はい。このお母さんが、やっぱり教育委員会</p>

	<p>に対して不信感を拭えないと。まず、寄り添ってくれないっていう不満かなって、僕は思ってるんですが、だから今回の統廃合も、もうそういったことも含めて全く信用に値しないということで、とても憤っておられたので、ここにいらっしゃってる皆さんにも一応情報を共有したいなと思ってお話をしましたが、今、いじめはね、昔からあったろうしこれからもあるんだろうけど子供の教育の環境って言うんだあれば、もっともっと寄り添っていただきたいなと思います。以上です。</p>
<p>住民10</p>	<p>西土堂在住の〇〇と申します。今日は説明会ありがとうございました。説明会でご提案を聞いた上で、地域住民として、ご提案に反対いたします。理由は大きく2つあります。1つはですね、先程から言っていますように、この伝統ある文化財的な価値のある建物を守りたい。未来に残したいということ。それからもう1つは、土堂小学校ですね、地域からなくしたくない人は、小学校がなくなると地域が衰退するんじゃないかという危惧はあります。この2つです。地域住民としてはこの2つになります。先程来から出てますけれども、なるべく早くですね、子供たちをまた学校に戻していただきたいと思っています。ですので、なるべく早く耐震工事を行っていただいて、簡易でも構いません、耐震工事を行っていただいて、また子供たちをここに戻していただだけませんか。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>ご意見としてはしっかり受けとめさせていただいて、また判断をしていきたいとそのように思います。</p>
<p>住民10</p>	<p>はい。ありがとうございます。もう1つですね、街づくりの観点というのは教育委員会にはないという話をいただいていますけれども、できればですね、街づくりの観点を持っていただいて、この伝統ある素敵な建物で、しかも駅前にあるこの土堂小学校を残して、そこで特徴ある教育を行って、また移住者とか、子供たちを増やそうという気概が教育委員会にはないのでしょうか。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>特別な学校というのは創る考えはないです。というのは、やはり義務教育で、尾道市内どこの学校に通ってもですね。同じレベル、同じ質の教育ができるということを我々は目指していきなきゃいけない、そういう立場であると思いますので、特色がそれぞれあるっていうのは大事なことなんですけれども、どこかの学校が突出したっていうような学校をつくる。そういう考えはありません。</p>
<p>住民10</p>	<p>特徴ある教育と特色のある学校の違いっていうのは何でしょうか。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>やはりそれぞれの学校が歴史、それから伝統を持っていますので、それぞれの歴史、伝統を大切にされて今に至っている。これはやっぱり大事にしななきゃいけないことだと思うんです。それはいろんな、例えば、この学校は神楽とか、こういった伝統文化を大切にこれまでもされている学校があったり、こっちの学校は非常に地域と密接に関係して、地</p>

<p>住民10</p>	<p>域の人たちと一緒に学びを作ってらっしゃるとかいろんな特色があると思うんですね。それはそれとしてすごく大事なことだと思うんですけども、例えばどこかの学校が突出して、何か英語教育をすることで、そういうようなことを考えているわけではないということです。私も前からの英語教育については興味を持っていて、ご説明をさせていただいたと思うんですけど、それは新しい学校だけに考えていることではなくて、市内全ての小中学校で実施していけないかなということ。今、市教委の中でいろいろ議論をしているところですので、そういう意味で申し上げたんです。</p> <p>はい。ありがとうございます。またですね、人口減少対策も考えて、街づくりも考え直した上でですね、ぜひ土堂小学校での教育について、また考えていただければというふうに思っています。よろしく願いいたします。</p>
<p>住民11</p>	<p>こちら、西山手東町内会の町内会長、学校が存在している町内会長をやらせていただいている〇〇という者なんですけど。僕は4年前から町内会の会長やらさしていただいているんですけど、その前までは、実は引っ越してくるのが8年前で、4年間しか住んでいなかったの、全くこの問題を知らなかったんですよ。ある日町内会長になって、突然、隣の公民館で説明会があるっていうので行ったんですけど、そしたら、もう上に上がる前提の話だったんで、こんなことになっているんだって、僕はそれまでの話は全然知らないからあれだったんですけど、急に統廃合の話が出てきて、その前に、上の校舎の内覧会の案内も来たんですけど、内覧会もコロナで消えてしまって、しばらく経ってから初めてコミュニティースクール、地域と連動した非常に珍しい学校っていうのもお聞きしたんですけど、ちょっとその割には全く町内会にて説明も相談も何もない状態で急にも統廃合が決まってっていう流れになっているんで、それで、地域住民の方、これだけちょっと不審に思われているんじゃないかなっていうところがあると思うんですけど。町内会長としてちょっと素朴にお聞きしたいんですけど、ここの会場に集まった方で、学校、この地に残したいっていう人だけちょっと手を挙げてもらってもいいですかね。それがちょっと一番知りたくて。ああ。ちょっと見る限り、ほぼ全員だと僕は思うんで、ちょっとこれを踏まえて、しっかり検討していただければありがたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
<p>住民12</p>	<p>長丁場お疲れ様です。数年後お世話になることを見通してっていうのもあるんですけども、こちらに引っ越す前、浜松市でですね、高校で教えていた場所が、本当に海辺近くで、南海トラフが来たらもう一発で沈んでしまうような場所。私自身、議員さんに移設してくれませんかかっていう話もしたこともありました。そういう意味で、土砂災害という災害を理由に移設等を検討していただけるっていうのは個人的に大変ありがたいこととございます。自然災害が起こる起こらないっていうのは、人間である以上絶対っていうことはいえませんが、こっちは起</p>

こらないだろうとか起こるんだろうとかも、言い切れないって思っております。その上で、さっきもちょっと重複してしまうんですけども、やっぱり通学の不安です。その1点です。そこさえクリアされれば、数年後お世話になる身としましては、新しい校舎でもいいというふうに、そこからそこさえクリアされれば、私は賛成という言葉が出せると思っております。土砂災害の不安と日々さらされる、今だったら徒歩数分ですけども、長江の方になりますと徒歩40分ほど大人の足でかかる、子供だと1時間ぐらいかかってしまうのではないかっていう、それがやっぱり、すごく不安で、日々のそちらの危険等、土砂災害を天秤にかけたときに、その日々の危険の方が怖いっていうのが率直な意見でございます。それが1つ。もう1つ、別角度からの意見というかご提案ですね。自分も高校で教えていたっていうのもあり、大学の同級生も多く教諭として働いておりました。まだ20代ですけども、みんな教諭として働いている人たちも辞めてしまいました。なんでかっていうと、やっぱり今学校の先生たちが置かれている労働環境の劣悪さですね。大変です。30人35人、多いですよっていう同級生の声と、あとは複数学級も本当に負担っていうことを、私、友達からたくさん聞いております。結局、優秀な同期たちが教職の場から退いてしまいました。それとですね、自分が大学で教員免許を取る際に教わっていた内容で、30人、35人という人数では、どうしてもいじめが起こる。これからは少人数の方にシフトしていくべきっていう教育を私は受けました。そういう観点からですと、あと大人数っていうのはどうなのかなっていうのが1つあります。それとですね、小中一貫に関しましては、個人的には賛成です。生徒、児童が、例えば中学の勉強に興味のある小学生が中学部の先生に気軽に質問に行けるといったメリットがありますし、様々な年齢の方と関わるっていうのもとてもいい経験になると思います。その上で、もしかしたら、少人数、小規模学級の中高一貫も可能なのではないかという、先程教育長さんからでしたっけ、たくさんの人にもまれた方がいいっていうのは私もそう思う中で、小規模学校で中高一貫でしたら1クラスは少なくとも、学校全体は縦の繋がりで、様々な人と関わるのではないかなと思いました。あと、私自身が実際に高校生と関わっていた中で、1クラスで1人1人の特徴を見ながら、教育ができると個人的に感じたのは、10人、多くて15人かなというのが本当に私個人としての感覚でございます。そういう点も含めて、新しい教育のあり方、とても興味深く拝聴させていただいております中で、これから、やっぱり教員の方々の労働環境に関しましても、新しい形というのは、ぜひ、行っていただきたいというのが個人的な思いです。やっぱり良い環境で働いていただきたいし、そのような先生方に教えていただきたいっていうのが思いでございます。あと何か言おうとしたのは何だったかな。もう1つ、新校舎に関しまして予算が出ている中で、今ちょっと削減してほしいというお話も出ていると伺いましたが、これだけ1つ質問でございます。新校舎になった場合、各教室や体育館に空調はつけていただけますでしょうか。実際に働いていた中で、空調がない状態で働いていて、本当に熱中症が恐ろしかったです。それだけもちろん、学校現場は、災害時にはここ体育館に多くの人

<p>宮本教育長</p>	<p>が集まることになると思います。そういうことを考えても、空調がないっていうのだけは、私は避けていただきたいなと思って、それだけはちょっと予算として削っていただきたいかと思っっているんで、お願いいたします。</p> <p>はい。空調ですけれども、もちろん各教室、それから体育館空調をつけます。はい。</p>
<p>住民12</p>	<p>ありがとうございます。以上でございます。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>ごめんなさい。今の回答を求めないと言われましたけれども、一連のことについて、今の教育委員会の取組とか、考え方について、お答えしたいと思っいます。まず通学についてでございますが、土堂のやっぱり西御所の端の方でありますと、3キロにはなりませんけれども、やはり、昨今の気象状況を考えますと、バス通学による路線バスを活用した支援というのは、やはり考えていかなければいけないと思っいますし、現在シミュレーション等も行っております。ですから、どこの地域からとか、学年をどうするか、そういったことについては、今後、十分詰めさせていただきたいと思っしておりますので、できるだけ子供たちの負担を軽減する、また保護者や地域の方に安全に思っただけのようなものを、やっぱり作っていかなければいけないと思っっています。教員の働き方改革について、かなりご指摘をいただいたふうに思っいます。尾道市の教職員も、当然、今、全国の流れによって、働き方改革に取り組んでおります。今1番取り組んでいるのは、公務のICT化ということで、成績処理でありますとか、様々なものを全てデータ化しておりますし、保護者と学校についても、今はスマートフォンを使ってお互いやりとりをするというようなICT化を進めて、教職員の負担軽減、また保護者の利便性についても、今深めているところでございます。また、小中一貫教育校につきましても、これも様々な意見がございりますが、私たちとすれば、やはり9年間で子供たちを育てていくっていうことは、ぜひ尾道モデルとして進めていきたいと思っしておりますので、そういったところも、今後皆様方にさらにご理解していただけるように話をしていかなければいけないと思っしております。</p>
<p>住民13</p>	<p>すいません。うちの子が今ちょうど土堂小学校4年生です。ちょっと本人が一言、言いたいことがあるそうなので聞いてください。</p>
<p>児童1</p>	<p>土堂小学校が歴史が120年以上ある学校です。なので、統合はやめてほしいです。何があろうと統合だけは絶対やめてほしいです。</p>
<p>児童2</p>	<p>ここに学校を戻してください。学校はつぶさないでください。</p>
<p>住民13</p>	<p>すいません、ありがとうございます。私、ちょっと質問があるんですけども、前回の保護者説明会の時に、令和7年から仮校舎に上がるということなんですけれども、今現在仮校舎にいる状況で、それからまた</p>

<p>末國庶務課長</p>	<p>仮校舎に移動するっていうのは、子供たちにとっても先生たちにとっても、とても負担になると思うんですが、なぜ何回も仮校舎に移動しないといけないのか、その辺を詳しく説明していただきたいのと、あと、どなたか、前回、他の保護者の方がおっしゃっていましたが、仮校舎に移動した後、新しい校舎を建築するというので、すぐそばでその工事がされるということなので、その騒音や工事に対して子供たちがかなりの負担を強いられると思うのですが、それがちょうど今の4年生から5年生、6年生と、ちょうど大事な中学生の中3、中2などの時期とかぶるのですが、そういう環境において、子供が安心安全と言えるのでしょうか。その辺を説明していただきたいです。お願いします。</p> <p>まず、工事のことから説明させていただきますと、やはり新しい環境をつくるために、どうしても工事は必要となります。その期間、3年生でありますとか、その期間に重なるということも承知をしております。しかしながら、例えば、長江中学校の校舎であれば、道路を挟んで工事ができる、それから久保中学校の工事にしても、ある程度距離をあけて工事を実施することができるものと考えております。全く騒音がないという状況とすることはできないと思いますが、工夫をしながら、進めていきたいと考えております。それから、仮校舎から仮校舎へということですが、長江中学校の既存校舎へ一度入っていただいてという計画には現在なっています。</p>
<p>住民13</p>	<p>いや、すいません。それは、なぜ仮校舎からまた仮校舎引っ越さないといけないのかという。</p>
<p>末國庶務課長</p>	<p>失礼しました。まず、なぜ、仮校舎から仮校舎へ行かないといけないのかということですが、新しい建物をグラウンドに建設するというのでございまして、現在は、長江中学校に小学生と中学生が同居している状態でございます、その上でさらにグラウンドに工事エリアを設けるといことになりますと、グラウンドの基準面積が確保できないということになります。そのようなことになりますので、統合をして小学校になった場合は、小学校のグラウンドの基準面積を確保することができるため、まず小学校として統合するというのでございます。以上です。</p>
<p>住民13</p>	<p>ありがとうございます。ちょっとすみません。よく分からなかったんですけど、おっしゃっていたように、もちろんその統合に反対ではあるんですけど、このスケジュールというか、内容が全く何か子供のことを考えているような内容でもないですし、もちろん教員の方もそれだけ引っ越しを重ねなければいけないわけで、誰にとっても何かそれは負担としか考えられない内容だなと思っています。その新校舎建ててからでいいじゃないかと、私も本当にそこはすごく思っているんですけども、そのスケジュール自体もう一度見直していただきたいです。お願いします。</p>

末國庶務課長	<p>失礼します。先程の説明が不十分であったかとも思うんですが、今のグラウンドであれば、小学校と中学校の活動に支障はないんですけれども、実際に建物の工事を始めた場合、グラウンドの一部が工事のためになくなってしまうということになりますので、その場合は、小学校と中学校の両方が活動できる面積がなくなってしまうということとなります。ですから、一番いいのは、校舎ができてから、ということであるのは、私どももそう思うんですけれども、そういうことには現状ではならないということについて、ご説明させていただいたつもりです。以上です。</p>
住民 1 4	<p>先日長江の方でも、はい、何回も質問するようなんですが。土堂小学校まず耐震して戻すと、そして今の長江小学校と長江中学校は、今、小さい小中一貫の状態になっていますので、今、生徒たちはずいぶん落ち着いてきていますので、小さい小中一貫です、久保小も久保中も、現状で、小さい小中一貫にする。そうすると、みんな落ち着いてくるんじゃないですか。無理矢理 60 何億も費用かけて新しい建物を建てなくても。あと校舎が古いから、耐震はしたけれども、修理はできないというふうに、今後使う年数が少ないと言われましたけれども、先程から何回も皆さん言っておられるのに、尾道全体の少子化が始まっておりますので、これは急激な少子化です。それから今、こういうふうな状態になっているのが全て、外部に、尾道では子育てがしにくいというアナウンスとなっております。どんどん少子化が進みます。ですから早く落ち着けないと。まず、土堂小学校はこちらへ戻した、耐震化をして。後の所、久保中、久保小が小さい小中一貫校、長江小、長江中も。これですごく落ち着いてくるんじゃないでしょうか。</p>
小柳学校教育部長	<p>はい。そういった考え方もあるのではないかと思いますけれども、現在の状況からいたしますと、長江小中学校、例えば久保小中学校をそのままにしておくということになりますと、ずっと仮校舎にいるのか、ということにもなりますし、また、1 学級 20 人いかない規模の学校になってまいります。また・・・</p>
住民 1 4	<p>言っておられましたように、マンモスが良いとは限らないですよ。やはり目が行き届くがなくなるという心配があります。特に小学生の方はそのピークがありますので。</p>
小柳学校教育部長	<p>はい。おっしゃることも分からないでもないですけども、それは学級規模の問題ではないように思います。</p>
住民 1 4	<p>そうです。そうするともう、どうせ 10 年もしないうちに、新しい校舎を建てたとしても、少子化で成り立っていかなくなる学校です。その時には尾道全体の、また、何て言うんですかね、区画の、学校の、区の編成をしたりとかいうふうな問題が出てきます。それまでは、結構いいプレハブなどで、それでいいんじゃないですか。普通のプレハブじゃなくて、すごく丈夫なすてきなプレハブなので。</p>

小柳学校教育部長	<p>はい。今のご意見もあると思いますけれども、私たちも、各小学校の保護者の方、地域の方も回らせていただきました。特に久保小や長江小、久保中、長江中の保護者におきましては、私たちの統合案について一刻も早く進めてほしいというご意見もたくさんいただいております。また、保護者の中からは、今の仮校舎の状況が、不便な状況であると、小中学校で譲り合って、様々な教育活動を行っているのは一見よく見えるけれども、いろんなことを強いられているんだというようなこともお聞かせいただいて、やはり小学校と中学校が別敷地のところで教育活動を充実させてほしいという、切実な声もいただいております。そういった中で、やはり私たちは、今考えている学校再編案を進めていくことが、子供たちにとってよりよい教育環境を充実させることではないかということで、説明をさせていただいております。</p>
住民14	<p>先日も長江の方で言わせていただきましたけど、長江通りの危険度の厳しさですね。それと、特に夕方の方が北高生の帰宅、それからバスの往来、これが上下両方が動きますので、相当の自動車の数です。朝は片道だけの一方通行になりますけれども、夕方の方は、そこは一方通行ではなく、両方の通行になります。それから北高生が自転車で降りてきますし、それはもう危険度は相当高いです。そういうところで、久保の方から、土堂の方から、全部をまとめるというのが、本当にどうなのか、あの地区がどうなのかというのを、これは先日も言わせていただきましたけど、考え直していただく方がいいと思います。</p>
学校教育部長	<p>はい。通学の安全対策につきましては、これは長江の説明会でも申し上げさせていただきましたが、行政が当然やるべきこと、それから、学校の交通安全指導をするべきこともあると思います。また、車を運転するドライバーへの啓発も当然必要であると思いますし、警察の協力もいただかないといけません。また、これまで地域の皆様に、登校指導、登下校指導をしていただいておりますけれども、そういった方々のご協力もいただきながら、子供たちの安全を、どういったことができるのかというのは、今も学校とも話をしておりますし、今後も、学校や地域の様々な関係機関と連携を図って、子供たちの安全な通学、または徒歩通学、またはバスの通学もあるかもしれませんけれども、全ての子供たちが安全に学べるように、やっぱり配慮をしていく、環境を整えていくことはやはり継続して考えていきたいと思っております。</p>
住民15	<p>報道の方から失礼いたします。経済レポートの〇〇と申します。第1回から今日で4回ですか。ずっと拝聴しながら記事を書いているんですが、読者の皆さんがですね、やっぱり120年の歴史の中で、OBの方がたくさんいらっしゃいますし、この土地柄からしてですね、土堂小学校、これからどうなるのかなという関心を持たれる方が多いもので、一生懸命ここで会話していただいておりますね、記事にまとめているんですが。この回を重ねるごとに文脈がですね、ちょっと崩れてくるわけですよ。というのが、住民の方々の主張は一貫しているんですよ。仮設</p>

	<p>から早く当初の説明どおり、ここへ戻してくださいと。書くのに苦労するのがですね、教育委員会の方々の今のスタンスがですね、1回目は、そういうことで一生懸命考えましょうということで、教育長もおっしゃっていたんですが。いつの間にか今度統廃合の方が中心になってきてですね、今日ぐらいろいろと話が、耐震のことの決着とかできるのかなと思って聞いていたんですが、ますます文脈が破綻してくるといような、この危惧の中でですね、さっきどなたかが、教育基本法について質問されたんですが、そのときに教育委員会の皆さんがですね、はっきりとお答えできなかつたように見受けられるんですが、活字で起こしますので、あとそうじゃなかったら困るんで、確認したいんですが、教育基本法について特に13条ですね、質問をした時に、教育委員会の皆さん、誰も答えられなかつたという活字を書いてもいいですか。記事になると、取り返しがききませんのでそこを確認させてください。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>はい。教育基本法第13条、条文を読んでもくださいということでしたので、条文は読めませんというふうにお答えさせていただきました。ただ中身のところでいうと、教育理念のうち伝統や文化を大切にしたい学校教育を行うということについては、そこについては理解をしておりますので、はい。法の理念に基づいて、下位法がある。それに基づいて適正に執行させていただいているという説明をさせていただきました。</p>
<p>住民15</p>	<p>そうですか。そこをちょっと補足して確認したいんですが、今、私も慌てて、資料を出したんですが、この13条には、各学校とですね、家庭および地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに相互の連携および協力に努めるものとする。これが原点であると。こうなっていますよね。質問されたその答えになってないんですが、特に土堂小学校について、学校運営協議会というのがありますよね。コミュニティ・スクールですね。これがやっぱり全国的にも、特に尾道地域では、貴重な協議会になっていると思うんですが、これとの整合性をさっき聞かれた時にお答えになっていないんですが、教育委員会の方はですね。1クラスよりも2クラス、2クラスよりも3クラスの方が人間形成には非常に有意義だというような説明だったと思うんですが、しかし一方では、地域の皆さんと一緒にですね、相互の連携によって、というのが、さっきの13条にもありますし、これが学校運営協議会の骨子であろうと思うんですが、どちらが優劣があるとかいう話ではないんですが、土堂小学校の学校運営協議会の今後のあり方についてはどういうふうにお考えですかね。そこをちょっと教えてください。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>はい。私たちは、やはり学校というのは地域に支えられ地域から学ばしていただいているというスタンスは、これまでも持っていますし、今後も変わることはございません。私たちが言っているのは、学校を統廃合するときに、やはり子供たちの教育環境をどうあるべきかを優先して考えてきたということですから、今まで学校再編をした学校も、今は</p>

	<p>地域としての繋がりを持っていますし、学校運営協議会が設置されている学校もございます。今後についてですけれども、土堂小学校が存続しているという状態の中では、今の土堂小学校単独の学校協議会として成り立って学校の応援団として、皆さんのお力をお借りしていくこととなりますが、もし3小学校統合ということになりますと、これも以前からお話しさせていただいていますけれども、3つの小学校と山波小学校、それから2つの中学校が1つの中学校区となりますので、1つの中学校区で1つの学校運営協議会を作っていきたいというふうにこれまで説明をさせていただいております。</p>
<p>住民15</p>	<p>それは地元の土堂の方は皆さん、それでも了解されているという書きぶりによろしいですか。ここら辺がちょっと記事に書く時にいつも悩むところなんです、納得してないということを書いていくにしても、市の方がどうしてもスタンスが変わってくるので、整合性が取れない、そこら辺がはっきりしないというようなことにとどまっているということですか。ここが大事なところですから。9割以上ですね、反対という書き方は間違いないですね。それで私はそのぐらいで。</p>
<p>住民16</p>	<p>失礼します。教育長さん、お久しぶりです。学校運営協議会の〇〇と言います。学校運営協議会は私どもも随分長くやらさせていただいております。広島県で最初のコミュニティ・スクールで始めました。現在、尾道市では、皆さんご存じだろうと思うんですが、コミュニティ・スクール、学校運営協議会が設置されているのは、この土堂と向東小中、この2ヶ所だけです。国として、文科省としても、コミュニティ・スクールを進めておられます。我々も、少しでも子供たちの教育環境、教育内容が良くなるようにということで、一生懸命やらせていただきます。今、そこにお座りの教育長さん、実は就任されて少し、半年経ってない時かな、報道でいきなり統廃合の問題というのが出た。実は校長室でゆっくり話をしましたよね。お忘れですか。覚えてらっしゃいます。そのときの顔、忘れませんよ。何としても今の子供の教育を何とかより良くしようと、委員の皆さんと一緒に、地域の方を抱き込みながら一生懸命やりましたね。で、今、土堂小学校の運営のことと、今度新しく作られる新統合小中一貫校の教育方針の部分が、前回の教育長さんのお話によると、現在の土堂小学校でやっていることとほとんど変わらないじゃないですか。どこが違うんですか。お答えください。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>今質問をしてくださった方には、本当大変お世話になってありがとうございます。土堂小学校でやっているモジュールですよ、こういったものとか、土堂っ子太鼓とか、誇るべきものが、たくさん土堂小学校教育にはあります。これは新しく、もし統合した小学校ができたとすればですね、どういう形になるかはちょっとまだ明確には言えませんが、ぜひ生かしていきたいし、続けていきたい。ですから土堂小学校教育っていうのは、新しい学校にもしっかりと反映させたい、そういうふうに思っています。</p>

<p>住民16</p>	<p>今、校長を3年間経験されまして、多分そこにお座りの教育委員会の方の中で、一番現場をよくご存じの方だと思います。教育長さんがですね、今度佐藤さんからお変わりになって、就任されたということで、私は明るい日差しが指すのかなと思って、黙ってお聞きさせていただいておりましたが、どうもそうではない。どうも納得できないんですよ。なぜ今、全国的に認められている土堂小学校教育が、ばつで小中一貫校を作らなきゃいけないんですか。その辺が分かりませんね。ましてや、地域住民の方が全員とは言いませんが、かなり多くの方が反対されているんですよ。土堂小学校をなくすな。どうなっとな。お前ら学校運営協議会委員は何しようるんなあと。尻を叩かれましたよ。何人も何人も。私らは私らなりに一生懸命やりました。もちろん、地域住民のこと、みんな協力してくださっています。だから土堂小学校教育ができています。教育長さんそれで1番よくご存じでしょう。それをなくすんですか。新しく小中作ったからって、今の教育がそっくりそのまま移行できるんですか。そんな保証できますか。無理でしょう。地域住民の支えがあったからこそ、地域学校じゃないですか。そうじゃないんですか。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>はい。ご意見ありがとうございます。私も今言うてくださってることっていうのはすごく共感できる部分が多いお話で、ちょっと長くなりますけど、私、校長していた時に多分児童数がですね、300弱いたと思います。300弱のお子さんのうち7割ぐらいが学校選択制を利用して、他の地域から通っておられる、そのように思っています。私、その時は校長としてですね、この土堂小学校の多くの方が期待され、また、支持をしてくださってですね、たくさんの子供たちが集う小学校に来てくれているということで、非常に嬉しくも感じましたし、その期待に応えなきゃいけないということで、先生方とですね頑張っていたと言う思いです。その時と今と、何が違うのかっていうことなんですけども、学校選択制、これがですね、もう以前から土堂小学校にとってはすごくプラスでした。たくさんの子供たちが他の地域から来る事が出来るっていうことで、確か40人枠ぐらいあったと思うんですよ、当時。だからすごくプラスだったんです。けども市内に目をやるとですね、学校選択制のためにその地域のコミュニティーがうまくいかない。もともと少ないお子さんの地域なのに、よその学校に行ってしまう。そういったマイナスな部分があったんです。それは私、校長の時にはよく分かりませんでした。けども、教育長になってですね、そういった皆さんの声も聞かせていただきました。ですので、学校選択制は、私が校長を去った後、1回確か0になった時期がございましたね。</p>
<p>住民16</p>	<p>はい。そうですね。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>それで今は5人になっていると思います。これ、5人というのは、クラスが増えない範囲で5人か10人っていうのが今、市教委が示している人数だと承知しております。このままこのルールでいくとですね、土堂小学校の子供さんはどんどんどんどん減っていくわけじゃないですか。そうすると、私が校長をしていた時の教育の中身っていうの</p>

はなかなか実現が難しくなってくる。それが多分すごく寂しいことで  
すし、辛いことです。それは市教委が決めているからそうなんですけど  
も、決めたのは市教委ですが、市民の多くの声を聞いてそのようなルー  
ルに変更しているわけです。それは議会の皆さんからもそういうご指  
摘をいただいたり、ご意見をいただいたりして、学校選択制のルールっ  
ていうのは変わってきている。そのように私は承知しています。です  
ので、この学校選択制のルールっていうのは、私もまた復活すればです  
ね、土堂小学校の子供たちが増えるんですけど、他のそういったマイナ  
スを受けられている地域の方の声を聞くとですね、なかなか前のよう  
に復活するっていうことは困難ではないかなと思います。そうすると、  
今度は日比崎小学校の学区、これを変更したらどうかっていうご意見  
もいただいています。ですが、これについてもですね、私も一時期、そ  
ういうことができないのかなっていうふうに思っていた時期もあるん  
ですけども、しかし、土堂小学校が、私が校長の時に耐震ができてな  
いから栗原小学校へ転校しなさいっていう話がいきなり出ました。そ  
の誇りある土堂小学校から栗原小学校に転校するっていう案は、とて  
もじゃないけど、皆さん、保護者の皆さん、地域の皆さん、子供たちを  
受け入れることはできないんじゃないか、私はそういう意味では、すご  
く、聞いた時に腹が立ちました。それは前にもお伝えしているし、そ  
ういうお話をしたことがあると思うんです。日比崎小学校を、土堂の  
皆さんからすると、学校を変えればいいじゃないかっていう、そうい  
うお話なんですけど、日比崎小学校の方から見ると、それは私たちが腹  
が立ったように、何を言っとるんかと、そんな簡単なことを言ってもら  
っては困ると、そういうことになると思うんですね。日比崎小学校の皆  
さんも、誇りを持って学校を支えていらっしゃるし、子供たちも日比崎小  
学校に誇りを持って通って勉強している。それやはり安易にですね、学  
校変更するっていうことは、私は適切ではない、そのように思ってい  
ます。それがそういう理由から、土堂小学校の子供たちが今後どうして  
も減っていく、そういうふうな流れになっている。それは、やはり私は、  
それよりも学校再編をして、土堂小学校の教育のいいところを新しい  
学校に生かす方が、苦渋の選択ですけども、望ましいんじゃないかなと  
考えております。

住民16

今、統廃合したために地域の子供がいなくなった、コミュニティが取り  
にくくなったというご意見は今お聞きしましたが、他の、例えば、具  
体的に地域を挙げて言いますと、因島。統廃合していますよね。統廃合  
をしたために、地域に子供がいなくなったと、それこそ地域の方が随分  
腹を立てていらっしゃる方が大勢いると私は聞きました。統廃合が必  
ずしもベターじゃないんですよ。ましてやベストでもないです。そう  
いう今、教育長さんがおっしゃったように、地域から子供がいなくな  
ったり、コミュニティが取れなくなるとおっしゃるなら、統廃合を今す  
でにやっている地域の皆さんの声を聞きましたか。

宮本教育長

地域の皆さんは、そのようなお気持ちを持っていらっしゃるって  
いうのは、私もよく分かります。ただ、私が聞いているのは、そういうマイ

<p>住民16</p>	<p>ナスといますか、そういう声だけではありません。統合して大きな学校になって、友達がたくさんできて楽しい、そういうふうに思っているお子さんもいらっしゃる。そういう声もお聞きしています。</p> <p>もちろん物事というのはですね、プラスの意見も出ればマイナスの意見も出ますよ。当然といえば当然ですよ。だから今、必ずしも統廃合の今の現状を、前の女性の方もおっしゃいましたけれども、現に仮校舎で、長江小が長江中に、久保小が久保中にということで落ち着いているんです。先日も私、ちょっとさせていただきました。別にトラブルなかったです。それぞれ学校訪問し、どんなですか、中学校と一緒に同居してどうですか、別に問題ありません、心配いりません。そうなんです。今の状態にプラスして土堂を移動させる。どうなんでしょうかね。それともう1点、地域コミュニティの立場からしますと、地域で今、土堂小学校に土堂っ子太鼓がありますよね。これ、ものすごい教育のツールの大きい柱ですよ。私、毎年卒業する時に、6年生が、卒業式が終わった後、全員で太鼓を叩きます。全員がですよ。上手い子とか得意な子、好きな子がやっているだけじゃないんですよ。嫌いな子でも、みんなが一生懸命1つの曲を完成して、喜んで卒業するんですよ。大きな財産持って。これは土堂小学校の土堂っ子太鼓も、元を言えば、この土堂にある、べっちゃん祭り使われているべっちゃん太鼓さんがお手本です。そういう地域の文化をしっかりと入れて、今、土堂教育の中に大きな柱としてなっています。それも伝承が、学校が、あるいは教師が、強制的にやらせているんじゃないです。子供が自主的に継承している。ですから楽譜もありません。脈々とそういう子供たちがやっているんですよ。教育長さん、よくご存知と思うんですが、太鼓部も自分たちで作ってやっています。他の方は太鼓部を見られたことがありますか。土堂っ子太鼓の太鼓部。その中でどういう事をやっていると思いますか。自分たちが自主的に道具は大切にする。学校教育の中であることがいっぱい入っています。子供たちは、周りの石段はもちろんのこと、周りの道も掃除するんですよ。今は上に上がっちゃいましたから。子供たちが普段、ここで登校の時に掃除したりとかいうことが少なくなりましたけれども、地域に太鼓で迷惑をかけているから、校区外の道路まで掃除するんですよ。自主的に。そんな学校ありますか。そういう子供たちが脈々と後輩に継いで、伝統を残していつているんですよ。この学校を潰すんですか。以前にもちょっと申し上げましたけれども、学校が教育研究会をされます。全国からいろんな教育関係者が来られます。その先生方、一様に絶賛されるんですよ。そんな素晴らしい学校が尾道にあるんです。その学校をなくすんですか、と聞かれたんです。私は答えようがありません。たまたま主催者側でしたので、ちょっとここへリボンをつけておりましたから、学校の関係者だと思われたんでしょう。何人かの先生に言われましたよ。私はよう答えませんでした。それは教育委員会に聞いてくれや。わしは分からんけん。それしか答えられませんよ。そんなことをやってしまったら尾道の恥ですよ。日本全国に。終わります。</p>
-------------	---

住民17	<p>先程、そちらの教育委員会の、末國さんですかね。末國さんがお答えした開示請求するということと言われていましたが、月曜日ですかね、取りに行かせていただきます。よろしくお願ひします。それで、その前に、議員の方に、議員室ですかね、市役所を教育委員会の方が、見積もりじゃないですけど、額を示して回られたっていうのは本当ですか。それは日常よくやられていることなんですか。議員さんを回ったりですとか、そういう説得をして回るっていうのは、普段からやられているんですか。議会以外でそういったことを事前にされるのは、日常化されているんですか。お答えください。</p>
川鰭教育総務部長	<p>はい。我々教育委員会のみならずですね。市の施策、教育委員会の施策に対してですね、様々なご意見をいただいたり、また我々ですね、そういった施策に対してご理解を得るために説明したりとかですね、ご質問をいただいて回答に向かったりということは、当然ございます。</p>
住民17	<p>もしその開示が、先日の額と違ったり、示せない場合は、またもう一度訂正して回っていただけるということで、よろしいですか。</p>
川鰭教育総務部長	<p>そういうことはいたしません。</p>
住民17	<p>いや、それおかしいでしょう。同じように訂正してもらわないといけないですよ。メディアにもそうですし。それは歪曲した情報が伝わっていくってということになりますよね。いやもう間違いないって言われているんで、先程も開示する内容に自信があるんだと思われるんで、それはさすがにそのままを、もう一度、違う場合は議員さんを回っていただきたいですし、紙を配るのかどのようにされるのか分からないですけど、メディア側にもちゃんと訂正していただきたいと思います。</p>
川鰭教育総務部長	<p>違うという前提でお話をいただいて・・・</p>
住民17	<p>そんななわけじゃないですけど、違った場合っていうことです。</p>
川鰭教育総務部長	<p>我々としては、先程申し上げた通り、我々の積算方法に従って数字を出しておりますので、間違っていると、違うとかいうことを前提の話には、ちょっとお答え・・・</p>
住民17	<p>ちょっと事例と言われていましたが、先程、事例とか実績とか言われいましたが、それは何なんですか。大まかでいいです。どこの話ですか。</p>
川鰭教育総務部長	<p>これまでのですね、様々なそういった大規模改修とか、耐震化とか、こういったところの中から、それを他の学校もやっていますから、そういうことをそれに合わせて、そこへ今の試算方法を使って出したとい</p>

住民 1 7	<p>うこととございます。</p> <p>ありがとうございます。それが先程僕も質問しましたけど、簡単にインターネットで検索できる、校舎 2 件、体育館 2 件がこの情報なんですね。そんなに無理に全部とは言いませんけど、たまたまキーワードを入れて検索したら、これがファイルになっていて、この時点で平成かも分からないですけど、このぐらいの試算だっていうのを載せているんですね。間違いのない情報なんですけど。それはもちろん見られていますよね。それも含めてということですよ。</p>
川 齋 教 育 総 務 部 長	<p>先程言われていたのは、耐震化の費用のことを言われてたと思うんですけども、我々が説明しているのは耐震化だけではなくてですね、コンクリート劣化、合わせて、様々な配管とか、トイレとか、老朽化が進んでいると、そういうことも合わせてやらないと、この学校というかですね、耐震化だけで、それでは子供が学ぶ場にふさわしい学校になるのかと、そういうところも含めて考えております。で、コンクリート劣化というのは、まさに耐震化と同様にですね、子供たちの安全、こういったものに直接的に影響するものですから、そういった部分についてはきちっとさせてやらなきゃいけない、そういうことを説明したということで、これが合わせて 2 2 億円になりますよということをご説明をしたんであって、先程のご紹介の部分は、耐震化費用という部分に特化しているのではないかなというふうに思っております。</p>
住民 1 7	<p>恐らくこの掲載されているのは、その耐震コンクリート補強するっていうのも込みの金額だと思いますけど、確かなことは分からないのでまた調べてみます。コンクリートは、その時代のコンクリート強度っていうのも、どなたか、たくさん言われていましたよね。強度があるっていうことは数値的にも問題ないということは何度も言われていますよね。なので、そこまでお金はかからないんだと思います。先程の静岡県 1 億 5 0 0 0 万円、6 ヶ月でできています。半年あればできるんで、上がっている間に十分スピードを持ってできたと思うんです。けど、残念です。今からでも間に合うと思います。ぜひよろしく願いいたします。あと、子供が減っている、人数が減っているという話ですけど、もうこれは目に見えて少子化なんで、全体的なことなんで、学校選択制によってその地域コミュニティが衰退しているというのは、確かにそういった意見は、宮本教育長にあったのかも知れないですけど、それを何か全体的なことのようになんか今さっきは言われていましたけど、そんなことはないと思うんですね。一部の方は言われるかもしれないですけど。もう一度その辺はちゃんとアンケートをとっていただきたいと思うんですけど。私も生まれは、木ノ庄で、美木原小学校の合併のこととかもう聞きましたけど、そんなに地域コミュニティの衰退のことは言われる方も多少おられると思いますけど、話した感じではそんな感じではないですね。違うと思います。学校が選択できた方がありがたいという方がほとんどですね。いろんなお仕事のこともあるでしょうし。もう日本全体、生徒数下がって、いなくなるってことは分かっているんで、そ</p>

	<p>うなった時に動いても遅いんで、今これを機に少人数で対応できるような教育現場を作っていくべきだと思うんですね。それで、複式学級を悪者にするんじゃないで、イエナプラン教育、オランダ教育のイエナプラン教育は複式と言われてはいますが、複式じゃなくてもできるのかもしれないですけど。大まかに言うと複式と言われてはいますが、そういったものを勉強されて、取り入れて、少人数でも35人と言われてはいますが、35人いなくても立派な教育はできると思いますので、そんなに人数にこだわる必要はないと思います。神石高原町にイエナプランの専門家が来られた時に行かせていただいて、広島県全体の校長先生ですとか、教頭先生ですとか、各先生方もおられて一緒に学びましたけど、広島県として進められていることだと思うので、そういった教育を取り入れて、少人数でも教育はできると思いますので。学校も残して、僕は3校とも耐震で可能だと思います。新築するより安くできると思いますし、もともと伝統がある場所で、ちゃんと土砂災害ですとか、そういったことの対策をして、安心できる場を今すぐ取り戻して、子供たちをそちらに通わせていただきたいと思います。よろしくお願いたします。その件についてお願いします。</p>
<p>末國庶務課長</p>	<p>コンクリートのことですが、コンクリートの状態が大丈夫だというお話がございましたけれども、これまで、保護者の方にお示しをしたりしておりますけど、コンクリート強度ということで、校舎の中に問題のある箇所があるということは、ご説明をいたしました。</p>
<p>住民18</p>	<p>議員説明会が18日にあるというふうな案内が今日来ました。それはそれで、いろんなことをお聞きしたいと思いますが、今日行われたような地域説明会はこれで終わりというわけじゃないでしょうね。そこをちょっとお伺いしておきます。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>はい。地域説明会についてでございますけれども、今、保護者、地域の方を回らせていただいておりますので、今日が土堂小学校が最後ということですが、いったんこのところでいろいろまた考えさせていただくということになると思いますので、今のところ今後の予定については考えておりません。</p>
<p>住民18</p>	<p>今後の予定は考えてないということは、どうしても9月に設計予算書を出そうということですか。なぜ9月にこだわるんですか。12月もあるじゃないですか。どうしてもやらなきゃいけない理由を他にちょっと言ってください。9月にやらなきゃならない理由があるんだしたらみんなの前で言ってください、それを。おかしいじゃないですか。9月9月言って。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>まだ何も決まっておられません。ですので、こうやってご意見を聞いて、まだどこかのタイミングで判断をさせていただくということでございます。</p>

住民18	<p>どこかの判断と言いながらも、この会を持たないという事を、今、教育部長が言われたんですけども、それはちょっと話が違うじゃないですか。どっちが正しいんですか。教育長が言われるのが正しいですか。</p>
宮本教育長	<p>いや特に何も、今、学校教育部長がお話したことと、私がお話したことの違いはないと思いますが。</p>
住民18	<p>要は、地域説明会もこれで一応終わりだというふうに言ったのは違うわけですね。</p>
宮本教育長	<p>一旦ここで考えさせていただいて、今後の地域説明会の実施についてはまだ未定ですと。そういうことです。</p>
住民18	<p>未定ということはいらんじゃないんですか。続けていこうと。今、設計費22億円の、耐震化の設計書を出すというところまで行ったわけですから、それによってまた議論したいと言われる方も多いと思いますよ。それはもうどうしてもやらなきゃいけないと思いますよ。あなた方も多分それで、我々の判断で、もう終わりました、決まりましたって終わると思いますけれども、そういう事をやめていただきたいと。徹底して、皆さんを納得させるという意味におきまして、積極的にやりますと言ってもいいんじゃないですか。</p>
宮本教育長	<p>一旦ここでですね、説明会が終わりますので、このタイミングで、皆さんからいただいたご意見をしっかりと検討させていただいて、何らかの判断をどこかのタイミングでするということで、繰り返しになりますけれども、今後の説明会については、まだ未定でございます。</p>
住民18	<p>これが皆さん、教育委員会の手法でございます。そういうふうに言いながら、結果として、もう教育委員会主導でどンドンどンドン進めていこうということなんです。例えば64億、あなた方は、この64億というお金が尾道市にとってどれだけの価値があるものか、そういうお金がポンと出せるだろうと尾道市は裕福だと思っているんですか。簡単に64億だ、22億だといいますが。どういう考えでそんな金額が出てくるんですか。8日に聞きましたように、私が尾道の今の負債はどのくらいあるか。答えられなかった。合併特例債を含めた負債はどのくらいあるか。収支比率がどのくらいなのか。そういうふうなことを見ていかないと、今の尾道の体力、見えないですよ。見えないままに、あなた方、新たな金額だけで遊んでいる感じじゃないですか。64億円を聞けば分からない、見せられない。60億、何ですかそれは。久保小学校を建てるとか18億円だったですよ。それがいつの間にか60億になって、どンドンどンドン数字だけが踊っているという感じです。皆さんの税金ですよ。血税ですよ。誰がそれを返していくんですか。これから尾道で生きていく若い人たちが返していく。そういう町へ住みたがりますか。今、尾道の負債はどのくらいありますか。分かったらお答えください。</p>

末國庶務課長	失礼いたします。現在の起債残高は、令和3年度末時点で750億円程度だと認識しております。
住民18	<p>今みなさん聞きましたね。750億。尾道の年間予算は590億ですよ。もう超えていますよ。それに、返さなくてもよい借金と言われている合併特例債、これ480億、残っている40億だけです。これはもう決まっています。それはもう返さなくていいと言いながら、交付金で天引きされるわけですから。それも全て借金ですよ。税金ですよこれは。負債ですよ。合わせたらいくらになりますか。1250億円。まだまだそれだけじゃないですよ。いっぱいあります。それと財政収支比率。これはご存じですか。財政収支比率。いくら入ってきていくら出ていくかという比率ですよ。もういいですよ。これは尾道市は今95%です。健全な数字というのは70%です。尾道はもう出していくお金がないんですよ。そういう中でね、こんな64億とかがもう1人歩きしている。それだけで終わるかどうかも分からない。こういう状況があるのに。もうこの説明会は、今後は未定です、白紙です。もうちょっと皆さんに対して、真摯な姿勢を見せてやりますと、いくくらいは言えないんでしょうか。</p>
小柳学校教育部長	<p>繰り返しになりますが、現在のところは教育長も申した通り未定でございます。</p> <p>(「数字は月曜日に出すんでしょう。どこでやるの。もう一度やりとりをやらざるを得んでしょう。」等の声あり。)</p>
住民19	<p>すいません。今に関連してちょっとお伺いしたいことが1点と、それから22億の積算根拠、開示されるというふうにおっしゃってらっしゃるんですけど、ここにいらっしゃる皆さん、みんな関心を持っていらっしゃると思うんです。だから誰かについていうことじゃなくて、できれば、市のホームページでちゃんとそのデータを公開していただきたいというふうに思います。それからもう1点、これはあまりにもちょっとひどいなと思っていますのでお聞きしたいんですけど、前回の資料で、土堂小学校を存続したときの費用比較っていうのをされています。統合小学校と統合中学校は、3小統合の場合とそれから2中統合の場合で64億円、これは今まで言われていた。それに対して土堂小学校を加えたときの、2小を1小にする場合の数字が、平気で3校を統合した小学校と同じ31億円という数字がここに挙げられております。だからその横の土堂小学校の22億円も、実はこんなに要るわけじゃなくて、面積的に言えばこの2校ですよ、もう1学級という小規模校として整理する。児童数の推計からすれば、2校であれば、どちらとも小規模校で十分やっていけるという数字になります。それが、この統合小学校も1学年複数学級という31億円。土堂小学校も3棟全部含めて、耐震耐震補強もしますし、長寿命化もしますし、大規模改修もしますと、そうしたらこうなりますと、こんなばかな話はないんじゃないかと</p>

	<p>思うんですね。それぞれが、規模が縮小して、それでどうだろうかという比較が本来されるべきじゃなかったかと。だからこういう比較するから、土堂小学校の22億円というのはポンと出てくる。こんなにかかるのならやめてしまえという話が出てくるけど、そうじゃない。実際この2つとも、もっと小さく、金額は下がってくるはずなんです。そこを平気でこういう形で数字を上げられているっていうのが、まず1点信じられなかった。もう1点は、土堂小学校、全部合わせると耐震補強、長寿命化、それから大規模改修、全部合わせると平米80万という数字になると。先程もありましたけど。それで、統合小学校の場合は新築で平米63万です。だったら土堂小学校を新築してもらう方が、はるかに安くできるじゃないですか。そういったことを考えながら、ここの数字の比較をされるのであればまだ分かりますが、全然何も考えずにポンポンとこの数字を挙げてらっしゃる。これどういうことなんでしょうか。</p>
<p>末國庶務課長</p>	<p>はい。失礼します。まず、校舎の方ですね。土堂小学校が抜けているにも関わらず、事業費が下がらないというご指摘についてなんですけど、これにつきましては、まず、新しく整備する学校の校舎についてもですね、今後も核となる施設として使用していくということが1つでございます。</p>
<p>住民19</p>	<p>ちょっと考えてみてください。実際に土堂小学校と、統合小学校が2校できたら、それで同じ規模の4000幾らの、1学年複数学級を新築したら、校舎は半分余るじゃないですか。初めから空き教室だらけの教室を作って、それで86億円ですよっておっしゃっているんですか。いや統合小学校は、あくまで3小統合するから1学年2学級以上できるんでしょ。それが土堂小学校が入って3小を2校に統合するという話の時は、児童推計から考えれば、それぞれ2校は、1学年1学級の小規模校として存在できるという、そういう話じゃないんですか。統合小学校だったら、半分の教室全部がらになりますよ。平気で出されるんですか。22億っていうのも、インターネットでもう一度しっかり開示していただきたいですし、この比較表についても、もう一度みなさんでちゃんと検討されてですね、もう一回、ぜひ説明会で、説明していただきたいと思います。よろしくをお願いします。</p>
<p>末國庶務課長</p>	<p>まず、学校の規模についてですが、統合初年度は、3小を統合した時と比べても、2つの教室しか差は生じないため、規模自体は変わらないということでございます。</p>
<p>住民19</p>	<p>2クラスはいいんですけど、1クラスじゃないですか。土堂小学校を存続させたら。もう1校も。2クラスにならないでしょう。3小を統合して初めて2クラスという形で成立しますよと言ってらっしゃる。だから土堂小学校を存続させる場合だったら、その児童数は2つに分かれるはずですよ。そうしたら、この統合小と言われている方も、当然1学年1学級になるし、それから土堂小学校も1学年1学級という規</p>

	<p>模で成立するようなお話だろうと思うんです。それを、土堂小学校も、今ある3棟を全部整備しますよ、それで統合小学校も3小を統合したのと同じ規模の小学校が、土堂小学校ができた場合も同じ規模の小学校ができます。そして31億円かかります。これどう考えてもおかしいと思いません。これは、そうしたら、やっぱり、この土堂小学校22億、なんだこれ、っていう話になっちゃいますよ、実際は、土堂小学校、今の延べ床面積が2605平米ぐらいだと思いますけど、それ全部は要らないわけです。それで、先程の方もちょっと言われていたけど。東棟を中心に、耐震化、大規模改修をすれば、ちゃんと1学年1学級を、そこでできるんじゃないかというようなお話もあったと思います。これを平気でやっぱり出されるということは、どう考えても信じられないんですけど。今グズグズ言われるよりも、もう1回、ちゃんと地域説明会で、検討した上でのお話をさせていただいた方が、皆さん納得されると思いますし、もう10時を過ぎているんですから。</p>
末國庶務課長	<p>すいません。先程ご説明した通り、統合小学校は2クラスになっていく見込みでございます。学校選択制が引き続き残っておりますので、学校選択制を含めて考えた場合、2クラスになるということでございます。</p>
住民19	<p>今のお話、全然みんな納得してないと思いますが、ちゃんと、どれぐらいの規模の小学校になるのか、2校にした場合ですね、だから幾らですよというふうに言っていたく。土堂小学校についても、3棟じゃなくて、東棟を中心にこれだけの面積があれば、1学年1学級の小規模校としてやりますよと、いう話で、3小統合と比較していただきたいなと思いますが。</p>
末國庶務課長	<p>すいません、土堂小学校の校舎、片方だけで、北を除いて、東棟だけで運営できるんじゃないかというご指摘でございますが、私どもは、東棟だけで運営できるというようには考えておりません。教室だけではございません。トイレもございますので。</p>
住民19	<p>それも含めて私言っています。北棟のトイレ棟と階段は必要です。要りますよ。だけど、北の南棟については、これ全部壊したって、もちろん特別警戒区域に入っていますから、壊しちゃっていいだろう。北棟についても、特別警戒区域に入っているところは、もう一部解体してしまっって、階段とトイレ部分を残せば成立するんじゃないかなと思うんですが。そういうことを考えられていないですか。これを実際検討された時に。</p>
宮本教育長	<p>今この場所ですとね、耐震化するという話でいろいろとご意見をいただいておりますけれども、教育委員会としては、やはり土砂災害のリスク、また、子供さんがどんどん減ってきて、適正な規模の学校になっていかない、そうするとやっぱり、土堂小教育も成り立たなくなる。そういったこともろもろ考えて、ここを残したいという皆さんの思</p>

	<p>いはよく分かります。土堂小学校教育がずっと残ればいいなっていうのは思うわけですが、現実にはなかなかそうはいかない部分が多いので、残念ながらやっぱりですね、新しい、より安全な場所で、ある程度規模のある、そういった教育環境を作っていくのが、断腸の思いですが、望ましいと思っておりますので、ここへ耐震化するというのは今のところ考えてないということです。</p>
<p>住民 1 9</p>	<p>今私が言っているのはそういうことじゃなくて、土堂小学校を入れて、結局、統合小学校と今度、土堂小学校を含めた、3小2中の併せた場合の費用比較っていうのをここで出されていますね。その数字がおかしいんじゃないですかって言っているんですね。当たり前と比較していただいて、だからこうなんですよと。それで今教育長がおっしゃるように、やっぱりどうしてもここは難しいんだと言われればいいんですけど、そもそもがこの数字自体、さっきの22億の根拠もそうですし、ここで比較表を作ってらっしゃる方の比較の数字ってのがおかしいんじゃないですかって言っているんです。</p>
<p>末國庶務課長</p>	<p>すみません。時間をいただいてありがとうございます。先程の児童数の件ですけど、少し分かりにくかったと思うんですけど、普通教室の数が、3小統合の場合12、もし2校を統合したということになりますと10教室ということになりまして、2教室の差が生じます。ただ、その部分につきましては、建物の階層が変わる訳ではございませんでして、建物の規模自体は変わらないという説明になります。</p>
<p>住民 1 9</p>	<p>できればちゃんとペーパーでお示しいただいた方が納得できるんですけど。</p>
<p>末國庶務課長</p>	<p>先程ご説明させていただいた通りなんですけど、64億っていう額につきましては、様々な方面から課題であるというようにご指摘いただいておりますが、教室が少なくなっても建物の規模自体が変わるわけではございません。</p>
<p>住民 1 9</p>	<p>それじゃあ、私は素人なんで、やはりホームページ上で開示してください。積算根拠を。そうしたら、みんなの目で、いろんな方に見ただけです。そうすれば、ここはもっとうだよ、という意見もあるかも知れない。私1人がもらっても多分分かりませんし、ホームページ上で開示してもらえませんか。その方が私は公平感があると思います。だから、市のホームページで全てを開示して、22億の積算根拠を出してほしいと。だから、全部つまびらかに、ここで何ぼ、合計でなんぼ、この単価はなんぼ、っていうのは全部出してくださいね。</p>
<p>末國庶務課長</p>	<p>申し訳ございません。それについては難しいというお話でございます。ですから、積算ではなくて、試算であるという。</p>
<p>住民 1 9</p>	<p>だから22億と言った以上は、その数字を出した根拠があるはずな</p>

	<p>んです。単価も出るし、人数も出るし、そういうのが全部積み重なって数字があって、教育委員会は発表しているはずなんです。ですから、その中身を全員にどの方でも見れるようにしていただければ、皆さんの目に触れて、その専門家がいて、1人2人じゃなくて、いろんな方が意見を言えるという格好になります。ぜひそうしていただきたいと思いますがどうでしょうか。</p>
末國庶務課長	<p>ただ今のご指摘なんですけど、先程も申しましたように、私どものご説明しているのは、積算ではなく、試算でございます。</p>
住民19	<p>試算だろうがなんだろうが、22億と書いた以上は、その数字の積み上げがあるはずなんです。</p>
末國庶務課長	<p>その試算については、非常にいや大雑把なもの・・・、</p>
住民19	<p>いや、大雑把だったら22億と書けないじゃないですか、あなた。これだけパブリックで、22億って、大雑把な数字だから出しました、それを市として、公共のね、行政としてあるんですか。</p>
末國庶務課長	<p>試算でございますので。</p>
住民19	<p>いやだからそれは、22億試算と書かないといけないでしょう。22億かかるんだと断言しているんじゃないですか。あの文書は。違いますか。</p>
末國庶務課長	<p>私どもは試算であるという・・・、</p>
住民19	<p>いやひとつも見てないよ、22億なんて。</p>
末國庶務課長	<p>それから、64億円についても・・・、</p>
住民19	<p>そりゃいいんですよ、64億は試算だろう、それは当然だよ。でも、堂々と22億って、3年半もかかると言ったらその根拠がないと言えないじゃないですか。堂々と前回のね、7月の時にペーパー出しているんだから。それについてはちゃんとインターネット上に開示したら、皆さんがそれぞれ見ることもできるし、私と一人であそこへもらいに行ったら、ごっつい書類見ても、私ちんぷんかんぷんですからね。しかるべき人が見て、ちゃんと分かるように言ってきて、これじゃ足りないと言ったら、フィードバックが足りないよという話になるじゃないですか。そして、今度それを、また公の場でそれが整合性がとれているかどうかということが分かるじゃないですか。だから、堂々と、試算だろうが何だろうが、22億と言った以上は、その根拠を見せてくださいという話ですから、それを公にインターネットで開示するのは何ら問題がないと私は思いますけど。</p>

末國庶務課長	はい。先程申し上げた試算については、确实性と言うんですかね、積算をしたものではないので、あくまでこれまでの経緯の中から・・・、
住民 1 9	だから、出してもらっても結構なんだけど、22億にどうやって辿り着いたのか、そして3年半もかかるのはなぜなのかということが明らかになって、それに対しての反証の機会は、我々与えていただかないと。当然、今、後ろの方が言われましたように、一般的に考えたら不思議な数字が出ているんですよ。それに対しての、今度はその討論会を開いたっておかしくないじゃないですか。違いますか。これだけの大きな金額を堂々と言っているわけですから、それについて自信持ってやればいいじゃないですか。22億はこれだけの裏打ちがあって出したんだと。3年半もかかるんだって。どうですか。自信があるから市議員の方々にも言って回っているわけでしょ。だからそれをちゃんと裏打ちすればいいじゃないですか。それが間違っていたら間違っていました、ごめんなさいって言って回ればいいじゃないですか。非常に簡単な話じゃないですか。なんでそこで立ち止まって考えなきゃいけないんですか。
末國庶務課長	先程から申し上げております通り、試算でございますので、積算・・・、
住民 1 9	だから、試算でも積算でも、これとこれとこれとこれとを足したら全部で22億になった。でも、これは何ぼで、出た人数がなんぼで、かかった日がなんぼで、単価がなんぼっていう話になるじゃないですか。試算でも必ずそういったものは絶対に出てくるはずなんです。そんなまとめて丸っとこれが2億です、これが1億ですっていう試算はどこにもありませんよ。皆さん、特に行政だったら、ね、入札なんかあったらそんな、物すごく厳しく見るじゃないですか、不備があっちゃいけないと言ってね、試算と積算は違うといっても、少なくとも、公の場で発表する以上、そして議員説明もした以上は、3年半と22億がちゃんと整合性がとれる説明ができるかどうかにかかっているんですよ。
末國庶務課長	それについては、ペーパーでお示しするというところでございますので・・・、
住民 1 9	インターネットでやってください。
末國庶務課長	そちらについては考えてみます。
住民 1 9	え、何ですか。もう1回言ってください。
末國庶務課長	そちらについては考えてみます。
住民 1 9	いや、考える。いや、インターネット。えっ。
末國庶務課長	考えてみます。

住民 1 9	インターネットでしないということですか。
末國庶務課長	はい。
住民 1 9	何ですか。
末國庶務課長	それは、これについては試算だからです。
住民 1 9	いやなぜインターネットで開示できないんですか。私を取りに行っただけでは、ここにおられる方、みんな分からないじゃないですか。それを、別に、堂々と 2 2 億、3 年半と言った以上は、皆さんに知ってもらっても悪くないじゃないですか。言ったんだもん。それは間違えましたって言うんだったら開示しなくていいですよ。もう 1 回開示、積算し直しますと、いったん引っ込めますからあれは間違いでした、忘れてくださいと言えればそれでいいですよ。でも、言ってそれを押し通しているんだったら、インターネットでみんなに見てもらって、それが正しいか、間違っているのか、いやそうだな、納得だなと言ってもらえればいいじゃないですか。何で開示できないんですか。何か特別な秘密資料でもあるんですか。2 2 億と言った以上は、それに対しての数字に対する責任があります。我々だって小さいながら、会社をやっていて、やっぱり予算を達成する、全部数字を積み上げていきます。それを出すということは、やはりそういうもんだと思いますけど。
宮本教育長	インターネットということになりますと、不特定多数の方が閲覧されるということになりますので、誤解や混乱を招いてもいけませんので、紙で出させていただきます。
住民 1 9	紙で渡した場合は、恐らく膨大な資料になると思います。そして、私は全くそういう積算とか試算とかは読めません。でも、この中には読める方もおられます。不特定多数で見られて、何か問題があるんですか。不特定多数で見られて、これは正しいと言ってくれる人もいるんじゃないですか。自信があるなら出してやればいいじゃないですか。要するに、何か隠そうとしているから出せないだけであって、2 2 億とパブリックで、公で、新聞に書かれているんだから、それに対して開示するというのは大事なことです。それは、インターネットで等しくみんなに知らせてもらうということは、平等ですよ。どこにそれをインターネットに開示することをためらう理由があるんでしょうか。
宮本教育長	お気持ちは分かりますけれども、やはり先程の回答と同じようになりますが、不特定多数の方に見ていただくということになると、また誤解や混乱を生じる可能性もありますので、あくまでも紙で提出させていただきます。
住民 1 9	よく分かりませんが、不特定多数が見たら混乱を生じるっていう

	<p>のは、数字が合ってれば混乱は生じないですけど。どうでしょう。自信を持っている数字だったら、誰が見てもそうだねということになりますので、やっぱり3年半と22億は正しかったんだということになって、混乱は一切生じません。当然意見は出るでしょうけど、でもそれを多くの人に積算とか試算ができる形にして見てもらうことによって、いやそれは合っているかもしれないと言ってもらえるじゃないですか。で、次のステップに進めるないかと思います。なぜペーパーにこだわるのか。そんなでかいペーパー配られても読める人たち、誰もいませんよ。それこそちゃんとした方に見てもらって、開示していただければ済む話じゃないですか。</p>
<p>住民20</p>	<p>すいません。なぜこんなにこだわられているかっていうと、金額が新聞に大きくでかでかとしたんです。それを見て、地域の人だけではなくて、市民の皆さんが、こんなに土堂の耐震にお金がかかるんだっただけで必要ないだろうって。そういうふうにもスリッドされたことに本当に責任を感じられていないんですか。そんな中途半端な数字を、あんなに前回の説明会で大きく謳われたわけですから、これを今の説明ではもう全く信用できないじゃないですか。新聞を見て多くの方が、私に、土堂、あんなに耐震化に金がかかるんだっただけでできるわけじゃない、って何人の方が言われたと思われませんか。もっと自分たちが発表する数字、いろんなことに関して責任を持って発表してほしいと思います。よろしくお願ひします。</p>
<p>住民19</p>	<p>ですから、何でも言いますけど。堂々と出せる資料だったら、不特定多数の目を気にされる必要はないじゃないですか。正しい数字ならば、例え試算であっても、3年半と22億というのは、専門家が見ればだいたいの見当がつくはずで。それがあまりにも杜撰な資料あったら、それについて、どうしてこれがこうなっているんだという質問がいろんなところからくるでしょう。それは困ると言われるんだっただけで、それは私もどうしようもないんですけど、でも堂々とあれだけ22億、3年半とペーパーに書いて新聞で発表しているんだっただけで、やらない理由はないと思いますけど。どうでしょう。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>インターネットっていうのは確かに便利なツールでですね、多数の方に一度に見ていただけるっていうことで、便利なものだと思いますけれども、ただ、今回の要望されているものについてはですね。やはり不特定多数の方が見られるっていうことになるとですね、今までの経緯とか、いろんなことをご存じない方も見られることになりまして、やはり不特定多数の方に見ていただくっていうことは、混乱や誤解を生じる可能性があるそのように思います。</p>
<p>住民19</p>	<p>すいません。新聞に出すということは、不特定多数の目に触れて大変な誤解を受けております。ですから、今、教育長が言われている答弁は、実際にエクスキューズにはなりません。やはり不特定多数が見る新聞に堂々と書いているんですから、不特定多数が見るインターネット</p>

	<p>に正しいと思われる数字を出せばいいじゃないですか。それが出せないということは、みんなおかしいだろう、とってどんどん疑問が膨れ上がってきます。それをやはり払拭していくということが今回のプロジェクトの中で、みんなが、ここに来ている方が知りたがっていることなんです。やはり明らかにするものは明らかにしながら、そしてそれが納得いくもんかどうかということでありながら進めていくというのが行政じゃないですか。隠してやれるんだったら、どっかのロシアか中国のように、都合の悪い話は見えないようにしているという格好になりますよ。これはやはり民主主義国家の日本として情報開示がみんなにされ、等しくされるっていうのは当たり前で、22億と出した以上は、それに対しての情報開示は当然だと私は思っております。</p>
宮本教育長	<p>何でもホームページに載せるっていうのは、なかなかやっぱり慎重な判断が要ると思いますので、紙でお渡しするというご理解いただきたいと思います。</p>
住民19	<p>あの、何でもホームページに掲載すると言っても、何でも新聞に書かれるのもおかしい話じゃないですかね。じゃ、何で新聞に発表したんですか。言っていることとやっていることが違うわけですよ。新聞には言いましたけど、データはペーパーで渡しますって。新聞に開示したということは、不特定多数が見てもいいんだということですよ。ですから、インターネットに開示しないっていうこと理由には全くなりません。私、普通に考えたら何か不都合があるのかなとしか思えないんですけどね。どうでしょう。</p>
宮本教育長	<p>不都合はありませんですからペーパーでお渡しします。</p>
住民19	<p>不都合がなければ、新聞で不特定多数に晒したんだから、インターネットで開示すればいいじゃないですか。堂々とやればいいじゃないですか。インターネットというのは、みんな等しく見るわけで、もっと極端に言いますと、その数値を見に行くといったら、すごく限られています。尾道地区と多分説明会に出た関係者しか見に行かないですよ。全国津々浦々の人とか広島県の西条とか庄原の方、そんな方は見に行かないですよ。そうすると、この開示をするということになったときには、ほぼ関係者しか見にきません。ですから新聞と全く同じなんです。ですから、新聞にあれだけ書いた以上は、プレスアップした以上は、当然同じようにインターネット開示っていうのが、私はイコールじゃないかと思えますけど。</p>
宮本教育長	<p>今いろんなインターネットに載せてあるものについて、やはり不特定多数の方がご覧になってですね、やはりいろんな考え方がありますので、様々なトラブルとか混乱が実はあります。ですので、公の市の教育委員会、市のホームページに載せるっていうのは慎重に判断しなければいけないというふうに思っておりますので、紙でお渡しさせてい</p>

<p>住民19</p>	<p>ただきたいと思います。</p>
<p>末國庶務課長</p>	<p>ちなみに、ではその紙のボリュームというのはどのぐらいになるんですか。</p>
<p>住民19</p>	<p>多くて10枚程度になります。</p> <p>多くて10枚程度って、極端な話、我々が、どっかに、皆さんで開示してくださいって、ぐるぐる回したら、どんどんどんどんツイッターでも広がっていきますよ。同じことですよ。例えば、私が10枚を持って、ツイッターで流して、どんどんどんどんリツイートしたら、あっという間にもっともっと広がります。そっちの方がおかしい人がいっぱいやってきますよ。ツイッターっていうのは、変な人もいっぱい入ってくるわけですから。それよりも、ちゃんとホームページで見られた方が、より、何て言うかな、荒れることもなく、ちゃんとした数字をみんなが等しく見られるというふうに思います。ですから、誰かがその10枚をコピーしてツイッターで流すっていうようなことよりも、ちゃんとして流していただいた方が荒れずに済みますし、本当のことは分かりますし、10枚程度で説明がつくかどうかというの分かりませんが、22億と3年半っていうことが説明つくのか、そういうことも踏まえてやっていただきたい。だから極端な話、ペーパーであってもいずれネットで回ります。それよりも、ちゃんとした形でホームページでやってくれた方が、はるかにフェアだと私は思います。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>こちらがペーパーでお渡しする資料ですね、共有されるっていうのは、私たちは止めるものではないわけですがけれども、やはり公のインターネットに載せる情報というのは、よくよく吟味し、混乱や誤解を招かないようなそういったことが求められておりますので、あくまでも紙で渡したいと思います</p>
<p>住民19</p>	<p>ツイッターの方が混乱すると思いますけどね。多分教育長さんなんかはされていると思いますけど。それこそ不特定多数がやってきて、荒れるケースもたくさんありますし、納得いかないとなってくると、もっとそのツイッターが大荒れに荒れる可能性が出てきます。それよりも、やはりちゃんとした教育委員会のホームページで、こうこうこうだと言って堂々と説明したら荒れません。それはホームページに何らかの書き込みがあるかも知れませんが、基本的にここに来た人たちがそれを知っているわけですから、それで止まります。ツイッターとなると、これは本当にそれこそ収集つかないですよ。ですから、そういうことっていうのは、とっても大事なことで、やはりペーパー、ペーパーと言われるのは何か後ろめたいことがあるのかなと思われるんですね。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>後ろめたいことはありません。あくまでも今申し上げているように紙でお渡しさせていただきます。</p>

住民19	<p>水かけ論になっても仕方ないんで。ツイッターで、本当に我々と一緒に戦った同志の宮本さんとは、とても懐かしい思い出の中で話をしながらも残念な気持ちでいっぱいなんですけど、やはり本当の姿を知りたいから、ここにこんなに遅くまで残ってやって来ているんですよ、みんな。なぜこんなことになっているのか、どうしてこういうことになっているのかということを知りたいんです。その件で、こんな数字が出ているっていうんだったらそれを堂々と説明してもらいたかったんです。ですから、どうしても紙しか出せないと言ったら、どうぞマスコミのみなさん、紙しか出せないと言っているという事を書いていただいですね、今度はそのペーパーを新聞社なり、どここのホームページにでも書いていただいて、皆さんに知っていただくというふうにするしかないんじゃないかと思っています。そうしないと、皆さんが、私がペーパーをもらっても読めませんので、それなりの使い道をさせていただくしか手がないと思っています。それよりも等しく見える方がより良いし、マスメディアの関係の方にとっても、ここまで頑なに拒絶されるっていうのは、心象的にすごく悪いんじゃないかと私は思いますけどね。どうでしょう、もう一遍再度お聞きします。</p>
宮本教育長	<p>やはり、市のインターネットに出すっていうのはですね、不特定多数、そしていろんな考えの方がいらっしゃいます。よくよく慎重に掲載をする必要がございますし、インターネットに載せた情報によつてですね、トラブルや混乱が生じているという例もございますので、あくまでも紙で提出させていただきます。</p>
住民19	<p>あくまでも紙なんだけどそれはいずれネットに全部出回ります。そういう理解でもよろしいんですよ。どうでしょう。だから、紙でもらっても、私は誰かに情報開示をお願いして、皆さんに知っていただくという格好になります。その時に、相手は守秘義務を守らなかった、ということはなしにしてもらいたい。やはり開示するという事はそういうことだから、私がどなたに渡しても、それがネット上で広がっても、私は、守秘義務を負わないということは言えますよね。どうでしょう。</p>
宮本教育長	<p>それは、私が何か申し上げるような、そういうものではないと思います。</p>
住民19	<p>分かりました。ではもういただきに参りますんで、では何時ということで。14日の何時に行ったらよろしいですか。時間を決めていただいたら伺います。</p>
末國庶務課長	<p>それでは16時でいかがでしょうか。</p>
住民19	<p>14日の月曜日の16時。市教育委員会を伺えばいいんですよ。庶務課にですね。分かりました。</p>

<p>末國庶務課長</p>	<p>(「市民だったら誰が行ってもいいんですよ。」との声あり。)</p> <p>ですよ。</p> <p>(「ここにいる全員が行っても、コピーを渡していただけますね。」との声あり。)</p> <p>いや、それはだから、開示するという事はそういうことですから。ぜひ来た人間分の部数は用意してください。</p> <p>かしこまりました。</p>
<p>住民 1 9</p>	<p>はい。ですから、お時間がある方はぜひ 1 4 日の 1 6 時ということで、市の教育委員会の庶務課に行ってください、マスコミの方もそのペーパーを受け取っていただいて、検証を開始するという格好でよろしいですよ。よろしいですね。分かりました。ではそういうことで私の方は矛を収めますけど、今後ろの方が言われたような、おかしげな積算方法については、何らまだ回答がありませんけど、それについて何かお答えされることはありますか。それについて、もう 1 遍、説明会を開くとか開かないとかっていうのはないんですか。質問に対してまだ答えておられないと思いますけど。</p>
<p>末國庶務課長</p>	<p>訂正するとしたら工期は 3 年というふうに申し上げておきます。</p>
<p>住民 1 9</p>	<p>それはもう結構ですけど、8 月 1 4 日の 1 6 時に教育委員会の庶務課に、皆さん、お時間のある方はお越しいただいて、そのペーパー見させていただいて、そしてしかるべきところで検証をさせていただくということで、よろしいでしょうか。教育委員会もよろしいですよ。分かりました。そうさせていただきます。ありがとうございます。</p>
<p>住民 2 1</p>	<p>2 2 億もそうなんですけれども、耐震診断の結果ですね、I S が 0 . 1 っていうのも、これも東棟と西棟とで全然違うと思うんですけども、悪い方で全部試算してんじゃないかと思うんですけども、構造耐震診断、計算書も開示していただけないでしょうか。そうしないと、詳しい 2 2 億っていうのは出ないと思うんですよ。千余の会というのがありますし、千余の会には〇〇先生っていう、広大の建築学科の先生もいらっしゃるので、構造の先生に頼んで、結果どうなのか、耐震診断の改修の値段とかも検証していただけると思うのでぜひとも耐震診断の計算書ですね、それも開示していただけないでしょうか。</p>
<p>末國庶務課長</p>	<p>耐震診断の資料についてでございますけれども、量はこちらの方が膨大でございますので。当然、構造診断というのは、数値が一番悪いところで計算することになるんですけど、それを全ての箇所がどうかということになりますと、具体的にはお越しいただいて、資料を確認していただくことになるかと思います。</p>

住民 2 1	伺えばいずれも見せてもらえるということですね。
末國庶務課長	対応させていただきます。
住民 2 1	コピーはもらえないんですか。
末國庶務課長	コピーは、1部10円で、情報公開請求を出していただくこととなりますが、お渡しすることはできます。
住民 2 1	<p>情報公開が必要なんですか。同じことになるよもうやめましょうか。はい。その辺が何か隠ぺい体質なんですよね。デジャヴを見ているような感じなんですけど、何のデジャヴなのかというと、市庁舎の改修の話なんです。あの時も、耐震診断でものすごく悪い数字が出て、耐震改修が100億かかるとかって、あの時も〇〇先生がぶちキレて、こんなにかかるわけじゃないかと。耐震診断をやった設計事務所の人によると、旧庁舎は真ん中にトイレがありましたよね、あそこの壁が耐震要素なのに、その耐震要素を外して計算してくれって言われたんだって言うているんですよ。これ大変な診断偽装じゃないですか。そんなことで議会を通してですね。これを訴えれば数十億円ぐらいの賠償請求になるような案件だと思うんですよ、私は。そういうこともあるんで、しっかりとこの件に関しては、〇〇先生にも頼んで精査していただきたいと思います。千余の会でも、〇〇先生がいらっしゃるので、しっかりと精査していただきたいと思います。以上です。</p>
住民 2 2	<p>一番最初に聞いた質問に答えが返ってきていないんですが。小中一貫校、どこへ何を目的に見に行き、どういう答え得て帰ってきたのか。それから、それが1点ですね。三幸小学校は、地域が了承するまで教育委員会として統合強制しないと約束をされて、もう8年ですかね、9年経っていますよね。土堂小学校は、地域が了承しないのに強行しようとしているのはなぜなんですか。</p>
宮本教育長	最初の叡智学園のお話ですよ。中高一貫校を見に行ったっていう、これについては・・・。
住民 2 2	その後です。
宮本教育長	これについては説明をさせていただいたと・・・。
住民 2 2	その後です。
宮本教育長	見学をして・・・、
住民 2 2	その後です。

宮本教育長	その後ってどういうことなんですか。
住民 2 2	叡智学園の説明の後に、あそこの小中一貫校を見に行きました、こちらの小中一貫校を見に行きましたという回答がありましたよね。
小柳学校教育部長	はい。府中市や呉市を見に行ったということをお話しさせていただきました。私たちは、県内で小中一貫教育校の先進地である、呉市や府中市、呉市は全市内で中学校区ごとの小中一貫教育を行っていますし、府中市では4中学校区のうち2つの中学校区が小中一貫教育校で、2つの中学校区が義務教育学校になっています。ですから、私たちは、目指す新しい尾道モデルとしての小中一貫教育を先進地に学びに行かせていただきました。学んできた結果というのは一番最初の冒頭に申し上げた通りでございます。
住民 2 2	もう一度お願いします。
小柳学校教育部長	はい。小中一貫教育校の一番のメリットは、9年間で子供たちを育てることができる。これは教職員や子供の目線です。ただ、地域の方や保護者の方からは、実際にメリットがなかなか見えてこないということですから、学校の方も、保護者や地域の方に学校に来ていただいて、子供たちの学びの姿を見ていただく中で、小中一貫教育校の良さを理解していただいているということを学んでまいりました。
住民 2 2	そんな大雑把な答えでいいわけですよ。どこそこへ何の勉強をしに行って、こういうことを学んで帰ったというのは、それぞれ別の箇所に行ったのなら別々の学びがあったはずですが。
小柳学校教育部長	はい。具体的に申しますと、呉市においては、安登小学校へ行かせていただきました。安登小学校は安浦中学校区ということで、1中2小の分離型の小中一貫教育校をやっております。ですから、分離型の辛い所、教職員がなかなか集まりにくいということですが、学びの教育内容は、9年間全く同じ内容を中学校区で工夫してやられている、そういったことを勉強し、さらに呉市教委を訪問させていただいて、呉市教委の担当者から呉市が進めている小中一貫教育校の理念でありますとか、これまでの成果についていろいろと教えていただきました。呉市が言っていたのは、やっぱり先程言いました中1ギャップの解消。小学校6年間、中学校3年間で区切るのではなく、中学1年生にスムーズに連携ができて、子供たちの不登校が減少したとか、そういったことをお伺いしてまいりました。府中市におかれましては、府中第一中学校区に行かせてまいりました。ここは1つの中学校に4つの小学校があるんですけれども、これも分離型でここは府中第一中の中学校の方に行かせていただきました。6年間で一貫教育を受けた子供たちが中学校に入ってどのような学びの姿をしているのかということを見させていただきました。やはり学習習慣でありますとか、学習規律そういったもの、授業のスタイルそういったものについては小学校で統一しているた

	<p>め、中学校において非常にいい授業がやりやすい。そういったこともお聞きしておりますし、府中市はコミュニティ・スクールの先進地でございます。4小1中でのコミュニティ・スクールのあり方、今、地域の方にご協力をいただいて、子供たちが生き生きと教育活動をしているんだと、地域の方の協力を得ているというようなこともお伺いさせていただきます。</p>
<p>住民 2 2</p>	<p>先程教育長が、現長江中学校に小中一貫校つくる、地域の方の協力も得ながら。土堂小学校が、一番地域の人たちが協力をしています。それ故に、陰山時代には市内でトップクラスでした。尾道市も全国のトップクラスにいました。それが教育畑出身の市長が15、6、7年ね、役所から出てきた教育長が10年やりました。その結果は下から数えた方が順番になってしまいました。どういうことなんですかね。あなた方が本来勉強しなきゃいけないんですよ。生徒たちに勉強を教える前に、あなた方がしっかり勉強してほしいです。それと一番最初に聞いた三幸小学校の件ですが、未だに統合はされていません。8年、9年ですかね。これは地域の反対があったらしないと教育委員会が返答しています。土堂小学校はこれだけ反対しているのに、強行しようとする理由は何なんですか。三幸小学校と同じで、地域が反対していたら、強行しないようにしてほしいですね。その辺どうなんですか。</p>
<p>川鱈教育総務部長</p>	<p>この件については何度か答弁を差し上げたと思うんですけども。まず事情が違うと。三幸小学校については向島中央小学校の建て替えで、向島中央小学校が非常に劣化していると。そういうことでコンクリート破片が落ちたりとか、そういった差し迫った危険があるという状況の中で、向島中央小学校を急遽というかですね。急ぎで建て替えなきゃいけないという、そもそもの事情がございました。その中で将来的なことを睨んで、建て替えとともにですね、三幸小学校さん、いかがですかというアクションを起こしたという状況でございます。三幸小学校の耐震性はその段階でありますし、子供の数もそれほど減っていないという状況があるという中で起こしたということでございます。土堂の場合は、今のこの状況とは事情が違うというふうに認識しております。</p>
<p>住民 2 3</p>	<p>部長、それは違う。私は全部出席していますから。彼が言った通りで、あなたが言うことは違う。あなた、その時、三幸小学校の説明会、出席していましたか。答えてください。</p>
<p>川鱈教育総務部長</p>	<p>出席はしておりません。</p>
<p>住民 2 3</p>	<p>私はずっと出席しています。そんな嘘をついちゃだめよ。教育長がはっきり言ったんだよ。地域が了承するまで強制はしない。学校の耐震化の話とかは全くありませんでした。なんでそんな嘘をつくのよ。</p>

小柳学校教育部長	<p>はい。そこまで言われるっていうのはありますけれども、私たちが内部の文書等で確認しているのは、地域の方からはご理解をいただいているけれども、保護者の方からご理解をいただけなくて、結局向島中央小学校が新しく校舎移転する段階で、三幸小学校の保護者の賛成が得られなかったということで、三幸小学校は現在のままおられるということになっております。ですから私たちは、保護者の方に後半の方は何回も交換会をさせていただきましたが、最終的に理解を得ることができなかったということで断念した経緯というふうに、私は直接その場にまだ立ち合う立場ではありませんので、立ち会っておりませんが、過去の様々な学校統合の経緯を見ていく中でそういうふうに確認をさせていただいております。</p>
住民 2 3	<p>今のは大筋ではその通り。地域が保護者に任すと言ったのは事実。でも写真は残っているからね、そういう話は全くなかった。で、地域の人に聞いたら、我々は反対だ、その意思是伝えている、という話ですよ。だから、あなた方の言うのがね、自分の都合のいいところだけ。危ないここでも我々に集会をさせるわけでしょう。教育長。なぜこんな所でさせるの。何が来るか分からん怖い所で。今南海トラフが来たらどうするんね。真面目に答えてよ。真面目に。それとも、誰かに言っちゃいかんと言われとるんかね。そうとしか思えんよ。</p>
末國庶務課長	<p>この会場についてでございますけれども、こちらの体育館は耐震化が行われております。地震の場合には、絶対ということはないですが、基本的には安心であるというように捉えております。</p>
住民 2 3	<p>土砂が危ないんでしょ。土砂の方が危ないじゃないですか。何言ってるの。</p>
末國庶務課長	<p>現在警報が出ている訳ではありませんので、その点は安心でございます。</p>
住民 2 3	<p>さっきから、土砂が危険だ危険だと言っているじゃないか。使い分けしちゃだめよ。</p>
住民 2 4	<p>お願いします。教育長にお伺いしたいんですが、今までに決定する事についてまだ何も決まっていないと、それと、皆さんの意見を引き続き聞いて判断し、そしてどこかで決断するというふうにおっしゃってこられました。1 ミリも進んでいないです。そこまでで、その先が知りたいんです。いつ決断されますか。</p>
宮本教育長	<p>盆明けのどこかの段階かで、教育委員会の方向性というんですかね今後の、それを判断していきたいと、そのように思っています。</p>
住民 2 4	<p>それはどこかで知らせていただけるんでしょうか。</p>

宮本教育長	それについては、まだ調整中ですので今の段階でちょっとお答えすることができません。
住民 2 4	どういうことが考えられますか。どのような公表の仕方が考えられますか。何も分からないですか。何も決まってないですか。
宮本教育長	今の段階では何も決まっています。
住民 2 4	ただひたすら待つんですね、私たちは。でも何らかの形では知らされるわけですよね。自分たちだけで決断して、もう行っちゃいますっていうのだと、ちょっと何のために今まで説明会を開いてきたのか、全然分からないんですけれども、これだけやってきたわけですから、それを持ち帰って教育委員会で議論されているわけですよね。だからそのことを 1 ミリも、それこそ 1 つも出てこなかったということを、そこで止まっているんです。どういう議論がされたか、それは内々のことだから言えないって言われればそれまでなんですけど、その決断の中ですらね、選択肢として、例えば、今回のことについてもう一度考えるとか、延期するとか、やめるとか、やっぱりこのまま行くとか、なんかそういういくつかの柱は、何か出てきているんでしょうか。
宮本教育長	まだこの場で皆さんのご意見等をお伺いしている状況ですので、今の段階では、何も決まっていますし、まだ何も方向性についてお伝えできるものはありません。
住民 2 4	まだ決まってないんですか。話し合われているわけでしょう。説明会をやっているわけで、そんな中でこれだけのたくさんの意見が出てきているわけなので、それについて議論されるわけですね。何も言わずに、はい聞いてきました、終わり、次の説明会、ってことはないですよ。なんかやっぱり聞いているわけですよ。ですからそれをもとにこういうことがあったということで議論されるわけでしょう。それが地域の人たちとか周りの人の意見を聞いて真摯にそれに対応するってことなんじゃないんですか。
宮本教育長	もちろんおっしゃる通りです。今まで 6 つの小中学校の保護者説明会でご意見を伺ってまいりましたし、4 つの地域の皆さんのご意見を伺ってまいりましたので、そういったものをしっかりですね、教育委員会の中で議論をして、最終的にどういう方向性でいくのかということは判断していくということになるかと思います。
住民 2 4	議論して判断していくってことまではもう聞いている、って言っているんです。今まで何回も。その先が知りたいんです。言えないって言ったらもうしょうがないんですけど、議論するでしょう。中で。それがねちょっとよく分からない。いつまで議論し、いつまで皆さんの意見を聞いて、判断して、どこかの段階で決断するんですよ。それではねやっぱりちょっとどうなっているのかなご説明会聞いて帰って何して

<p>宮本教育長</p>	<p>るの教育委員会っていう感じなんですよ。だから、今こういうこともちよっといろいろあって、具体的にそんなにはっきり言わないにしても、いろんな、こういう点で議論進めていますよっていうふうになると話し合いになるんだけど、一方的に決断します、ある程度きたら判断します、決断します、そこで終わりなんですよ。</p> <p>この学校再編案についてはですね、賛否両論、いろいろなご意見がありますし、また通学の心配でありますとかですね、教育内容についてのご意見とか、様々な角度からご意見をいただいておりますので、それを整理して、方向性を決めていくということになろうかと思えます。</p>
<p>住民 2 4</p>	<p>だから、そういう、いろいろな意見が、通学の問題とか、こういう問題が出たので、今こういうことについて議論しているんですよって言うってもらえれば、そういうふうに進んでるんかと思って、そこへ何かこう、行き来ができるんだけど、一方的にここまで来て、判断して、決断しますって、それを聞かなかった私たちも悪いですけども、そこで終わっているから、先程どうなっていると、ある日突然決断されるわけっていう感じなんですよ。やっぱりこれだけ反対している者もいるわけなので、まだやっぱり延期した方がいいのかなっていう意見も出ましたとかね、言うてもらえば、何かちょっとそこに気持ちも聞くあるかなと思うけども、全然遮断されて、そこでもう決断します、判断します、って、それだけで終わっちゃっている。そこがとても不信感が更に募って、1ミリもそんな何のための説明会をやっているのかっていう感じなんですよね。私の感覚では。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>今日もお話をしましたけれども、64億円っていうですね、高額な建築費については、もう様々な場所で、様々なご意見をいただいて、これはやはり、皆さんのご意見を踏まえてですね、できるだけこの建築費というのは圧縮をして、64億円から下げる努力をしなければいけないっていう議論を教育委員会の中でしてですね、どうやったらそれが下げられるか、さっき教室の1.5倍のワークスペースの話で、それをなくすのはどうかっていうこともおっしゃってましたし、そういったその教室の広さとか、それからどういったところを削ればですね、お金が減っていくいくのかと。ただし、空調等はやはりこれから今の時代ですから残さなきゃいけませんし、いろんな角度から、そういった、今のは一例ですけど、いろんな議論をしているわけです。</p>
<p>住民 2 4</p>	<p>それは進める方だけの意見ですよ。反対しますって言っている人がこれだけ出ている、あれだけ反対しているんだから、もう1回考えた方がいいんじゃないかなっていうものが、1ミリも出ないですか。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>それは考えておりません。</p>
<p>住民 2 4</p>	<p>それだったら説明会なんかいらないでしょう。</p>

宮本教育長	<p>あくまでもですね、やはりここはいい場所なんですけども、土砂災害の警戒区域に該当して、子供たちの命を守るということから考えるとですね、やっぱりいつ何のリスクがあるか分からない。そういう場所じゃないですか。それからあと、皆さんが小規模校になってもここで存続させたいとおっしゃっている気持ちを考えても、しかし複式学級になっていくような、そういう残念ながら人数だと誇りある土堂教育もなかなか難しくなってくる。そうなるとうやはり、今私たちが考えている再編案、それで土堂小学校の教育を新しい学校にしっかり反映させていく、そういったことが残念ですけども、そういった選択肢をとるのがいいんじゃないだろうかというふうに思っておりますし、議論もしております。</p>
住民 2 4	<p>いやその議論の内容というのは、これから新しい学校を作っていくっていう、そちらの方向の意見だけを吸い上げて、それについての対応を考えているっていうことでいいですか。</p>
宮本教育長	<p>皆さんから耐震化した時ほどのぐらい費用がかかるのかとかですね、いろいろこれまでもご意見をいただいて、それについては説明会でお話をさせていただいたりとかですね、皆さんの意見を踏まえながらできる範囲で対応させていただいております。ただ教育委員会としましてはですね、やはり子供たちの命を守る、切磋琢磨できる適正な規模の教育環境、これを整えていくのが望ましいのではないかっていう、やっぱりその議論に行き着くわけです、それを皆さんに分かっていただけないかなということでご提案し、質問に対してお答えを繰り返している。そういう状況だと思います。</p>
住民 2 4	<p>はい。全くみんな分かっていないと思います。教育委員会の方は、子供のことを考えて、子供のことを考えて、とおっしゃいますけど、私たちほど子供のことを考えてはいないと思います。詭弁です。それはだから、これだけお願いをしたり、土堂を残すための意見を、これだけお願いします、お願いになるんですかね、考えていただきたいと言っているにもかかわらず、それをも反故にして、学校を造っていく方向での議論しかしていないっていうことがよく分かりました。そういうことだそうですね。はい。もうその点については、もう次の説明会っていうこともないってことですか。教育長も未定とおっしゃいましたけれども、その前に部長はこれが最後ですとおっしゃいましたよね。教育長は未定ですとおっしゃいました。またその次っていうと、今度は、部長は未定ですとおっしゃいます。言葉を適当に使わないこと、部長さん、お願いしますよ。その点については、そういうことでよく分かりました。もうこれ以上私たちの願いを聞くって、ただ聞いただけですね、聞いてそれを考えて、もう少し考える余地はないだろうかっていう意見も何も出なくて、どうやったら、皆さんのおっしゃる子供たちのために新しい学校を作っていく方向にっていうことで、その議論を進めているっていうことですね。分かりました。それがはい。それでも、もう1点、ちょっと教育的なことを伺いたいんですけども、新しい学校について課</p>

	<p>題追及学習をやらせたっていうか、子供主体の学びの変革を叡智学園から指導っていうかそういうことをやっていきたいというふうにおっしゃいましたけれども、これ今の尾道ではやってないんですか。教育委員会の人に聞いているの。</p>
小柳学校教育部長	<p>はい。もちろん学びの変革は、もう広島県の教育政策でありますから、もう9年程度ですね、もう全校をあげて取り組んでおります。</p>
住民24	<p>やっているんですね。では、この後の新しい学校でも、それをさらに継続していくっていう考え方でいいですか。</p>
小柳学校教育部長	<p>今年度が広島県の進める学びの変革の最終年度となっております。学びの変革については、やはり教師が授業改善をして、子供に力をつけていく、それから個別最適な学びと協働的な学びをする中で、子供たちに力をつけていくという方向性ですから、これについては今後も広島県の方向性として引き継がれていくと思いますし、当然私たちも学びのスタイルにしたがって、授業改善を図ってまいります。</p>
住民24	<p>新しい学校を今度統合された時にもそれをさらに続けていくっていうことでいいですか。</p>
宮本教育長	<p>はい。継続してまいります。</p>
住民24	<p>分かりました。それと、今、小中一貫という意味で、意義は小中教員で子供たちのことを共有したいからっていうふうに課長さんおっしゃったと思うんですけども、やってないんですか今。</p>
小柳学校教育部長	<p>はい。私たちが申しているのは、現在行っている小中連携教育、これをさらに充実させていくために、小中一貫教育校へ移行させていきたいということでございます。小中連携教育では、9年間の統一した学び、そういったところまでなかなかできにくい枠組みとなっておりますので、私たちは小中一貫教育校という教育の新たな枠組みをとらせていただいて、9年間で子供たちを見ていく教育内容を創造していく、そういったことを考えております。</p>
住民24	<p>枠を作らないとできないですか。</p>
小柳学校教育部長	<p>はい。これは教育制度ではありませんので、そういった教育的な枠組みということで、全国的に進めていることでございます。</p>
住民24	<p>枠を決めないと子供の事についての小中の先生の共有ができないっていうのはどういうことなんでしょうか。私自身も教育職におりましたので、そんなことは当たり前やってきたんです。そんな枠とかなくて。連絡会をたびたび持ったり、そして子供が何かあったらもうすぐにその先生がそこへ駆けつけたりっていうようなことは、当たり前にし</p>

	<p>てきたんですけど、それを枠組みできちんとやらないと、より良いものができないっていうふうに今伺ってちょっとびっくりしました。いいです。やっていらっしゃるっていうことが分かったんですけども、それは非常にまだまだこれから進めていく小中一貫にして、さらに、進めていくっていうふうに理解しました。先程、部長さんの言葉の問題もありましたけれども、さっき経済レポートの人が教育基本法13条について誰もご存じなかったっていう、答えられなかったっていうふうに言われました。これは今日聞いて、初めて聞いたことではないです。昨日までの間にそういう話が出て、教育基本法13条のことがでているわけですね。それを誰も調べて紙に手で持ってきていないということの教育委員会の体たらく。本当にびっくりします。私に2、3年前に、道徳教育の一般への公開授業が栗原小学校と土堂小学校であったときに、ちょっと参加に行かせていただいたんですけど、この内容にもびっくりしました。あまりにもひどいです。皆さん、これが尾道の教育の最高機関の実態です。以上です。</p>
住民25	<p>はい。やはり、ちょっと関連で。時間過ぎていきますけどちょっとお尋ねしたいと思います。さっきですね、説明会の目的を聞かれていますね。この目的はいろんな人の意見を聞いて、それを吸い上げると。そして民意を確認するということだったんですが、実は、各地区のこの説明会、今またやっておられて、今日多分土堂が最後になると思いますが、過去1、2、3回で、各地区の出席者の数を小学校別に教えてください。答えられますか。すぐに。</p>
三浦学校経営企画課長	<p>はい。第1回目、これは3月末に行いましたけれども、土堂小学校区84名、久保小学校区32名、山波小学校区9名、長江小学校区14名です。6月に行いました第2回説明会ですが、土堂小学校区62、久保小学校区27名、山波小学校区2名、長江小学校区17名です。土堂小学校区のみ第3回を行いましたので、このときが79名。現在8月上旬に行っております、久保小学校区9名、長江小学校区6名、山波小学校区1名でございます。</p>
住民25	<p>はい。ありがとうございました。中にですね、ひと桁、1名とか2名の時があるんですね。さっき、目的として説明された、皆さんの意見を吸収していろいろ聞いて判断をすると。1名や2名、ひと桁台の人の意見を聞いて、それが民意を反映したとしていると考えておられますか。お答えください。問題はボリュームですよ。何人いらっしゃった中で1名か2名なのか。</p>
小柳学校教育部長	<p>これも前段で少し話がありましたけれども、やはり予定があつて来られなかった人とか、様々な事情がおありだと思います。私たちは来られた方から意見を聞かせていただいたり、また地域の声を、アンテナを張って聞かせていただいたり、保護者の方からは意見交換会や説明会を通して、様々な角度からこれまで紹介してきておりますような、ご意見をいただいているというふうに認識しております。</p>

住民 2 5	<p>はい。ありがとうございました。では土堂地区についてはですね、これだけの人がいろいろと思いを語って、意見を述べるために参加をされておられるんですが、今日の最初にですね、この説明会の案内の仕方が悪いと、実際には参加したくとも仕事の都合とか日程が分からないから実際には参加したこともできなかつた。こういう人の意見を吸い上げるのに、この前の議員説明会でも、ある議員さんから、アンケートなんか取ってもう一度皆さんの意見を聞いたらどうかという意見が出ました。それに対して、今日も出ておられるので、はっきり言いますが、小柳部長さんは、アンケートは全く考えておりませんという回答をされたと思いますが、間違いございませんか。</p>
小柳学校教育部長	<p>はい。間違いございません。</p>
住民 2 5	<p>本日もアンケートを実施する予定はないとお答えになりましたが、間違いはございませんか。</p>
小柳学校教育部長	<p>はい。間違いございません。</p>
住民 2 5	<p>ありがとうございます。では、過去、アンケートは全くされていないんですか。保護者、地域含めて。</p>
小柳学校教育部長	<p>はい。新市なって統合した地域では、上川辺地域ではとったのではないかということは聞いてはいますが、平成 2 3 年以降ですね、学校再編計画を出した後っていうのは、そういったアンケートはとっていないものと認識しております。</p>
住民 2 5	<p>ということは、全くほとんどしてないということですね。各地区です、特に土堂地区については、いろんな団体の方がアンケートをつけてご意見を述べたり、反対の提言をしたりしておりますが、全くされないということは、全く検討もしたことはございませんか。</p>
小柳学校教育部長	<p>はい。これは前半の方で申し上げさせていただきましたが、保護者の方に対しては、アンケート調査をしたいということで、意見交換会の方で意見をお伺いさせていただきましたが、やはり、このアンケート項目で保護者の意見が全部吸い上げられるのかとかですね、様々なご意見をいただいた中で、保護者アンケートについて、中止させていただくということをご連絡させていただいております。</p>
住民 2 5	<p>そう言うことになりますと、全く考えていないではなくて、検討したけど、保護者の方については、どうこうという理由をつけて回答しないということの間違いではないのでしょうか。</p>

<p>小柳学校教育部長</p>	<p>保護者の方については検討したけれども、様々で意見を聞く中で中止とさせていただきます。地域の方については現在のところ考えておりません。</p>
<p>住民25</p>	<p>ということは、保護者の方については考えていたわけですね。地域の方については全く今後も考えないのでしょうか。さっきの数少ない人数が、この土堂地区についてはですね、はっきり言って、また土堂か、面倒臭いのうと、要するに憂鬱な1日ではないかなと、私は勝手に思っているんですが。皆さんに思いがあるからこれだけ非常に忙しい中を夜遅くまで思いを語っておられるし、ぜひ土堂小学校を残して欲しいと言う思いが、私は直接の地区のものでありますが、学校関係には関係ないんですけど、もう胸に痛いほどいろいろ伝わるわけですよ。そうしたら、数少ない参加者の地区のことを踏まえて、少ない方がよくて、後の人は全部賛成だという解釈をされておられるんだろうと思いますが、そういう地区と一緒にですね、いろいろ各地区を検討して、教育長さんのように盆過ぎには、総合的に判断をしたいというような新聞記事を出すと、先のご意見がありましたように、どうすればいいんだろうと、勝手にまたスケジュールどおりか、というふうに思われても仕方がないと思うんですが、その辺はいかがでしょうか。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>はい。私たちはある一定の目標の日程というのをやはり定めながら、説明会をさせていただいたり、こういう場をお借りしてですね、ご意見をお伺いするということをしていただいています。ですから、これはもう説明会の当初、最初に来させていただいたのは3月で、ちょっと遅かったというような意見もかなりいただきましたが、そのときから一貫して、やはりある段階では教育委員会としての判断を出していきたいというのは言わせていただいておりますので、こういった皆様方の熱い思いも聞かせていただいております。そういったことも踏まえて、教育委員会としては判断をさせていただきたいと思っております。</p>
<p>住民25</p>	<p>ということになりますと、今日10日ですよ。明日休みで、土日挟んでもう盆ですから、盆過ぎにということになる必然的にこれでおしまいにするのではないかとというふうに疑われても仕方がないと思うんですが。今日いろいろ宿題も出ました。疑惑も出ました。これに対して、いろいろまたご意見があらうと思えますんで、次を検討するという余地は全くありませんか。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>今日も様々のご指摘等もいただきましたが、回答できる範囲で回答させていただきました。また、14日の月曜日の16時には資料をご用意させていただきますので、それを見て、またご意見いただければと思っております。ですから、現在のところ、今後のですね、こういった土堂の地域における説明会、他の地域も含めて、現在のところは説明会については未定ということでございます。</p>

住民 2 5	<p>ありがとうございます。未定ということは、もう 1 回の可能性はあるというふうに理解してよろしいんでしょうね。ということは、当然 14 日に書類を配っても、その検討が皆さんにあるわけですよ、時間が。当然それについて、もしこれはおかしいということになれば説明する義務はございませんか。</p>
小柳学校教育部長	<p>はい。また 14 日に書類をお渡しして、それは見ていただいて、それぞれの感想等お持ちになると思いますので、それは教育委員会の方にぶつけていただければと思います。</p>
住民 2 5	<p>その意見を出した後、次の検討をするということで間違いございませんか。</p>
小柳学校教育部長	<p>はい。これにつきましては今ここで、そうしますとかそうしませんというのは言いかねますけれども、この書類とは、やはり別に学校再編のことについては判断していくべきではないかと思います。</p>
住民 2 5	<p>ちょっとよく分からないですね。いろいろと、この 22 億の根拠が正しいとすれば問題ないんですが、そうではないというのは、各自いろんなところで検討されると思うんですね。それだと多少日数かかると思います。受け取ったから、はいこれ問題ないですねと答えられる人は多分いないと思います。そうするとその時間的な余裕がなければ、何とも言えないんですけど、ましてや、先程ありましたが、何か、18日には議員説明会をするという予定は、なかなか立たない中で予定をされているということが分かりましたが、その議員説明会では今回の 22 億の根拠についてどう説明される予定なんですか。</p>
小柳学校教育部長	<p>はい。現在 18 日の議員説明会、議員の方には案内を示させていただきましたが、中身についてはまだこれから検討させていただきます。</p>
住民 2 5	<p>そうですか。はいじゃあ、期待もできるということで、予定ですから分かりませんが、いずれにしても、ここにお集まりの方は、さっき挙手をされた方が大半で、反対する人だけが来ているんだという理解もあるかも知れませんが、この思いをしっかりと受けとめていただいて。やっぱりこの学校をどうやって残すか。ましてや、いろんな多額の税金を使うわけですから。その投資効果っていいですか、生徒数を考えたらですね、今の 30%は減るんです。間違いない。増えるというのはどんなこととしても、岸田首相が異次元のと言いますが、バラマキみたいなものですから。そんなに子供さんが急に増えることはないんで。国立研究所のいろんなデータの基準を見ると、統合学校の中で 30%の生徒さんが減るというふうに私は試算しました。さっきもいろいろご説明がありましたが、具体的な資料はそういうものに基づいて推定すれば、相当教室が余ってくると考えられます。今まで、学校選択制はしません、それから学校の調整や区域変更はしません。しかしこれがしないので、どうやって、その新しく造った学校を 2040年、45年、20年後ぐら</p>

	<p>いにするのか、不思議な世界なんです。これを民間でいいますと、この学校を造ったら大ごとになります。責任問題重大ですよ。先の見通しも予定をせずに、それは当然予定ですから分かりません。もう今の次元で人口がですね、尾道市はどれだけ減るか。計画をしておるのは2040年に11万人を目標とするのは尾道市の目標ですよ。しかしこんなもの絶対できないと思います。だから逆に言うと、今の予定でいっても、新しく造った学校が20年後に維持できるような生徒さんにするためには、旧尾道市内の全部の生徒さんを集めるとかというようなことになるというふうに私は見立てられると思います。そうすると、相当な通学時間とか距離を考えていかないと。逆に言うと、今やっぱり言われましたよね、区域ですか、変更。こういうものを全くしないでその学校が存続できるとは思えないですよ。今これはあくまでも推計ですから、そのとおりになるかならないかですけど、誰が見ても増えるというふうに考えられる人はいないと思います。その点、ぜひ1つ、もう一度、いろんな根拠も含めて検討し直していただいて、皆さんの意見も聞いて、やっぱりいい知恵を出せばですね、必ずいい案が浮かんでくると思いますので、皆さんの意見を参考にして、ただ聞くだけの、ガス抜きにされないように。それと、何回もしましたというアライバイ工作にしない説明会で終わっていただきたいと思い願って、私の質問を終わります。ありがとうございました。</p>
住民26	<p>すみません失礼します。18日の議員説明会は、一般の市民の人も傍聴できるんですか。</p>
小柳学校教育部長	<p>はい。傍聴可能でございます。</p>
住民26	<p>ちょっと時間と場所を教えていただけたらと思うんですけども。</p>
小柳学校教育部長	<p>はい。時間は午後1時、13時から4階の委員会室で行います。</p>
住民26	<p>4階の市庁舎ですか。</p>
小柳学校教育部長	<p>はい。傍聴については、やはり傍聴席に限りがございますので、多くの方が来られた場合には、全員がその部屋の中に入れるとは限りません。これはまた議会事務局とも詰めていかなければいけないところだと思っております。</p>
住民26	<p>4階の委員会室は、市庁舎の方であっているんですかね。分かりました。ありがとうございます。</p>
住民27	<p>自分は今日を最後までいようと思っていて、正直この時間になってちょっとびっくりしているんですけども、今11時半です。はい。もう、すごい時間になっています。すごい人だと思います。だからあんま</p>

	<p>り長いことお話するとちょっとあれなんで。正直、異常だと思います。この時間まで残っている。でも異常な事態だから、みんなこの時間まで、思いを聞いて欲しくて残っているんだと思います。だから異常な事態になっていることをしっかり把握していただければありがたいんですけれども、ぜひ、この時間まで皆さんが残っている、これだけの人数が残ってる気持ちを、ぜひ汲んでいただいて、もう一度再検討してもらえこと本当に切に願ってます。よろしく願いいたします。</p>
<p>住民 2 8</p>	<p>先程教育長が、危険があるからここは駄目だ、というふうに言いましたが、危険度は5段階の5です。万一崩れたとしても、北側校舎の西側、雨天体の手前ぐらいまでしか崩れません。持光寺は何百年建っていると思っておりますか。危険という言い方、それこそ土堂小学校は危険度は真ん中辺です。上の方の危険なところ、放っておいて、何で土堂小学校だけ、こんなに目の敵のようにして、移転させよう、閉校させようとしているんでしょうか。それが1点。それは前教育長、佐藤さんが10年やってきて、最後の日に、私が、あなたが10年やってきた実績は何ですかと聞いたら、司会者がそれを避けてよその質問者に手を挙げさせて、そっちに逃げてしましまして、答えが聞けませんでした。だからその危険ということ自体がおかしい。納得できない、というのが1点。それから生徒数の激減。それは教育委員会の恣意的な作業によってそうなっているんです。学校選択制を全部フリーにすればいいんです。そうしたら、どこの学校が一番人気があって、どこの学校が一番人気がないか、その理由をしっかりとあなた方が考えて、人気のない学校に力添えをしていくのが本筋です。陰山時代には、それこそ小学校のレベルトップクラスでした。尾道市の小学校も、全国のレベルのトップクラスでした。それが10数年。教育関係の市長と、行政から出てきた教育長によって、下から数えた方が早くなってしまいました。ということは、教育委員会そのものがしっかり勉強して、我々の意見をくみ上げて、街づくりと歴史と伝統、ぶち壊してしまうようなやり方というような、おかしいということに気づいてください。箱ばかり造ろうとしているじゃないですか。何とかね、それこそ、年間1000数百万の所得と、次の食いぶちをあてがわれると、黒を白にしろとおっしゃられたら、はいはい、とやってしまうような前任者もおりましたが、今回の教育長はどんなんですかね。多分それは、あと3年か4年経ったら無理な話になりますよ。分かりますか。無理やり砂の上に市庁舎を建てるような市長がですよ、それがばれてしまうとですね、次回はないです。分かります。もっともっと自分たちを高めてください。これからAIの時代が始まります。チャットGTPもあります。子供たちがそれを使えます。あなた方が使えないだけなんです。だから、ホームページに載せるのはどうのこうのとか、馬鹿なことを言っています。リスクが大きい。批判がある。当たり前じゃないですか。間違ったことをやっているんですから。何か反論があれば言ってください。</p>
<p>宮本教育長</p>	<p>やはり学校選択制についてさっきお話がありましたけど、土堂小学校は、学校選択制ですごくプラスになっているっていうのは、先程も申</p>

	<p>し上げたとおりであったんですけども、市内全体のことを考えるとですね、やはりマイナスになっている地域もある。ですから、やっぱり、そういった市内全体のことを考えながらですね、教育施策というのは進めていかなきゃいけない。それがやっぱり教育委員会の役割だと思いますので、そうなると思います、学校選択制がまた復活してたくさんの子供たちがここに通ってくるってということは、今の状況では難しいと思います。ですので、そうなると思います、だんだん子供たちが減っていくわけですね。そうすると、やはりこれまで土堂っ子太鼓の話がありましたけれども、1クラス4、5人になったのでは、土堂っ子太鼓の良さが生かされないんじゃないか・・・、</p>
住民28	それは、恣意的にあんたらが生徒数を減らしてるんじゃないですか。
宮本教育長	いえいえ、市民の皆さんや議員・・・、
住民28	千光寺の上まで上げて、来るべき子供も来れんようにしているじゃないですか。
宮本教育長	いえいえ。市民の皆さんのご意見を聞くと、やはりそうですし、市民の代表である議会の皆様のご意見を聞いて、教育委員会としてそういった方・・・、
住民28	じゃ、この人間は市民じゃないんですよね。
宮本教育長	いや、いろんなご意見があると思いますよ。学校選択制をまた増やしたらいいっていう、それは土堂の方からすると当然のご意見だと思いますし、また別の地域の方は、やはり学校選択制はない方がいいんだという方もいらっしゃいます。
住民28	生まれた場所で、限られた地域でしか行けない小学校というのは、パワハラじゃないですか。
宮本教育長	いろんな考え方がありますので、そういった考え方を広く聞いて判断をしていかなきゃいけない。それがやっぱり教育行政、私たちの仕事だとそのように思います。
住民28	だから、私らの言ってることは一切聞く耳持たないとおっしゃってるわけですね。
宮本教育長	そうは言っておりません。皆さんのご意見もしっかり受けとめさせていただきまして、他の地域の方のご意見もしっかり受けとめさせていただいて、こういった方向性が良いのかということをしっかり教育委員会として議論をして方向性を決めたいと、そのように思っております。

住民 2 8	<p>今までの話を聞いていると、箱物を作ればっかりじゃないですか。箱物をつくるために、最初は危険だ危ない、千光寺の上に上げてしまって、それが耐震化の作業をしようとしたら、今度は、小中一貫校を作る、箱を作る、あっちにもこっちにも箱を作ると、それこそ、某市長が教育長に、苦労しろと言え、やれと言われて、へいへい、と言って計画したことなんじゃないんですか。</p>
宮本教育長	<p>そんなことはありません。私も校長させていただいて、長く教育界で仕事をさせていただいて、いろんな勉強をさせていただきました。子供たちのことを考えた時にですね、もちろん、以前のようにたくさんの子供たちが通ってくる条件があればですね、土堂小学校、それ当然残すべきだと思いますし・・・、</p>
住民 2 8	<p>それじゃ、日比崎小学校が、あれだけプレハブを造って、余り返しているのはどうするんですか。</p>
宮本教育長	<p>日比崎小学校も児童数が減ってきております。ですので、もうじきですね、プレハブ使うということはおそらく必要なくなると思います。</p>
住民 2 8	<p>あの方面、マンション建ちますよ。数が増えます。その辺も分かっているんですか、あんたらは。マンションが増えたら、そこへ小学生を持った父兄が入ります。そうすると、日比小、また人数増えます。それらも全然あんたら読めんのですか。それから長中へ小中一貫校を作ると。10年後、20年後、何人になってるか計算できているんですか。以上、お答えください。</p>
小柳学校教育部長	<p>はい。日比崎小学校の件が出ましたけれども、日比崎小学校は今年度約550名、もうピークから100名以上減少をしております。そういった中で、来年度からは仮設校舎をもう使用しないというような状況になってまいります。マンションについて、私たちは情報がありませんけれども、それは一定数の子供が増える可能性はあると思いますけれども、一定数入ったとしても、今の校舎で十分対応できるというふうに思っております。また10年以上の・・・、</p>
住民 2 8	<p>日比崎小ができた経緯は知っとなんでしょうか。</p>
小柳学校教育部長	<p>日比崎小学校自体がですか。日比崎小学校自体ができたのは、これは栗原地域、それから吉和地域の子供の数が増えていったということで、日比崎小学校が創設されたというふうに認識をしております</p>
住民 2 8	<p>土堂小学校もそのうち入っているよね。</p>
小柳学校教育部長	<p>土堂小学校については、いろいろ調べさせていただきましたけれども、私たちではちょっと十分確認はできておりません。</p>

住民 28	そこで学区の線引きを変更しとるよね。それらも調べておらんでしょう。
小柳学校教育部長	はい。当時、小学生だった方とか、資料なども調べましたけれども、確信に至る根拠というのは、私たちは見つけておりません。
教育委員会事務局（司会）	次の方どうぞ。
住民 29	前の方がいろいろ聞いてくれたんで、もう結構です。はい。
教育委員会事務局（司会）	<p>5 閉会</p> <p>それでは、本日の質疑応答を終了させていただきたいと考えております。最後に、宮本教育長から・・・、</p> <p>（「統合反対。」という声あり。）</p> <p>閉会の挨拶を・・・、</p> <p>（「反対」と繰り返す声あり。）</p> <p>それでは、閉会の挨拶は終えさせていただきます。</p> <p>（「次回は。」という者あり。）</p> <p>次回は、小柳部長が申し上げましたとおり、これから対応をして決めるということになっております。遅くなりましたので、終了をさせていただきたいと思っております。本日はみなさん、ありがとうございました。</p> <p>（23:50 終了）</p>

※議事録中の住民を示す数字は一連の質問の流れを示すものであり、異なる数字であっても、同一の方のご発言である場合があります。